平成 23 年度　群馬県立館林美術館年報

2011.4 - 2012.3

GMAT

Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会　p.3

A 展覧会一覧 ―― p.3
B 企画展示記録 ―― p.4
C コレクション展示記録 ―― p.53
D 彫刻家のアトリエ（別館）展示記録 ―― p.61
E 観覧者数一覧表 ―― p.62

・教育普及　p.65

A 講演会・トークセッション ―― p.63
B 作品解説会・ギャラリートーク ―― p.63
C ワークショップ ―― p.64
D 創作体験コーナー　みんなのアトリエ ―― p.65
E たてび木曜レクチャー ―― p.66
F 学校連携その他 ―― p.67
G 地域に開かれた美術館づくり ―― p.70
H 刊行物 ―― p.72
I ボランティア ―― p.73
J 友の会 ―― p.73

・所蔵資料　p.74

A 美術作品 ―― p.74
B 図書資料その他 ―― p.77

・関係者および職員名簿　p.78

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期、会場		内容
「開館10周年記念 コレクションの10年―自然と人間の調和」	4/23－6/26	展示室1－4	開館10周年を記念し、コレクションの全容を作品に関する詳しいデータとともに公開した。10周年の機会に所蔵品図目録を作成した。
「生誕100年 藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」	7/16－8/28	展示室2－4	群馬県館林出身の版画家、藤牧義夫(1911-1935?)の生誕100年を記念して、当館と神奈川県立近代美術館との共同で企画した回顧展。藤牧の生前に残された版画・素描・白描絵巻・資料の展示ならびに、白描絵巻の全貌を把握できる映像展示を加えて、作品・資料点数約100点で構成した。
開館10周年記念 日本近代洋画にみる “自然と人間”	9/17-11/27	展示室2－4	平成13年に開館した当館は、開館記念展のタイトルにも掲げた“自然と人間”をテーマとして作品収集や展覧会活動を続けてきた。開館10周年を記念した本展では、このテーマを日本近代洋画に絞り込んで企画し、明治から大正・昭和初期までの流れを追いながら、底流する“自然と人間”への関心の在り方を探った。
「生誕100年 南桂子展－鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」	12/10-4/8	展示室2－4	生誕100年を記念して、銅版画家・南桂子(1911-2004)の画業を多彩な視点から紹介した。当館は、南桂子の銅版画作品235点を所蔵するが、この展覧会は、当館にない初期の油彩画や銅版画の原版、素描を加えて制作の工夫やプロセスにも新たに焦点を当て、各関係者との共同研究によってその画業をこれまでになく大規模に紹介した。

(2)コレクション展示

展示名	会期、会場		内容
近現代の彫刻Ⅰ	7/16-8/28	展示室1	チャーナ・オルロフ、バーバラ・ヘップワースなどの近現代彫刻を展示。
油彩その他	7/16-8/28	展示室4	香月泰男、山口薫、宇佐美圭司など、近現代の油彩を展示。
近現代の彫刻Ⅱ	9/17-11/27	展示室1	フランソワ・ポンポン、ヘンリー・ムーアなど、近現代の彫刻を展示。
油彩・現代美術	9/17-11/27	展示室4	小杉放菴、森芳雄などの油彩、伊庭靖子、山口啓介などの現代作家の作品を展示。
近現代の彫刻Ⅲ	12/10-4/8	展示室1	バリー・フラナガン、ジム・ダインなど、近現代の彫刻を展示。
油彩その他	12/10-4/8	展示室4	猪熊弦一郎、鶴岡政男、などの油彩、勅使河原蒼風、三輪途道などの彫刻を展示。

B 展覧会記録

1. 開館10周年記念 コレクションの10年―自然と人間の調和

会期　平成23年4月23日（土）－6月26日（日）
会場　展示室1、2、3、4
主催　群馬県立館林美術館
観覧料　一般：500（400）円、大高生：250（200）円
（ ）内は20名以上の団体割引料金

平成13年10月にオープンした当館は、県立で2館目の美術館として、東部地域と連携をとりながら、より多くの方々に美術作品を楽しんでいただくために活動を続け、本年度に開館10周年を迎えた。

当館は「自然と人間」をテーマに作品を収集、展覧会を企画している。近年、購入による作品収集活動は困難を窮めているが、開館準備期から平成19年まで地道に続けられた作品収集により、現在所蔵品は840点を超えている。その中には、来館者に最も人気の高いフランソワ・ポンポンの彫刻、地元館林生まれの藤牧義夫の版画や小室翠雲の屏風や掛け軸、南桂子の銅版画235点、西洋絵画ではモイーズ・キスリングの油彩やホセ・マリア・シシリアの作品、日本人外国人を問わず、テーマに合った現代美術も豊富に集められてきた。

これらはコレクション展示として順次展示されてきたものだが、当館のコレクションについてはその全容があまり知られていないと思われる。コレクションは通常、まず基礎的に作品の図像とデータを網羅的に記載した所蔵品図録を作成して全国に配布して周知を図るべきところ、当館は開館以来所蔵品図録を作成しておらず、また、コレクション展示では企画展のようにその内容を的確に示す図録をその都度図録を作ることがなかったためである。

開館10周年を記念するこの展覧会では、館の個性を生み出してきたコレクションの全容を、作品に関する詳しいデータとともに公開し、記録を行った。

また、10周年のこの機会に所蔵品目録を作成し、会場での展示はスペースの制約上、コレクションの一部しか公表できないところ、所蔵品図録と併せてコレクションの全容を紹介し、周知を目指した。

ポスター

リーフレット

出品目録
前期展示:2011年4月23日(土)−5月22日(日)　後期展示:2011年5月25日(水)−6月26日(日)

＊印は寄託作品。他は当館所蔵。

Ⅰポンポンと動物のモティーフ

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	前期	後期
Ⅰ 1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906-1930	ブロンズ	15.6 × 23 × 6	○	○
Ⅰ 2		風見鶏	1908-1932	銅板	47 × 54.4 × 6	○	○
Ⅰ 3		ほろほろ鳥	1910-1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	○	○
Ⅰ 4		アヒル	1911-1927	石膏	18.1 × 14.8 × 8.8	○	○
Ⅰ 5		牝豚	1918	ブロンズ	11 × 20 × 5.5	○	○
Ⅰ 6		ヒグマ	1918-1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7	○	○
Ⅰ 7		雉鳩	1919	ブロンズ	24 × 8.7 × 9.5	○	○
Ⅰ 8		シロクマ	1923-1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	○	○
Ⅰ 9		シロクマ	1923-1933	ブロンズ	12 × 23.5 × 5	○	○
Ⅰ 10		バン	1923頃	ブロンズ	26 × 29 × 12	○	○
Ⅰ 11		フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	○	○
Ⅰ 12		猪	1925-29	石膏	22.8 × 37.1 × 10	○	○
Ⅰ 13		立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8	○	○
Ⅰ 14		大黒豹	1930-1931	ブロンズ	25 × 81 × 14	○	○
Ⅰ 15		ボストン・テリヤ「トーイ」	1930-1932	石膏	18.8 × 20.2 × 10	○	○
Ⅰ 16		オラン・ウータン(頭部)	1930	石膏	34.3 × 23 × 20	○	○
Ⅰ 17	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30	○	○
Ⅰ 18		魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	○	○
Ⅰ 19	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	○	○
Ⅰ 20	イサム・ノグチ	リス	1984-1988	ブロンズ板	61 × 48 × 39	○	○
Ⅰ 21	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	○	○
Ⅰ 22	土谷 武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147 × 130 × 160	○	○
Ⅰ 23	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216 × 122 × 112	○	○
Ⅰ 24	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38 × 26.6	○	○
Ⅰ 25 1	ラウル・デュフィ	アポリネール『動物詩集』あるいはオルフェウスのお供たち 家ウサギ	1911	木版・紙	20.3 × 19.3	○	
Ⅰ 25 2		アポリネール『動物詩集』あるいはオルフェウスのお供たち 毛虫	1911	木版・紙	20.4 × 19.4	○	
Ⅰ 25 3		アポリネール『動物詩集』あるいはオルフェウスのお供たち 牡牛	1911	木版・紙	20 × 19	○	
Ⅰ 25 4		アポリネール『動物詩集』あるいはオルフェウスのお供たち 蛇	1911	木版・紙	20.4 × 19.4		○
Ⅰ 25 5		アポリネール『動物詩集』あるいはオルフェウスのお供たち ライオン	1911	木版・紙	20.6 × 19.2		○
Ⅰ 25 6		アポリネール『動物詩集』あるいはオルフェウスのお供たち クラゲ	1911	木版・紙	20.3 × 19.4		○
Ⅰ 26 1	パブロ・ピカソ	ビュフォン「博物誌」ライオン	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	27.2 × 21.2	○	
Ⅰ 26 2		ビュフォン「博物誌」母雌鶏	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	31 × 25.6	○	
Ⅰ 26 3		ビュフォン「博物誌」ヒキガエル	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	28 × 22.2	○	
Ⅰ 26 4		ビュフォン「博物誌」猫	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	26.8 × 21.6	○	
Ⅰ 26 5		ビュフォン「博物誌」牛	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	28 × 21.8	○	
Ⅰ 26 6		ビュフォン「博物誌」馬	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	27 × 21		○
Ⅰ 26 7		ビュフォン「博物誌」雄羊	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	27 × 23		○
Ⅰ 26 8		ビュフォン「博物誌」犬	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	29.6 × 24		○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)	前期	後期
Ⅰ 26 9	パブロ・ピカソ	ビュフォン「博物誌」 猿	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	28 × 22.4		○
Ⅰ 26 10		ビュフォン「博物誌」 ゴシキヒワ	1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング ドライポイント・紙	33 × 27		○
Ⅰ 27	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952	油彩・カンヴァス	90.7 × 72.5	○	○
Ⅰ 28	カレル・アペル	サーカス・シリーズ：鳥の道化	1978	彩色・木	83.8 × 89.0 × 18	○	○
Ⅰ 29 1	ヘンリー・ムーア	動物園の動物たち レイヨウ	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	21.2 × 27.8	○	
Ⅰ 29 2		動物園の動物たち ジャガー	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	21.3 × 27.8	○	
Ⅰ 29 3		動物園の動物たち サイ	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	21.6 × 27.9	○	
Ⅰ 29 4		動物園の動物たち ハゲタカ	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	21.2 × 27.8	○	
Ⅰ 29 5		動物園の動物たち 象	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	21.2 × 27.8		○
Ⅰ 29 6		動物園の動物たち 豹	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	25 × 19.5		○
Ⅰ 29 7		動物園の動物たち シマウマ	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	21.2 × 27.8		○
Ⅰ 29 8		動物園の動物たち トラ	1981-82 (1983刊)	エッチング・紙	19.2 × 24		○
Ⅰ 30	エマニュエル・コラン	ジュゴン	1991	樅、ポプラ・着色	30.0 × 140.0 × 55.0	○	○
Ⅰ 31	スタニスラフ・リベンスキー ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	鳥	1997	ガラス	72.0 × 123.0 × 25.0	○	○

Ⅱ自然と人間のドラマ

Ⅱ 1	トマス・ビューイック	四足獣概説	1800刊(第4版)	書籍、木口木版・紙	20.8 × 12.8		○
Ⅱ 2	J.-J.グランヴィル	公私にわたる生活の情景	1842刊	書籍、木口木版・紙	26.0 × 16.0		○
Ⅱ 3		『当世風変身譚』より	1854刊	書籍、木口木版、手彩色・紙	26.0 × 16.0		○
Ⅱ 4 1	マルク・シャガール	死せる魂 (15) コロボーチカ夫人	1923-1927 (1948刊)	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	30 × 22.7	○	
Ⅱ 4 2		死せる魂 (19) 道案内	1923-1927 (1948刊)	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	28.3 × 22.3		○
Ⅱ 4 3		死せる魂 (35) 支度のできた食卓	1923-1927 (1948刊)	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	27.7 × 21.3		○
Ⅱ 4 4		死せる魂 (41) プリューシキンの村	1923-1927 (1948刊)	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	21.3 × 27.8		○
Ⅱ 4 5		死せる魂 (51) ゴーゴリとシャガール	1923-1927 (1948刊)	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	27.5 × 21.2	○	
Ⅱ 4 6		死せる魂 (73) 舞踏会にあらわれたチチコフ	1923-1927 (1948刊)	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	22 × 27.7	○	
Ⅱ 5 1	ジャン・デュビュッフェ	壁 4.鳥のいる壁	1945-50 (1950刊)	リトグラフ・紙	36 × 28.4	○	
Ⅱ 5 2		壁 5.壁に追いつめられた人	1945-50 (1950刊)	リトグラフ・紙	36 × 28.3	○	
Ⅱ 5 3		壁 11.壁と旅人たち	1945-50 (1950刊)	リトグラフ・紙	36.6 × 27.8	○	
Ⅱ 5 4		壁 3.装飾された壁	1945-50 (1950刊)	リトグラフ・紙	37 × 28.2		○
Ⅱ 5 5		壁 7.壁の前でダンス	1945-50 (1950刊)	リトグラフ・紙	34.7 × 28.7		○
Ⅱ 5 6		壁 10.壁に立ち小便	1945-50 (1950刊)	リトグラフ・紙	35 × 28.4		○
Ⅱ 6	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	79.0 × 110.5 × 158.5	○	○

作品番号			作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)		前期	後期
Ⅱ	7		ラウル・デュフィ	電気の精［全10点］	1953刊	カラーリトグラフ・紙	101.2	× 63.1	○	
Ⅱ	8	1	パブロ・ピカソ	闘牛技 3.闘牛場へ	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29	○	
Ⅱ	8	2		闘牛技 9.長槍での跳躍	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.6	× 29	○	
Ⅱ	8	3		闘牛技 12.牡牛に犬をけしかける	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29	○	
Ⅱ	8	4		闘牛技 15.バンデリリャを突き刺す	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29	○	
Ⅱ	8	5		闘牛技 18.ムレータの技	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29	○	
Ⅱ	8	6		闘牛技 20.殺しの場	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.6	× 29.2	○	
Ⅱ	8	7		闘牛技 2.田園の牡牛たち	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29		○
Ⅱ	8	8		闘牛技 5.ドン・タンクレドの呼び込み	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29		○
Ⅱ	8	9		闘牛技 7.カパで牡牛をさそう	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29		○
Ⅱ	8	10		闘牛技 16.椅子に座ってバンデリリャへ牡牛をさそう	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29		○
Ⅱ	8	11		闘牛技 19.牡牛が角で闘牛士を引っかける	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.6	× 29		○
Ⅱ	8	12		闘牛技 21.とどめの突き	1957 (1959刊)	リフトグランド・エッチング、アクアチント・紙	19.4	× 29		○
Ⅱ	9		マルク・シャガール	ポエム ［全24点より3点］	1962-1967 (1968刊)	木版・紙	32.2	× 24.7	○	○
Ⅱ	10	1	アンディ・ウォーホル	危機に瀕した種 アフリカ象	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	2		危機に瀕した種 白頭ワシ	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	3		危機に瀕した種 ロッキー羊	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	4		危機に瀕した種 クロサイ	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	5		危機に瀕した種 ジャイアントパンダ	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	6		危機に瀕した種 グレーヴィーシマウマ	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	7		危機に瀕した種 オランウータン	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	8		危機に瀕した種 アンダーソンアマガエル	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	9		危機に瀕した種 サンフランシスコ・シルバースポット	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	10	10		危機に瀕した種 シベリアタイガー	1983	シルクスクリーン・紙	96.5	× 96.7		○
Ⅱ	11		永井 一正	JAGDA ポスター展 “JAPAN”(カメ)	1988	シルクスクリーン・紙	103	× 72.8	○	
Ⅱ	12			JAGDA ポスター展 “WATER”(ライオン)	1989	シルクスクリーン・紙	103	× 72.6	○	
Ⅱ	13			移動美術館’89美との出会い	1989	オフセット・紙	103	× 72.6	○	
Ⅱ	14			YOKOGAWA	1989	シルクスクリーン・紙	103	× 72.4	○	
Ⅱ	15			89公募:日本海美術展	1989	オフセット・紙	103	× 72.8	○	
Ⅱ	16			JAGDAポスター展 “JAPAN”(花)	1987	オフセット・紙	103	× 72.8		○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)	前期	後期
Ⅱ 17	永井 一正	人権－共生	1988	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8		○
Ⅱ 18		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION	1990	シルクスクリーン・紙	103 × 72.6	○	○
Ⅱ 19		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION(サル)	1991	シルクスクリーン・紙	103 × 72.6	○	
Ⅱ 20		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION(ウサギ)	1991	シルクスクリーン・紙	103.4 × 72.8	○	
Ⅱ 21		JAGDA 平和と環境のポスター展"I'm here."(オオカミ)	1992	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8	○	
Ⅱ 22		JAGDA 平和と環境のポスター展"I'm here."(サイ)	1993	シルクスクリーン・紙	103 × 72.6	○	
Ⅱ 23		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION(ヒツジ)	1991	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.6		○
Ⅱ 24		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION(シマウマ)	1991	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8		○
Ⅱ 25		JAGDA 平和と環境のポスター展"I'm here."	1992	シルクスクリーン・紙	103 × 72.6		○
Ⅱ 26		JAGDA 平和と環境のポスター展"I'm here."(トラ)	1993	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8		○
Ⅱ 27		LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8	○	○
Ⅱ 28		LIFE(きのこ/笠)	2001	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8	○	
Ⅱ 29		SAVE(赤/キリン)	1997	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8		○
Ⅱ 30		SAVE(オオカミ)	1998	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8		○
Ⅱ 31		CO EXIST(BEING)	2000	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8		○
Ⅱ 32		LIFE(セミ)	2003	シルクスクリーン・紙	103 × 72.8		○
Ⅲ人のかたち							
Ⅲ 1	フランソワ・ポンポン	ポール像	1884	テラコッタ	38.4 × 21.1 × 17.8	○	○
Ⅲ 2		コゼット	1888 (1890年以降生前鋳造)	ブロンズ	41 × 18 × 13	○	○
Ⅲ 3		サント・カトリーヌ	1886-1888 (1894年製造)	石膏	41.3 × 42.8 × 36.2	○	○
Ⅲ 4		ベルト・ポンポン	1894-1932 (1894年以降生前製造)	石膏	22.7 × 24.9 × 19.9	○	○
Ⅲ 5		クロード・レイ	1922	石膏	32.1 × 17.3 × 16.5	○	○
Ⅲ 6	小杉 放菴	秋果童子	1926	油彩・カンヴァス	71.4 × 51.5	○	○
Ⅲ 7	パウル・クレー	子どもたち	1929	水彩・紙	27.5 × 33.5	○	
Ⅲ 8	アンリ・マルティネ	フランソワ・ポンポンの頭像	1933	石膏	47.9 × 18.9 × 27.8	○	○
Ⅲ 9	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	○	○
Ⅲ 10		立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	○	○
Ⅲ 11	ジョアン・ミロ	独り語る [全72点より9点]	1948-1950 (1950刊)	リトグラフ・紙	38 × 28	○	○
Ⅲ 12	森 芳雄	母子像	1979	油彩・カンヴァス	130 × 97.5	○	○
Ⅳ植物の表現							
Ⅳ 1 1	J.-J.グランヴィル	生きている花々 第1巻扉絵	1847刊	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18	○	
Ⅳ 1 2		生きている花々 タバコ	1847刊	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18	○	
Ⅳ 1 3		生きている花々 バラ	1847刊	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18	○	
Ⅳ 1 4		生きている花々 オシロイバナ	1847刊	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18	○	
Ⅳ 1 5		生きている花々 ヒマワリ	1847刊	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18	○	
Ⅳ 1 6		生きている花々 第2巻扉絵	1803-1847 (1847刊)	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18		○
Ⅳ 1 7		生きている花々 スイトピー	1803-1847 (1847刊)	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18		○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)	前期	後期
Ⅳ 1 8	J.-J.グランヴィル	生きている花々 ダリア	1803-1847 (1847刊)	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18		○
Ⅳ 1 9		生きている花々 ジャスミン	1803-1847 (1847刊)	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18		○
Ⅳ 1 10		生きている花々 紅茶とコーヒー	1803-1847 (1847刊)	小口木版、手彩色・紙	25.8 × 18		○
Ⅳ 2 1	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワー・ブック ヤコブの梯子	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	15.1 × 15.5	○	
Ⅳ 2 2		フラワー・ブック 天国の梯子	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	16.4 × 16.4	○	
Ⅳ 2 3		フラワー・ブック 神の花	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	15.7 × 16	○	
Ⅳ 2 4		フラワー・ブック 春の鍵	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	16.7 × 16.8	○	
Ⅳ 2 5		フラワー・ブック クサリヘビの舌	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	16.2 × 16.2	○	
Ⅳ 2 6		フラワー・ブック もつれた愛	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	16.6 × 16.7		○
Ⅳ 2 7		フラワー・ブック 金色のにわか雨	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	16.2 × 16.3		○
Ⅳ 2 8		フラワー・ブック 世界の驚異	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	16.1 × 16.2		○
Ⅳ 2 9		フラワー・ブック 我が家へようこそ	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	15.7 × 16.1		○
Ⅳ 2 10		フラワー・ブック 白い庭	1882-98 (1905刊)	カラーリトグラフ/紙	15.4 × 15.6		○
Ⅳ 3	カール・ブロスフェルト	オオムギ	1920年代に撮影 (2003年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20	○	
Ⅳ 4		ヒエンソウ－乾いた葉の一部	1920年代に撮影 (2003年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20	○	
Ⅳ 5		オシダ－渦巻状の若い複葉	1920年代に撮影 (2001年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20	○	
Ⅳ 6		コエルピニアの種子	1920年代に撮影 (2000年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20	○	
Ⅳ 7		マメ－若い羽状複葉	1920年代に撮影 (2000年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20		○
Ⅳ 8		分枝	1920年代に撮影 (2001年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20		○
Ⅳ 9		ニワトコ	1920年代に撮影 (2005年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20		○
Ⅳ 10		ヤグルマギクの花	1920年代に撮影 (2005年にプリント)	ゼラチン・シルバー・プリント	30 × 20		○
Ⅳ 11	小絲 源太郎	けしの花	1933	油彩・カンヴァス	114. × 77.2	○	○
Ⅳ 12	モイーズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩・カンヴァス	62 × 74	○	○
Ⅳ 13	香月 泰男	尾花	1954	油彩・カンヴァス	72.8 × 50	○	○
Ⅳ 14	アンディ・ウォーホル	花［全10点より4点］	1970	シルクスクリーン・紙	91.5 × 91.5	○	○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)	前期	後期
Ⅳ 15 1	ジム・ダイン	フローラの神殿 扉 ナンシーの庭の細部	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	○	
Ⅳ 15 2		フローラの神殿 ストレリチア(ゴクラクチョウカ)	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	○	
Ⅳ 15 3		フローラの神殿 アイリス	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	○	
Ⅳ 15 4		フローラの神殿 チャイナ・リモドロン	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	○	
Ⅳ 15 5		フローラの神殿 チューリップ	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	○	
Ⅳ 15 6		フローラの神殿 エジプト睡蓮	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	○	
Ⅳ 15 7		フローラの神殿 ハナガサシャクナゲ	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	○	
Ⅳ 15 8		フローラの神殿 カーネーション	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5		○
Ⅳ 15 9		フローラの神殿 ドラゴン・アルム	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5		○
Ⅳ 15 10		フローラの神殿 白ユリ	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5		○
Ⅳ 15 11		フローラの神殿 キスゲ	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5		○
Ⅳ 15 12		フローラの神殿 ウィングド・パッション・フラワー	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5		○
Ⅳ 15 13		フローラの神殿 エジプト・ハス	1984刊	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5		○
Ⅳ 15 14		フローラの神殿 別摺り ナンシーの庭の細部	1984刊	ドライポイント・紙	44.8 × 29.8		○
Ⅳ 16 1	柄澤 齊	樹々の家族 1 樹々の家族	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22	○	
Ⅳ 16 2		樹々の家族 5 芽ぶき	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22	○	
Ⅳ 16 3		樹々の家族 11 あーん	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22	○	
Ⅳ 16 4		樹々の家族 25 洪水	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22	○	
Ⅳ 16 5		樹々の家族 57 藍	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22	○	
Ⅳ 16 6		樹々の家族 3 ゆきげ	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22		○
Ⅳ 16 7		樹々の家族 10 真昼	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22		○
Ⅳ 16 8		樹々の家族 12 こぶし	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22		○
Ⅳ 16 9		樹々の家族 15 ホッホ	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22		○
Ⅳ 16 10		樹々の家族 30 夢のなかへ	2002-2003 刷り:2004	木版・紙	19 × 22		○
Ⅳ 17	久野 和洋	地の風景・道のかたち	2002-2003	油彩・カンヴァス	146 × 145.5	○	○

Ⅴ郷土へのまなざし

Ⅴ 1	岸浪 百草居	芭蕉	1928	絹本着色・軸	146 × 90.4	○	
Ⅴ 2	小室 翠雲	長興山荘図	1929	紙本墨画淡彩・軸	121.3 × 180.5	○	
Ⅴ 3		夏冬山水図屏風	1923	絹本墨画淡彩・六曲一双屏風	各167 × 360		○
Ⅴ 4	礒部 草丘	犬吠埼図	1933	絹本彩色・軸	80 × 50.4		○
Ⅴ 5	金山 平三	嬬恋村	1935-45	油彩・カンヴァス	45.5 × 65.1	○	○
Ⅴ 6	横尾深林人	館林躑躅公園所見	1937	紙本着色・軸	44 × 55.5	○	
Ⅴ 7	福田 元子	夕映え	1943	絹本着色・額	170 × 106	○	
Ⅴ 8	鶴岡 政男	西方の聖	1935頃	墨・紙	28 × 22.5		○
Ⅴ 9		湯呑み(5)	1951頃	陶器	5.7 (経:8) (右) × 130.5	○	○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)			前期	後期
V 10	鶴岡 政男	湯呑み(4)	1951頃	陶器	5.8	(経:9)		○	○
V 11	山口 薫	水田を拓く	1956	油彩・カンヴァス	100	× 80.5		○	○
V 12	鶴岡 政男	涙する人	1968	油彩・カンヴァス	(左)	× 130.3		○	○
V 13	須田 一政	群馬館林・1976年 「風姿花伝」より	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32	× 32		○	○
V 14	鶴岡 政男	青いカーテン	不詳	鉛筆、インク、パステル・紙	6.5	× 10.0		○	
V 15		題不明(人々Ⅱ)	不詳	インク・紙	12.0	× 13.0		○	
V 16		題不明(顔)	不詳	インク・紙	13.0	× 13.0		○	
V 17		人	不詳	墨・紙	5.0	× 5.0		○	
V 18		題不明(人々Ⅰ)	不詳	墨、水彩・紙	7.1	× 30.3		○	

VI企画展から収蔵品へ

VI 1	鶴岡 政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955	油彩・カンヴァス	53	× 65.2		○	○
VI 2	ニルス=ウド	ナラの葉	1986	フジフレックス・プリント・アルミニ	100	× 100		○	
VI 3		水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽 [全8点より1点]	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	125	× 132			○
VI 4	安田 千絵	Untitled	1993	ゼラチン・シルヴァー・プリント	43	× 34.5		○	
VI 5		Untitled	1993	ゼラチン・シルヴァー・プリント	43	× 34.5		○	
VI 6		Untitled	1997	ゼラチン・シルヴァー・プリント	43	× 34.5		○	
VI 7		Untitled	1998	ゼラチン・シルヴァー・プリント	43	× 34.5			○
VI 8		Untitled	1999	ゼラチン・シルヴァー・プリント	43	× 34.5			○
VI 9		Untitled	2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	43	× 34.5			○
VI 10	西村 陽平	開館記念特別展示「自然と人間」2001	2002	焼成された紙(展覧会カタログ)	4.5	× 28	× 19	○	○
VI 11		「ニルス=ウド―自然へ」2002	2002	焼成された紙(展覧会カタログ)	9.3	× 15.5	× 13.8	○	○
VI 12	近藤 正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	195	× 142		○	○

Ⅶ自然へ、現代作家の感性

Ⅶ 1	クロード・ヴィアラ	無題	1979	アクリル・軍用テント	205.4	× 599		○	○
Ⅶ 2	トニー・クラッグ	グリーン・リーフ	1981	プラスチック	107	× 200		○	○
Ⅶ 3	ジャン=ミッシェル・	トスカニア1	1990	アクリル、パステル・カンヴァス	200	× 200		○	○
Ⅶ 4		トスカニア4	1990	アクリル、パステル・カンヴァス	200	× 62.0		○	○
Ⅶ 5	フランソワ・ラフランカ	カマナ	1993	エンボス、石・紙	102	× 75		○	
Ⅶ 6		アトランティード	1994	エンボス、石・紙	40	× 45		○	
Ⅶ 7		シェネアンフィ	1995	エンボス、石、木・紙	40	× 45		○	
Ⅶ 8		スプルイ	1993	エンボス、石・紙	22	× 20			○
Ⅶ 9		コルソット	1993	エンボス、石・紙	22	× 20			○
Ⅶ 10		トスカーナ・プロヴァンス	1995	エンボス、木・紙	68	× 54			○
Ⅶ 11	マリア・ルゴッシー	Power of Nature Ⅵ	1994-96	サンドブラスト・合わせガラス	51.4	× 28.2	× 21.6	○	○
Ⅶ 12	ホセ・マリア・シシリア	赤い花々Ⅰ	1998	油彩、蜜蝋・板	184.5	× 157		○	○
Ⅶ 13	小林 孝亘	Cloud	1999	油彩・カンヴァス	238	× 350		○	○
Ⅶ 14	西村 盛雄	甘露の雨:マナ10	2002	木	65	× 160	× 207	○	○
Ⅶ 15	金田 実生	冬の呼吸	2004	水溶性クレヨン、鉛筆・紙	155	× 174		○	
Ⅶ 16		夜が少しづつ降りる	2005	油彩・紙	154	× 165			○

Ⅷ寄託作品と収蔵品

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)			前期	後期
Ⅷ 1	中 平四郎	讀賣＊	1924	木彫	60	× 34	× 25	○	○
Ⅷ 2	津田 青楓	山高水長画巻＊	1937	紙本着色・巻子	30.2	× 538.2		○	○
Ⅷ 3	勅使河原蒼風	ビーナス＊	1957	木	68	× 65	× 54	○	○
Ⅷ 4	宮脇 愛子	構成＃7＊	1966	真鍮	120	× 23	× 70.8	○	○
Ⅷ 5	清宮 質文	壜の中の魚(暗い夕日10)＊	1972	木版・紙	20	× 22.6		○	
Ⅷ 6		深夜の蝋燭＊	1974	木版・紙	18	× 15.2		○	
Ⅷ 7		虜囚の窓(暗い夕日4)＊	1972	木版・紙	24.3	× 20			○
Ⅷ 8		入日(暗い夕日7)＊	1972	木版・紙	16.2	× 25.8			○
Ⅷ 9	和南城 孝志	Archetypus 空間への旅 Ⅰ	1979	ブロンズ	12	× 35	× 35	○	○
Ⅷ 10	伊庭 靖子	Untitled＊	1995	油彩・カンヴァス	162	× 123		○	○
Ⅷ 11	町田 久美	ひとり＊	2003	墨・雲肌麻紙	130	× 97		○	
Ⅷ 12	三輪 途道	乳母と私Ⅱ＊	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90	× 58	× 71	○	○
Ⅷ 13	川島 秀明	stare＊	2008	アクリル/カンヴァス	50	× 72.7			○

◎印刷物・会場作成物

・群馬県立館林美術館所蔵品目録2011
A4変型(29.7×22cm) 248頁
内容:
はじめに
目次
群馬県立館林美術館の所蔵品について(松下由里)
凡例
カタログ
編集:群馬県立館林美術館
表紙デザイン:矢萩喜従郎
印刷:上毎印刷株式会社
発行:群馬県立館林美術館
・リーフレット A4(29.7×21cm) 8頁
内容:
沿革
群馬県立館林美術館所蔵主要作品より 作品解説
館林美術館展示実績
執筆・編集:群馬県立館林美術館
制作:印象社
発行:群馬県立館林美術館
・ポスター B2
・チラシ A4
・パネル
あいさつ2枚
写真パネル9枚
展示実績1枚
沿革1枚
章解説8枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

[新聞等]
・朝日新聞
6.7、6.22
「コレクションの10年―自然と人間の調和」<群馬マリオン>
・朝日ぐんま
5.27
「コレクションの10年―自然と人間の調和」<プレゼント>
6.17
「コレクションの10年～自然と人間の調和～ 10年に及ぶ館独自の歩み展覧」*<美術探訪>
・おおたタイムス
4.30
「10周年を記念した企画 館林美術館」

・上毛新聞
4.21、5.5
「館林美術館「子どもギャラリートーク」」<ぐんまちゃんの掲示板>
4.22
「館林美術館10周年展あすから ポンポン、ピカソ、小室翠雲… 収蔵180点を公開」
4.23、6.11
「館林美術館開館10周年記念展示「コレクションの10年―自然と人間の調和」」<ぐんまちゃんの掲示板>
4.26、5.4、6.1
「館林美術館「作品解説会」」<ぐんまちゃんの掲示板>
4.29、5.20、6.10
「県立館林美術館 開館10周年記念「コレクションの10年―自然と人間の調和」(～6月26日)」<県内美術館 博物館>
・上毛新聞シャトル(館林ニュース)
5.13、5.16、5.20、5.23、5.30、6.3、6.6、6.10、6.17、6.20、6.24
「開館10周年記念「コレクションの10年～自然と人間の調和」」<出かけてみませんか情報BOX>
5.13、5.30
「学芸員による作品解説会」<出かけてみませんか情報BOX>
5.13、5.16、5.20、5.23、5.30、6.3、6.6、6.10、6.17、6.20
「たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たち～コレクションより」<出かけてみませんか情報BOX>
5.14
「開館10周年記念 コレクションの10年―自然と人間の調和 ジャンル超えた120点」*<GMATだより>
5.16、5.20、5.30、6.3、6.6、6.10、6.17、6.20、6.24
「子どもギャラリートーク」<出かけてみませんか情報BOX>
5.28
「開館10周年記念 コレクションの10年―自然と人間の調和 後期展示がスタート 花の名前連想して描く」*<GMATだより>
6.25
「あすまで開館10周年記念 コレクションの10年―自然と人間の調和 動物の本質捉えた彫刻」*<GMATだより>
・東京新聞
5.10
「10年の足跡紹介 県立館林美術館で企画展 テーマ別に収蔵品展示」*
6.2、6.9
「群馬県立館林美術館 コレクションの10年―自然と人間の調和」<ゆめぽっけ 美術・博物館ガイド>
・群馬よみうり ビバ!アミーゴ(太田・館林版)
5.27
「コレクションの10年―自然と人間の調和」<アミーゴプレゼント>

[定期刊行物]
・足利漫我人
3・4月号、5・6月号
「県立館林美術館情報」＜マガジン・ネットワーク＞
・ギャラリー
4、5、6月号
「コレクションの10年―自然と人間の調和」＜全国の展覧会スケジュール＞
・グラフぐんま
4月号
「館林美術館　企画展示開館10周年記念」＜イベントガイド＞
・ぐんま広報
7.3
「館林美術館開館10周年記念展示「コレクションの10年―自然と人間の調和」」＜県有施設イベント＞
・ぐんま情報誌　からっ風
5・6月号
「開催中の展覧会：開館10周年記念「コレクションの10年―自然と人間の調和」」＜Art Museum 2011　美術館情報＞
・芸術新潮
6月号
「群馬県立館林美術館　開館10周年記念　コレクションの10年―自然と人間の調和」＜invitation exhibition＞
・新美術新聞
3.21
「コレクションの10年―自然と人間の調和」
・水墨画
7月号
「群馬県立館林美術館　開館10周年記念　コレクションの10年―自然と人間の調和〔後期〕」＜水墨の扉　今月の展覧会＞
・帝國芸術新聞
6.15（第370号）
「群馬県立館林美術館　企画展示「開館10周年記念　コレクションの10年　自然と人間の調和」」＜全国のギャラリー紹介＞
・博物館研究
4、5、6月号
「群馬県立館林美術館　開館10周年記念「コレクションの10年―自然と人間の調和」」＜event calender＞
・美術の窓
5、6、7月号
「群馬県立館林　企画展示　開館10周年記念　コレクションの10年―自然と人間の調和」＜展覧会情報　美術館＞
6月号
「開館10周年記念　コレクションの10年―自然と人間の調和」＜話題の展覧会＞
・美連協ニュース
5月号
「群馬県立館林美術館　開館10周年記念　コレクションの10年」＜加盟館展覧会案内＞
・渡良瀬通信
4、5、6月号
「群馬県立館林美術館（館林市）　コレクションの10年―自然と人間の調和―」」＜渡良瀬インフォメーション＞
5月号
「開館10周年記念「コレクションの10年―自然と人間の調和―」より」＊＜誌上美術館（両毛の美術館より）　今月の作品＞
・和樂
6月号
「コレクションの10年―自然と人間の調和」＜Le和raku＞

◎放送

[テレビ]
・群馬テレビ
5.12
「開館10周年記念　コレクションの10年　自然と人間の調和」＜群馬テレビニュース＞

[ラジオ]
・FMぐんま
5.5
17:45-17:50＜ぐんま情報トッピング＞（コレクションの10年展について）
・FM太郎
4.15
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞（コレクションの10年展について）
4.22
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞（15日放送分の再放送）
5.4
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞（コレクションの10年展について）
5.6
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞（4日放送分の再放送）
5.18
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞（たてび木曜レクチャーについて）
6.15
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞（たてび木曜レクチャーについて）
6.17
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞（コレクションの10年展について）

◎関連事業

・たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たち―コレクションより」
5.12、5.19、5.26、6.2、6.9、6.16、6.23

展示室1

展示室2

展示室3

ポスター展示

2.　生誕100年　藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才

会期	平成23年7月16日（土）－8月28日（日）
会場	展示室2、3、4
主催	群馬県立館林美術館
	神奈川県立近代美術館
	読売新聞社
	美術館連絡協議会
協賛	ライオン
	清水建設
	大日本印刷
	損保ジャパン
	日本テレビ放送網
協力	多摩美術大学造形表現学部　映像演劇学科研究室
観覧料	一般：500（400）円、大高生：250（200）円 （　）内は20名以上の団体割引料金

群馬県館林出身の藤牧義夫（1911-1935?）は、創作版画の分野で1930年代に活動した木版画家である。1911年館林市に生まれ、少年期から絵の才能を示したが、16歳で上京し働きながら独学で木版画を学んだ。新版画集団に参加するなどして頭角をあらわしたが、1935年に行方が分からなくなってしまう。

藤牧は、大震災後に復興した1930年代の東京の風景を、上野や浅草などの町並みを主題に、独特の彫りによる木版画で表現し、また近世の伝統を継承しつつ、現代的な感覚で隅田川などに取材する、長大な白描絵巻を描いている。藤牧義夫は、ごく短い制作活動のゆえに、幻の版画家として一度は埋もれかけたが、1978年の展覧会（かんらん舎）により再び注目を浴び、それ以来関東圏や地元館林を中心に着実な調査が重ねられてきている。

本展は生誕100年を記念して、群馬県立館林美術館と神奈川県立近代美術館との共同で企画したものである。藤牧の生前に残された版画・素描・白描絵巻・資料の展示ならびに、白描絵巻の全貌を把握できる映像展示を加えて、作品・資料あわせて180点を出品した。

ポスター

図録

ジュニアガイド

出品目録
前期展示:2011年7月16日(土)－8月7日(日)　後期展示:2011年8月9日(火)－8月28日(日)

Ⅰ　作品

No.	作品名	制作年(発行年)	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
1	三岳全集	1926(大正15)年6月完成	墨、貼込、他・私家本(洋装本仕立て)	21.8×15.3×(5.5)	東京都現代美術館	○	○
2	三岳画集	1927(昭和2)年1月1日完成	水彩、墨、貼込、他・私家本(洋装本仕立て)	20.2×15.3	東京都現代美術館	○	○
3	『南流微鵝當』二　模写本	1927(昭和2)年	墨・和装本仕立て(1冊)	23.2×15.8	東京都現代美術館	○	○
3参考	『南流微鵝當』二(小田切春江 著・吉川弘文館 発行)	1906(明治39)年(リプリント)	冊子		個人蔵	○	○
4	スケッチブック	1929(昭和4)年	水彩、鉛筆・冊子	28.5×19.0	東京都現代美術館	○	○
5	スケッチブック断片(客間)	1929(昭和4)年	水彩	12.0×17.1	東京都現代美術館	○	○
6	スケッチブック断片(洗い場)	1929(昭和4)年	水彩	17.1×12.0	東京都現代美術館	○	○
7	サイレン(火の見櫓)	1929(昭和4)年	木版(多色)	22.5×14.5	東京都現代美術館	○	○
8	1930(昭和5)年用年賀状(木馬)	1929(昭和4)年	木版(単色)	14.2×9.3	群馬県立館林美術館	○	○
9	(太陽と自画像) (久野歌津夫宛書簡断片)	1929(昭和4)年	木版(多色)、手彩色	17.8×12.6	群馬県立館林美術館	○	○
10	『非水百花譜』模写(雛罌粟)	1929-30(昭和4-5)年頃	水彩	39.7×27.4	個人蔵	○	○
11	『鳥類写生圖譜』模写(まみぢろ)	1929-30(昭和4-5)年頃	水彩	39.7×27.4	個人蔵	○	○
12	『鳥類写生圖譜』模写(あかはら)	1929-30(昭和4-5)年頃	水彩	39.7×27.3	個人蔵	○	○
13	〈幾久 デスマスク〉	1931(昭和6)年9月22日	木版(単色)	11.0×12.0	個人蔵	○	
14	羽子板(菊・周子)	1931(昭和6)年10月頃	水彩・紙(羽子板に貼付)	46.3×14.7	館林市立資料館	○	○
15	羽子板(富士)	1931(昭和6)年10月頃	水彩・紙(羽子板に貼付)	46.3×14.7	館林市立資料館	○	○
16	朝〔『新版画』第1号貼込〕	1932(昭和7)年6月1日	木版(単色・紫)	12.0×9.7	群馬県立館林美術館	○	○
17	朝〔『新版画』第1号貼込〕	1932(昭和7)年6月1日	木版(単色・紫)	11.8×9.6	神奈川県立近代美術館	○	○
18	都會風景〔『新版画』第3号貼込〕	1932(昭和7)年8月以前	木版(単色)	16.2×22.2	神奈川県立近代美術館	○	
					宇都宮美術館		○
19	『新版画』第4号表紙	1932(昭和7)年9月以前	木版(多色)	29.5×22.3	神奈川県立近代美術館	○	
					宇都宮美術館		○
20	御徒町駅	1932(昭和7)年9月頃	木版(多色)	7.0×15.5	東京国立近代美術館	○	○
21	御徒町驛の附近で(御徒町驛)(東京夜曲 A)〔『新版画』第4号貼込〕	1932(昭和7)年9月以前	木版(多色)	9.3×14.2	東京都現代美術館	○	
					神奈川県立近代美術館		○
22	彼等の集り〔『新版画』第5号貼込〕	1932(昭和7)年10月以前	木版(多色)、手彩色	11.5×12.5	神奈川県立近代美術館	○	
					東京都現代美術館		○
23	第1回新版画集團展覧会ポスター(都会と歯車)	1932(昭和7)年10月以前	木版(多色)	53.8×26.2(紙)	小野忠重版画館	○	○
24	第1回新版画集ダン展ラン会チラシ(彫刻刀を握る手)	1932(昭和7)年10月以前	木版(単色)	27.4×19.6(紙)	小野忠重版画館	○	○
25	朝(アドバルーン)	版制作:1932(昭和7)年10月以前 摺り:1934(昭和9)年6月以降	木版(単色)	19.5×22.0	東京国立近代美術館	○	○
26	やま・やま〔『新版画』第6号貼込〕	1932(昭和7)年11月以前	木版(単色)	7.8×17.7	神奈川県立近代美術館	○	
					東京都現代美術館		○
					かんらん舎	○	○
27	しねま〔『新版画』第7号貼込〕	1932(昭和7)年12月以前	木版(単色)	15.3×11.4	神奈川県立近代美術館	○	
					東京都現代美術館		○
					宇都宮美術館		○
					かんらん舎	○	○
28	しねま	1932(昭和7)年12月以前	木版(単色)	15.3×11.4	群馬県立館林美術館		○
29	1933(昭和8)年用年賀状(海上の日の出)〔『昭和8年　新版画集団　賀状集』(松下義雄編)貼込〕	1933(昭和8)年1月28日発行	木版(多色)、手彩色	14.2×9.2	かんらん舎	○	○
30	新版画集團第2回展ポスター(アドバルーンとメガホンを持つ男)	1933(昭和8)年2月以前	木版(多色)、手彩色	55.2×27.0(紙)	小野忠重版画館	○	○
31	墓(雪)	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色)	16.8×23.6	東京都現代美術館	○	○
32	墓(雪)	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色)	16.6×23.6	東京国立近代美術館	○	○
33	ひゞき	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色)	19.0×18.5	川口黎爾氏蔵	○	○
34	都會A〔『新版画Leaflet』No.1刷込〕	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色・機械刷り)	2.5×5.1	東京都現代美術館	○	○
35	都會B〔『新版画Leaflet』No.1刷込〕	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色・機械刷り)	2.9×5.3	東京都現代美術館	○	○
36	都會C〔『新版画Leaflet』No.1刷込〕	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色・機械刷り)	4.1×5.0	武藤隼人氏蔵	○	○

No.	作品名	制作年(発行年)	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
37	都會D〔『新版画Leaflet』No.1刷込)〕	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色・機械刷り)	4.3×6.2	武藤隼人氏蔵	○	○
38	庭〔『新版画Leaflet』No.1刷込〕	1933(昭和8)年2月以前	木版(単色・機械刷り)	3.9×4.9	武藤隼人氏蔵	○	○
39	城沼の冬	1933(昭和8)年3月17日	木版(多色)	11.0×13.5(図版) 11.1×14.4(紙) 13.8×19.5(オリジナル簡易マット) 10.0×13.1(窓)	東京都現代美術館	○	
40	城沼の冬	1933(昭和8)年3月頃	木版(多色)	11.2×14.0	群馬県立館林美術館	○	○
41	雪ノ城沼	1933(昭和8)年3月頃	木版(多色)	11.0×13.5	個人蔵		○
42	島のぢいさん〔『新版画』第9号貼込〕	1933(昭和8)年6月以前	木版(多色)	15.1×10.2	群馬県立館林美術館		○
					東京都現代美術館	○	○
					かんらん舎	○	○
43 参考	鐵 - 版画編輯試作より 無題 (4) (5) (7) (8) (9)〔『新版画』第9号刷込〕	1933(昭和8)年6月以前	木版(単色・機械刷り)		群馬県立館林美術館	○	○
44 参考	鐵 - 版画編輯試作より 無題 (10) (12)〔『新版画』第9号刷込〕	1933(昭和8)年6月以前	木版(単色・機械刷り)		東京都現代美術館	○	○
45	まくら橋〔料治朝鳴宛はがき〕	1933(昭和8)年7月16日(消印)	木版(単色)・手製はがき	14.3×8.9(紙)	町田市立国際版画美術館	○	○
46	「味覚」案内〔銀座スッポン料理屋案内はがき〕	1933(昭和8)年8月以前(8月28日消印)	木版(多色)・官製はがき	8.8×13.9	群馬県立館林美術館	○	
47	図案(都市風景)	1933(昭和8)年頃	水彩	23.7×28.8	群馬県立館林美術館寄託		○
48	鐵	1933(昭和8)年8月以前	木版(単色)	23.0×30.6	かんらん舎	○	○
49	ある一頁〔『新版画』第10号貼込〕	1933(昭和8)年9月以前	木版(多色)	13.9×10.7	館林市立資料館	○	
					宇都宮美術館		○
					かんらん舎	○	○
50	鐵の橋〔『新版画』第10号貼込〕	1933(昭和8)年9月以前	木版(多色)	14.8×16.7	宇都宮美術館	○	
					館林市立資料館		○
					かんらん舎	8/17-8/28	
51	鉄の橋	1933(昭和8)年9月以前	木版(多色)、手彩色	15.0×17.1	川口黎爾氏蔵	○	○
52	給油所(サービスステーション)	1933(昭和8)年10月以前	木版(多色)、手彩色	23.8×33.3(紙)	町田市立国際版画美術館	○	○
53	達磨	1933(昭和8)年10月下旬	木版(多色)	18.1×21.2	館林市立資料館	○	
54	達磨	1933(昭和8)年10月下旬	木版(多色)	18.2×21.3	群馬県立館林美術館寄託		○
55	都會(その二)〔『新版画Leaflet』No.2刷込〕	1933(昭和8)年11月23日以前	木版(単色)	3.8×4.8(図版) 26.2×19.0(紙)	東京都現代美術館 武藤隼人氏蔵	○	○
						○	○
56	銀行について〔『新版画』第11号貼込〕	1933(昭和8)年12月以前	木版(多色)	11.5×10.0	神奈川県立近代美術館	○	
					東京都現代美術館		○
					宇都宮美術館		○
					かんらん舎	○	○
57	銀行について	1933(昭和8)年12月25日以前	木版(多色)	11.5×9.5	群馬県立近代美術館	7/16-8/16	
58	1934(昭和9)年用年賀状(宝船)〔築比地仲助宛〕	1933(昭和8)年12月頃	木版(多色)、手彩色・官製はがき	14.2×9.0	館林市立資料館	○	
59	1934(昭和9)年用年賀状(宝船)〔畦地梅太郎宛〕	1933(昭和8)年12月頃(消印:9.1.1)	木版(多色)、手彩色・官製はがき	13.8×9.0	宇都宮美術館	○	○
60	1934(昭和9)年用年賀状(宝船)〔久野歌津夫宛〕	1933(昭和8)年12月頃	木版(多色)、手彩色・官製はがき	13.9×9.1	群馬県立館林美術館		○
61	1934(昭和9)年用年賀状(爆撃機)〔『昭和9年　新版画集団　賀状集』(藤牧義夫編)貼込〕	1933(昭和8)年12月頃	木版(単色)、手彩色	8.9×14.0	宇都宮美術館	○	○
61 参考	『昭和9年　新版画集団　賀状集』(藤牧義夫編)	1933(昭和8)年12月頃	木版(単色)、手彩色・冊子	22.0×15.2	小野忠重版画館	○	○
62	新版画集團小品展覧會案内はがき(カット《都會(その二)》再使用)	1934(昭和9)年4月	木版(単色・機械刷り)、 手彩色・官製はがき	14.0×9.0	館林市立資料館		○

No.	作品名	制作年(発行年)	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
63	新版画集團小品展覽會案内はがき(カット《都會(その二)》再使用)	1934(昭和9)年4月	木版(単色・機械刷り)、手彩色・官製はがき	14.0×9.0	宇都宮美術館	○	
64	つき〔『新版画』第12号貼込〕	1934(昭和9)年4月以前	木版(多色)、手彩色	12.5×12.5	神奈川県立近代美術館	○	○
65	つき〔『新版画』第12号貼込〕	1934(昭和9)年4月以前	木版(多色)、手彩色	12.7×12.8	群馬県立近代美術館	7/16-8/16	
66	井の頭	1934(昭和9)年4月頃	木版(単色)	19.0×25.0(紙)(二つ折り)	須坂版画美術館	○	○
67	井の頭風景	1934(昭和9)年5月5日	木版(多色)	14.8×16.9	群馬県立館林美術館寄託	○	○
68	まくら橋〔『新版画集團第四回展覽會目録』刷込〕	1934(昭和9)年5月以前	木版(単色・機械刷り)	4.3×4.6(図版)13.5×19.6(紙)	館林市立資料館	○	○
69	赤陽	1934(昭和9)年5月以前	木版(多色)、手彩色、一部コラージュ	41.5×28.0	東京国立近代美術館	○	○
70	びょうぶ坂〔『新版画』第13号貼込〕	1934(昭和9)年5月26日	石版(単色)	16.3×16.3	神奈川県立近代美術館	○	○
					かんらん舎	○	○
71	太田豊治像	1934(昭和9)年6月初め	墨	28.1×20.0	個人蔵	○	○
72	版画アンデパンダン展ポスター(清州橋と浅野セメントと飛行機)	1934(昭和9)年6月以前	木版(単色)	39.3×27.2	館林市立資料館		○
73	版画アンデパンダン展ポスター(清州橋と浅野セメントと飛行機)	1934(昭和9)年6月以前	木版(単色)	39.4×27.3	かんらん舎	○	
74	(魚の図)	1934(昭和9)年6月22日	水彩、墨	18.1×21.2	個人蔵	○	○
75	暑中見舞(雷)〔料治朝鳴宛〕	1934(昭和9)年7月13日(消印)	木版(多色)、手彩色・官製はがき	9.1×14.0(紙)	町田市立国際版画美術館	○	○
76	尾曳ノ見晴し	1934(昭和9)年7月	水彩	21.2×18.0	群馬県立館林美術館寄託	○	○
77	いたくらの梨	1934(昭和9)年7月	水彩	18.3×21.2	個人蔵	○	○
78	実る梅	1934(昭和9)年7月22日	水彩	21.0×18.0	個人蔵	○	○
79	尾曳ノ眺望	1934(昭和9)年8月	水彩	21.1×18.1	館林市立資料館	○	○
80	犬張子でんでんたいこ	1934(昭和9)年8月13日	水彩・軸	150.0×26.0	個人蔵	○	○
81	面白き植物もあるかな(サボテン)	1934(昭和9)年8月25日	水彩	21.0×18.0	群馬県立館林美術館寄託	○	○
82	エノケン一座を回る版画展案内チラシ(エノケンの顔)	1934(昭和9)年9月以前	木版(単色)	3.8×2.9(図版)14.9×9.8(紙)	小野忠重版画館	○	○
83	ENOKEN之図	1934(昭和9)年9月27日	木版(多色)、手彩色	30.6×42.3(紙)	町田市立国際版画美術館	○	○
84	白描絵巻　試作[推定](浜町公園から相生橋まで)	1934(昭和9)年秋頃	紙本墨画・巻子(全3巻)	Ⅰ:27.8×434.4 Ⅱ:27.8×573.9	館林市立資料館		○
85	白描絵巻(申孝園)	1934(昭和9)年(9月25日、10月9日、10月13日に写生)	紙本墨画・巻子	28.0×1380.0	東京都現代美術館		○
86	白描絵巻(絵巻隅田川)(白鬚橋から西村勝三像周辺まで)	1934(昭和9)年11月頃	紙本墨画・巻子	28.0×1624.0	東京都現代美術館	○	
86参考	《白描絵巻(絵巻隅田川)(白鬚橋から西村勝三像周辺まで)》 題箋「NO. 2」	1934(昭和9)年11月頃	木版(単色)	14.8×2.5(図柄)15.1×2.8(紙)	東京都現代美術館	○	
87	白描絵巻(絵巻隅田川)(商科大学向島艇庫から三圍神社まで)	1934(昭和9)年11月頃	紙本墨画・巻子	28.0×1606.0	東京都現代美術館	○	
87参考	《白描絵巻(絵巻隅田川)(商科大学向島艇庫から三圍神社まで)》 題箋「NO. 3」	1934(昭和9)年11月頃	木版(単色)	15.2×2.6(図柄)15.3×2.8(紙)	東京都現代美術館	○	
88	(隅田川周辺の風景)	1934(昭和9)年11月頃	水彩	24.6×32.2	町田市立国際版画美術館寄託	○	○
89	国会議事堂〔『新版画』第14号表紙〕	1934(昭和9)年11月以前	木版(単色)	12.4×14.3	群馬県立館林美術館	○	
					宇都宮美術館		○
90	版木《国会議事堂》〔『新版画』第14号表紙〕	1934(昭和9)年11月以前	版木(サクラ)	13.5×14.7×2.1	かんらん舎	○	○
91	まくら橋〔『新版画』第14号貼込〕	1934(昭和9)年11月以前	木版(多色)	12.2×9.2	群馬県立館林美術館	○	○
					かんらん舎	○	○
92	畦地梅太郎宛絵はがき(昭和10年用年賀状図案　建物から手を振る人物)	1934(昭和9)年11月26日(日付スタンプ)	木版(多色)・官製はがき	13.8×9.2	宇都宮美術館	○	○
93	1935(昭和10)年用年賀状(建物から手を振る人物・軍艦)〔『第1回版交の會作品集』挿込〕	1934(昭和9)年12月頃	木版(多色)・紙、アルバム	13.8×9.0	個人蔵	○	○

No.	作品名	制作年(発行年)	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
94	1935(昭和10)年用年賀状(建物から手を振る人物・軍艦)〔佐藤哲三宛〕	1934(昭和9)年12月頃(1935(昭和10)年1月1日消印)	木版(多色)・官製はがき	13.9×8.7	神奈川県立近代美術館	○	○
95	1935(昭和10)年用年賀状(建物から手を振る人物)〔『新版画』第15号貼	1934(昭和9)年12月頃	木版(多色)	14.2×9.1	東京都現代美術館 宇都宮美術館	○	 ○
96	鶴の間の池	1935(昭和10)年1月1日	水彩	21.0×18.0	群馬県立館林美術館寄託	○	○
97	デッサン社第7回展木版預り証	1935(昭和10)年3月	木版(単色)	24.5×17.6	武藤隼人氏蔵	○	
98	白ひげ橋〔『新版画』第16号貼込〕	1935(昭和10)年3月以前	木版(多色)	8.1×18.8	館林市立資料館 かんらん舎	○ ○	○ ○
99	雪〔『新版画』第16号刷込〕	1935(昭和10)年3月以前	木版(単色・機械刷り)	9.1×12.2	須坂版画美術館	○	○
100	橋(小品)〔『新版画』第16号刷込〕	1935(昭和10)年3月以前	木版(単色・機械刷り)	4.9×3.7	宇都宮美術館	○	○
101	達磨	1935(昭和10)年春	木版(多色)	21.0×18.0	個人蔵	○	○
102	〈上野東照宮〉	1935(昭和10)年6月16日	銅版(エッチング)	9.0×12.0	川口黎爾氏蔵	○	○
103	〈郊外の道〉	1935(昭和10)年6月16日	銅版(エッチング)	9.0×12.0	東京国立近代美術館	○	○
104	〈水辺〉	1935(昭和10)年6月16日	銅版(エッチング)	5.8×9.0	群馬県立近代美術館	7/16-8/16	
105	〈水辺〉	1935(昭和10)年6月16日	銅版(エッチング)	5.7×9.0	かんらん舎	○	○
106	『新版画』第17号表紙	1935(昭和10)年7月以前	木版(単色)	28.9×22.1	群馬県立館林美術館 宇都宮美術館	 ○	○
107	裏街〔『新版画』第17号貼込〕	1935(昭和10)年7月以前	木版(多色)	15.0×12.0	群馬県立館林美術館 須坂版画美術館 かんらん舎	○ ○	 ○ ○
108	川面〔『新版画』第17号貼込〕	1935(昭和10)年7月以前	木版(単色)	9.5×12.5	群馬県立館林美術館 須坂版画美術館 かんらん舎	 ○ ○	○ ○
109	五月〔『新版画』第17号貼込〕	1935(昭和10)年7月以前	木版(単色)	7.0×10.5	群馬県立館林美術館 かんらん舎	○ ○	○ ○
110	彼岸〔『新版画』第17号貼込〕	1935(昭和10)年7月以前	木版(単色)	12.7×15.8	群馬県立館林美術館 かんらん舎	○ ○	○ ○
111	版木《裏街》主版／《『新版画』第17号表紙》	1935(昭和10)年7月以前	版木(ホウ)(両面)	15.2×12.0×(1.8)	東京都現代美術館	○	○
112	版木《裏街》色版／《彼岸》	1935(昭和10)年7月以前	版木(両面)	11.9×15.2×	東京都現代美術館	○	○
113	版木《川面》／《川岸》	1935(昭和10)年7月以前/1935(昭和10)年2月	版木(両面)	8.9×12.0×(2.3)	東京都現代美術館	○	○
114	版木《五月》	1935(昭和10)年7月以前	版木	7.0×10.6×(2.5)	小野忠重版画館	○	○
参考	版木《朝霧》	1930(昭和5)年11月9日	版木		東京都現代美術館	○	○

Ⅱ 『新版画』

1	『新版画』第1号	1932(昭和7)年6月20日	冊子		神奈川県立近代美術館 群馬県立館林美術館 東京都現代美術館	○ ○ ○	○ ○
2	『新版画』第3号	1932(昭和7)年8月10日	冊子		神奈川県立近代美術館 宇都宮美術館	○ 	 ○
3	『新版画』第4号 都市田園診断号	1932(昭和7)年9月15日	冊子		神奈川県立近代美術館 宇都宮美術館 東京都現代美術館	○ ○	○ ○
4	『新版画』第5号 展覧会開催記念号	1932(昭和7)年10月10日	冊子		神奈川県立近代美術館 東京都現代美術館	○ 	 ○
5	『新版画』第6号 国立公園特集号	1932(昭和7)年11月15日	冊子		神奈川県立近代美術館 東京都現代美術館 かんらん舎	○ ○	 ○ ○
6	『新版画』第7号 演劇と映画特集号	1933(昭和8)年1月1日	冊子		神奈川県立近代美術館 宇都宮美術館 東京都現代美術館 かんらん舎	○ ○	 ○ ○ ○

No.	作品名	制作年(発行年)	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
7	『新版画第9号』 一週年記念号	1933(昭和8)年6月13日	冊子		東京都現代美術館	○	○
					群馬県立館林美術館	○	○
					かんらん舎	○	○
8	『新版画』第10号 第三回展覧会開催記念号	1933(昭和8)年10月1日	冊子		宇都宮美術館	○	○
					館林市立資料館	○	○
					かんらん舎	○	○
9	『新版画』第11号 風俗鳥瞰号	1933(昭和8)年12月25日	冊子		神奈川県立近代美術館	○	
					宇都宮美術館		○
					東京都現代美術館		○
					かんらん舎	○	
10	『新版画』第12号	1934(昭和9)年4月10日	冊子		神奈川県立近代美術館	○	○
					群馬県立近代美術館	○	
11	『新版画』第13号 東京風景特集号	1934(昭和9)年7月20日	冊子		神奈川県立近代美術館	○	
					東京都現代美術館		○
					かんらん舎	○	○
12	『新版画』第14号	1934(昭和9)年11月1日	冊子		群馬県立館林美術館	○	
					宇都宮美術館		○
					かんらん舎	○	○
13	『新版画』第15号 賀状特輯	1935(昭和10)年1月1日	冊子		東京都現代美術館	○	
					宇都宮美術館		○
14	『新版画』第16号 都市貫流特集号	1935(昭和10)年4月1日	冊子		館林市立資料館	○	○
					宇都宮美術館	○	○
					須坂版画美術館	○	○
					かんらん舎	○	○
15	『新版画』第17号 藤牧義夫特集号	1935(昭和10)年7月1日	冊子		群馬県立館林美術館	○	○
					宇都宮美術館	○	○
					須坂版画美術館	○	
					かんらん舎	○	○

Ⅲ 資料

1	杉浦非水作『非水百花譜』より《雛罌粟》	1920-22(大正9-11)年刊行	木版(多色)・紙	36.3×22.6(図版) 46.7×31.6(紙)	宇都宮美術館	○	○
2	『天業民報』	1928(昭和3)年5月21日号	印刷物・冊子	38.2×16.6	かんらん舎	○	○
3	朝霧〔『きつつき』第3号掲載〕	1931(昭和6)年6月28日発行 作品制作:1930(昭和5)年11月9日	印刷物・冊子	7.7×8.0(図版) 27.2×19.0(表紙)	東京都現代美術館	○	○
4	あをば(国画会展入選絵はがき)〔太田豊治宛〕	1932(昭和7)年5月以前	印刷物・はがき	8.7×13.8	個人蔵	○	○
5	『昭和8年 新版画集団 賀状集』(松下義雄編)	1933(昭和8)年1月28日発行	冊子	22.5×15.7	武藤隼人氏蔵	○	○
6	『新版画Leaflet』No.1	1933(昭和8)年2月以前	印刷物・冊子	26.4×19.2	東京都現代美術館	○	○
					武藤隼人氏蔵	○	○
7	『綜合美術研究』5	1933(昭和8)年9月1日発行	印刷物・冊子	22.5×15.5	神奈川県立近代美術館	○	○
					かんらん舎	○	○
7 参考	橋梁〔『綜合美術研究』5掲載〕	1933(昭和8)年8月以前	印刷物	7.8×11.0(図版) 24.5×16.9(本)	かんらん舎	○	○
7 参考	廣告風船〔『綜合美術研究』5掲載〕	1932(昭和7)年10月以前	印刷物	8.5×9.5(図版) 24.5×16.9(本)	神奈川県立近代美術館	○	○
7 参考	工場のある風景〔『綜合美術研究』5掲載〕	1933(昭和8)年8月以前	印刷物	7.6×11.5(図版) 24.5×16.9(本)	神奈川県立近代美術館	○	○

No.	作品名	制作年(発行年)	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
8	『綜合美術大系』第3巻	1934(昭和9)年7月1日発行 *『綜合美術研究』5(1933(昭和8)年9月1日発行)を含む合本	印刷物・冊子	22.5×15.5	武藤隼人氏蔵	○	○
9	橋梁〔『綜合美術体系』第3巻掲載〕	1933(昭和8)年8月以前	印刷物	7.8×11.0(図版) 24.5×16.9(本)	武藤隼人氏蔵	○	○
10	廣告風船〔『綜合美術体系』第3巻掲載〕	1932(昭和7)年10月以前	印刷物	8.5×9.5(図版) 24.5×16.9(本)	武藤隼人氏蔵	○	○
11	工場のある風景〔『綜合美術体系』第3巻掲載〕	1933(昭和8)年8月以前	印刷物	7.6×11.5(図版) 24.5×16.9(本)	武藤隼人氏蔵	○	○
12	新議事堂の裏景〔『綜合美術体系』第3巻掲載〕	1933(昭和8)年8月以前	印刷物	8.0×11.1(図版) 24.5×16.9(本)	武藤隼人氏蔵	○	○
13	武藤完一宛はがき	1933(昭和8)年10月13日(消印)	官製はがき	14.0×9.1	武藤隼人氏蔵	○	○
14	武藤完一宛はがき	1933(昭和8)年10月20日(記載)	官製はがき	13.9×9.0	武藤隼人氏蔵	○	○
15	給油所(帝展入選絵はがき)	1933(昭和8)年10月	印刷物、はがき	8.2×11.7(図版) 8.8×14.0(はがき)	館林市立資料館	○	
16	給油所(帝展入選絵はがき)〔太田豊治宛〕	1933(昭和8)年10月	印刷物、はがき	8.2×11.7(図版) 8.8×14.0(はがき)	個人蔵		○
17	給油所(印刷物)	1933(昭和8)年10月頃	印刷物	7.3×10.5(図版) 19.7×27.2(紙)	かんらん舎	○	○
18	給油所〔『創作版畫集』掲載〕	1933(昭和8)年10月	印刷物(原色版)	38.3×26.9(本)	かんらん舎	○	○
19	《達磨》のたとう	1933(昭和8)年10月頃	紙	26.2×22.9(たとうの 一部分)	個人蔵	○	○
20	都會風景(大判)〔『みづゑ』第347号掲載〕	作品制作:1933(昭和8)年11月以前 図版掲載:1934(昭和9)年1月3日	印刷物	26.0×18.7	個人蔵	○	○
21	『新版画Leaflet』No.2	1933(昭和8)年11月23日	印刷物・冊子	26.4×19.0	東京都現代美術館	○	○
22	佐藤哲三宛絵はがき	1934(昭和9)年5月2日(記載)銀座スタヂオより連名で発信	官製はがき	13.9×9.0	個人蔵	○	○
23	佐藤哲三宛絵はがき	1934(昭和9)年5月3日(消印)銀座スタヂオより連名で発信	官製はがき	14.0×9.0	個人蔵	○	○
24	新版画集団4回展ポスター(バレンと手)	1934(昭和9)年5月以前	オフセット印刷(単色、アズキ色)	54.9×26.5(紙)	小野忠重版画館	○	○
25	『新版画Leaflet』No.3	1934(昭和9)年6月1日	印刷物・冊子	26.4×18.7	館林市立資料館	○	○
26	武藤完一宛書簡	1934(昭和9)年6月15日(記載)		21.8×14.1 (便箋)2枚	武藤隼人氏蔵	○	○
27	清水正博宛はがき	1934(昭和9)年6月16日(消印)	官製はがき	14.2×9.0	館林市立資料館	○	○
28	夜の淺草六區〔『江戸と東京 名所風景版畫集』掲載〕	1934(昭和9)年8月5日	印刷物	21.5×14.8(本)	かんらん舎	○	○
29	「第7回デッサン社展覽會予告」〔『デッサン』第3号附録 「りーふれっと第2號」〕	1935(昭和10)年2月以前	印刷物	25.1×17.0(広告) 27.2×19.8(冊子)	武藤隼人氏蔵		○
30	デッサン社りーふれっと〔『デッサン』第3号附録 「りーふれっと第2號」標題デザイン〕	1935(昭和10)年2月以前	印刷物	10.6×4.4(カット) 27.2×19.8(冊子)	かんらん舎		○
31	國際飛行場〔『デッサン』第3号附録 「りーふれっと第2號」〕	1935(昭和10)年2月以前	印刷物	7.8×15.5(挿絵) 27.2×19.8(冊子)	かんらん舎	○	
32	藤牧義夫版畫個人展覽會絵はがき	1935(昭和10)年6月以前	印刷物・官製はがき	8.8×5.9(図版) 14.0×9.0(紙)	館林市立資料館	○	○
33	新版畫集團の記録	1935(昭和10)年7月	印刷物	16.7×24.3	館林市立資料館	○	○

Ⅳ 写真

No.	作品名	制作年(発行年)	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
1	藤牧義夫 1歳4ヶ月	1912(大正元)年6月9日	ゼラチン・シルバー・プリント	8.6×5.1	館林市立資料館	○	○
2	藤牧分福堂		ゼラチン・シルバー・プリント	4.4×6.0	個人蔵	○	
3	藤牧家	1933(昭和8)年頃	ニュープリント	8.3×12.5	館林市立資料館	○	○
4	父巳之七		ゼラチン・シルバー・プリント	13.7×9.9	個人蔵	○	○
5	母まき		ゼラチン・シルバー・プリント	14.8×11.6	個人蔵	○	○
6	藤牧義夫 佐々木宅にて	1928(昭和3)年	ゼラチン・シルバー・プリント	5.5×4.2	個人蔵		○
7	藤牧義夫 19歳の夏	1929(昭和4)年	ゼラチン・シルバー・プリント	5.5×4.1	個人蔵	○	○
8	藤牧義夫と姉(岡住せい)	1933(昭和8)年秋	ゼラチン・シルバー・プリント	8.7×5.7	館林市立資料館	○	○
9	藤牧義夫ポートレート	1933(昭和8)年10月下旬	ゼラチン・シルバー・プリント	8.6×5.6	館林市立資料館	○	○
10	藤牧義夫撮影写真(自室)	1934(昭和9)年1月	ゼラチン・シルバー・プリント	4.4×6.6	館林市立資料館	○	○
11 参考	藤牧義夫ポートレート	1934(昭和9)年7月1日(裏面に記載)	ゼラチン・シルバー・プリント	5.8×4.3	館林市立資料館	○	○
12 参考	藤牧義夫ポートレート	1934(昭和9)年	ゼラチン・シルバー・プリント	5.8×4.3	個人蔵	○	○
13	浅草神吉町下宿先東屋の店先の藤牧義夫		ゼラチン・シルバー・プリント	6.7×4.6	個人蔵	○	○
14	浅草神吉町下宿先 東屋の店先		ゼラチン・シルバー・プリント	6.7×4.6	個人蔵	○	○
15	藤牧義夫(於房州清澄山清澄寺日蓮上人御修業道場前)1934(昭和9)年9月9日	1934(昭和9)年9月9日(裏面に記載)	ゼラチン・シルバー・プリント	10.0×7.3	館林市立資料館	○	○
16	藤牧義夫撮影写真(白ひげ橋)	1934(昭和9)年秋頃	ゼラチン・シルバー・プリント	4.0×5.9	神奈川県立近代美術館	○	○
17	藤牧義夫撮影写真(日章旗のある自室)	1935(昭和10)年正月頃	ゼラチン・シルバー・プリント	4.5×6.8	個人蔵	○	○
18	藤牧義夫(國際飛行場ターミナルにて)	1935(昭和10)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	6.4×4.2	館林市立資料館	○	○

Ⅴ 藤牧義夫関連文献

No.	関連書籍・関連記事 著者/編者/監修者	関連書籍・関連記事 題名	関連記事出典元	発行元	発行年	所蔵	備考
1	平塚運一	『版画の技法』		アルス	1928(昭和3)年 (1927(昭和4)年初版)	群馬県立館林美術館	
2	日本版畫協會編	『第四回日本版畫協會展覽會及 日本現代版畫米國展準備展観』図録		日本版畫協會	1935(昭和10)年	個人蔵	
3	恩地孝四郎	『日本の現代版画』		創元社	1953(昭和28)年	神奈川県立近代美術	
4	小野忠重	『現代版画の技法』		ダヴィッド社	1956(昭和31)年	群馬県立館林美術館	
5	小野忠重	『現代版画の技法』改訂版		ダヴィッド社	1967(昭和42)年 (1958(昭和33)年初版)	群馬県立館林美術館	
6	小野忠重	『木版画 材料と技法』		美術出版社	1972(昭和47)年 (1956(昭和31)年初版)	群馬県立館林美術館	
7	小野忠重編	『版画アルバム』		ダヴィッド社	1958(昭和33)年 (1957(昭和32)年初版)	群馬県立館林美術館	
8	小野忠重	『版画技法ハンドブック』		ダヴィッド社	1960(昭和35)年	群馬県立館林美術館	
9	小野忠重	『版画―近代日本の自画像―』		岩波書店	1961(昭和36)年	群馬県立館林美術館	
10	小野忠重	『日本版画美術全集 第7巻 現代版画Ⅰ 明治―昭和』		講談社	1962(昭和37)年	神奈川県立近代美術館	
11	小野忠重	『版画 見かた・作りかた』		社会思想社	1964(昭和39)年	群馬県立館林美術館	
12	東京国立近代美術館編	『近代日本の版画』図録		東京国立近代美術館	1967(昭和42)年	神奈川県立近代美術館	
13	小野忠重 編	『版画辞典』		ダヴィッド社	1971(昭和46)年	群馬県立館林美術館	
14	小野忠重	『版画の魅力』		新日本出版社	1971(昭和46)年	群馬県立館林美術館	
15	小野忠重	『近代日本の版画 ―新芸術運動としての創作版画―』		三彩社	1971(昭和46)年	群馬県立館林美術館	
16	小野忠重	『趣味のたのしみ 版画入門』		大日本図書	1974(昭和49)年	群馬県立館林美術館	
17	小倉忠夫	『原色 現代日本の美術』 第11巻 版画		小学館	1978(昭和53)年	群馬県立館林美術館	
18	藤牧義夫版画碑建設協賛会編	『藤牧義夫―いしぶみによせて―』		藤牧義夫版画碑建設協賛会	1978(昭和53)年	群馬県立館林美術館	
19	小野忠重	『版画の青春』		形象社	1978(昭和53)年	群馬県立館林美術館	
20	かんらん舎編	『藤牧義夫遺作版画展』図録		かんらん舎	1978(昭和53)年	神奈川県立近代美術館(青木茂氏旧蔵書)	
21	洲之内徹	『帰りたい風景 気まぐれ美術館』		新潮社	1991(平成3)年 (1980(昭和55)年初版)	神奈川県立近代美術館	
22	庄田雪二	『版画のいしぶみ 藤牧義夫伝』		斉藤書店	1980(昭和55)年	館林市立資料館	後期のみ展示
23	海野弘	『都市風景の発見 日本のアヴァンギャルド芸術』		求龍堂	1982(昭和57)年	個人蔵	
24	野口冨士男	『相生橋煙雨』		文藝春秋	1982(昭和57)年	個人蔵	
25	館林市立図書館編	『郷土の芸術家たち』		館林市立図書館	1985(昭和60)年	群馬県立館林美術館	
26	洲之内徹	「藤牧義夫 隅田川絵巻」	〔『別冊太陽』No. 54 SUMMER '86掲載〕	平凡社	1986(昭和61)年	群馬県立館林美術館	
27	神奈川県立近代美術館編	『1930年代の版画家たち 谷中安規と藤牧義夫を中心として』図録		神奈川県立近代美術館	1987(昭和62)年	個人蔵	
28	洲之内徹	『さらば気まぐれ美術館』		新潮社	1988(昭和63)年	神奈川県立近代美術館	
29	水沢勉	「唄いつつゆく 1－藤牧義夫、ある版画家の生きた時代」(第12号)～「唄いつつゆく 5 東京での暮らし」(第16号)	〔『Libellus』第12号(1993(平成5)年11月25日発行)～第16号(1994(平成6)年7月25日発行)掲載〕	柏書房	1993(平成5)年～1994(平成6)年	個人蔵	
30	青木繁・酒井忠康監修	『日本の近代美術12 近代の版画』		大月書店	1994(平成6)年	群馬県立館林美術館	
31	館林市教育委員会文化振興課編	『生誕85周年記念 藤牧義夫 その芸術の全貌』図録		館林市第一資料館	1995(平成7)年	個人蔵	
32	小野忠重版画館編	『版の繪』第4号 特集「新版画集団の記録」		小野忠重版画館	1996(平成8)年	個人蔵	

No.	関連書籍・関連記事 著者/編者/監修者	関連書籍・関連記事 題名	関連記事出典元	発行元	発行年	所蔵	備考
33	小野忠重版画館編	『藤牧義夫』図録		小野忠重版画館	1999(平成11)年	群馬県立館林美術館	
34	小野忠重版画館編	『版の繪』第8号 特集「藤牧義夫と新版画集団」		小野忠重版画館	1999(平成11)年	個人蔵	
35	水沢勉	「白鬚橋三題 －1930年代の視覚の問題から」	〔『國文學－解釈と教材の研究－』 1999(平成11)年8月号掲載〕	學燈社	1999(平成11)年	個人蔵	
36	大谷芳久	「藤牧義夫版画《赤陽》疑義」	〔明治美術学会 編『近代画説』9掲載〕	美術の図書三好企画	2000(平成12)年	群馬県立館林美術館	
37	大谷芳久	「残されたひとやま－藤牧版画の後摺りについて1」(第2号)～「11番目の月が出た－「日本近代の青春 創作版画の名品」展－」(第44号)	〔『一寸』第2号(2000(平成12)年5月1日発行)～第44号(2010(平成22)年11月30日発行)掲載(第15号を除く)〕	書痴同人	2000(平成12)年～2010(平成22)年	個人蔵	
38	五十殿利治・水沢勉編	『モダニズム／ナショナリズム』		せりか書房	2003(平成15)年	個人蔵	
39	牧野將	『赤陽物語 私説藤牧義夫論』		新風社	2003(平成15)年	群馬県立館林美術館	
40	加治幸子	『創作版画誌の系譜 総目次および作品図版』		中央公論美術出版	2007(平成19)年	群馬県立館林美術館	
41	大谷芳久	『藤牧義夫 真偽』		学藝書院	2010(平成22)年	群馬県立館林美術館	
42	駒村吉重	『君は隅田川に消えたのか ―藤牧義夫と版画の虚実』		講談社	2011(平成23)年	群馬県立館林美術館	

◎印刷物・会場作成物

・図録　A5(21×14.8cm)　155頁
内容:
はじめに
藤牧義夫　一九三四年九月(神奈川県立近代美術館長　水沢勉)
館林と藤牧義夫(館林市史編さんセンター長　岡屋紀子)
図版
Ⅰ　作品
Ⅲ　資料
Ⅳ　写真
藤牧義夫のことば
藤牧義夫・略年譜
藤牧義夫・主要文献
作品目録
謝辞
クレジット
編集:群馬県立館林美術館(松下由里・田中龍也)
神奈川県立近代美術館(水沢勉・籾山昌夫・長島彩音)
著者:藤牧義夫
発行日:2011年7月20日
発行者:嶋裕隆
印刷・製本:光村印刷株式会社
発行所:株式会社求龍堂
デザイン:U.SHIMA
・ポスター　B2
・チラシ　A4
・パネル
あいさつ1枚
写真1枚
「はじめに」1枚
章解説5枚
藤牧義夫関連系図1枚
白描絵巻映像展示解説1枚
藤牧義夫館林関連地図1枚
藤牧義夫東京関連地図1枚
略年譜1枚
「大日本」3枚
・ジュニアガイド　A4二つ折
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]
・朝日ぐんま
7.22
「圧巻!32メートル「白描絵巻」 館林で公開　藤牧義夫展」＊
・おおたタイムス
6.18
「館林美術館10周年記念　藤牧義夫展」
7.16
「生誕100年藤牧義夫展　館林美術館で」
・産経新聞
7.3
「生誕100年　藤牧義夫展　近代日本版画の輝き」＊＜美の扉＞、「変化する街の表情　鮮やかに」＊＜美の扉＞
・上毛新聞
2.4
「文化芸術　地域の潜在資産に光」
6.25
「独創的な都市風景描く 異才の版画家に迫る　生誕100年で藤牧義夫展　16日から館林美術館」＜文化＞＊
8.5
「赤陽」＜県内美術館　博物館＞
8.13
「館林美術館開館10周年記念展示「生誕100年藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」＜ぐんまちゃんの掲示板＞
・上毛新聞シャトル(館林ニュース)
7.1、7.4、7.15、7.18、7.22、7.25、7.29、8.1、8.5、8.8、8.19、8.22、8.26
「開館10周年記念「生誕100年藤牧義夫展～館林に生まれた創作版画の異才」＜出かけてみませんか情報BOX＞
7.1、7.22、7.25、7.29、8.1、8.5、8.8
「子どもギャラリートーク」＜出かけてみませんか情報BOX＞
7.4、7.15、7.18、7.22、7.25、7.29、8.1、8.5、8.8、8.19、8.22
「学芸員による作品解説会」＜出かけてみませんか情報BOX＞
7.16
「「生誕100年藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」今日から開催　時代を鋭く見つめる」＊＜GMATだより＞＊
7.22、7.25、7.29、8.1、8.5、8.19、8.22
「館林邑楽地区小学生木版画展」＜出かけてみませんか情報BOX＞
7.23
「第3回　日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念　館林邑楽地区小学生木版画展＋みんなのアトリエのお知らせ　児童制作の1800点展示」＜GMATだより＞＊
7.27
「創作版画の異才藤牧義夫　生誕100年実像に迫る　館林美術館で記念展　多色「赤陽」、4巻60メートル白描絵巻　小学5年生の木版画も紹介」
7.31＊
「40歳差の隣人関係　花袋の本　友人に形見分け」＜藤牧義夫と田山花袋～上～・牧野將＞＊

8.6
「「生誕100年藤牧義夫展」記念トークセッション　水沢勉×石田尚志「絵巻の秘密　藤牧義夫の場合」ご報告　究極の客観視の表現」＜GMATだより＞＊
8.7
「影響した写生文　構図、題名の参考に」＜藤牧義夫と田山花袋～下～・牧野將＞＊
8.27
「「生誕100年藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」あす終了　困難極めた資料収集」＜GMATだより＞＊
・新美術新聞
3.21
「生誕100年藤牧義夫展――館林に生まれた創作版画の異才」
7.11
「生誕100年藤牧義夫展――館林に生まれた創作版画の異才　謎多い画家の本質を問う機会」(松下由里)＊
12.11・12合併号＜特集2011年 年末回顧展アンケート＞野地耕一郎②生誕100年 藤牧義夫展
・東京新聞
7.14、7.28
「群馬県立館林美術館　生誕100年藤牧義夫展――館林に生まれた創作版画の異才」＜ゆめぽっけ　美術・博物館ガイド＞
・讀賣新聞
6.27
「生誕100年　藤牧義夫展」＜美連協ガイド＞
7.14
「生誕100年　藤牧義夫展」
7.17
「版画家・藤牧義夫　館林で生誕100年展」
8.4
「生誕100年藤牧義夫展㊤　斬りつける光の緊張感」(松下由里)＊
8.5
「生誕100年藤牧義夫展㊥　三角刀の鋭いきらめき」(松下由里)＊
8.6
「生誕100年藤牧義夫展㊦　細い線自由自在に描出」(松下由里)＊
8.25
「生誕100年藤牧義夫展　失踪の版画家　深まる謎」＊
・群馬よみうり　ビバ!アミーゴ（太田・館林版）
7.15
「生誕100年藤牧義夫展」＜イベントインフォメーション＞
8.12
「生誕100年藤牧義夫展――館林に生まれた創作版画の異才」＜アミーゴプレゼント＞

[定期刊行物]
・足利漫我人
7月＆8月号
「県立館林美術館情報」＜マガジン・ネットワーク＞
9月＆10月号
「館林美術館「藤牧義夫展」内覧会に出席」＜マル編日記＞
・ギャラリー
7、8月号
「生誕100年藤牧義夫展」＜全国の展覧会スケジュール＞
8月号
「生誕100年藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才　24才で息を絶った創作版画の異才」＊＜展覧会とアーティスト＞
・ぐんま広報
7.3
「館林美術館開館10周年記念展示「生誕100年藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」＜県有施設イベント＞
7.15
「館林美術館開館10周年記念展示「生誕100年藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」＜催し物＞
・ぐんま情報誌　からっ風
7月・8月号
「開館10周年記念「生誕100年藤牧義夫展～館林に生まれた創作版画の異才」＜Art Museum 2011　美術館情報＞
・芸術新潮
7月号
「開館10周年記念　生誕100年　藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」＜invitation exhibition＞
・月刊アートコレクター
8月号
「生誕100年　藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」＜7月～8月　展覧会ガイド＞
・月刊水墨画
10月号
「生誕100年藤牧義夫展　館林に生まれた創作版画の異才」＊
・月刊美術
8月号
「生誕100年　藤牧義夫展」＜これだけは見たい!2011年今夏開催の注目展＞、＜招待券プレゼント＞
・書道界
8月号
「生誕100年　藤牧義夫展」＜インフォメーション＞、＜ランダム・ハウス＞
・旅鶴
秋の号
「広大な芝生に囲まれた近・現代の造形美は語る」＜旅鶴プラン300“日本の美の旅”＞
・ 帝國芸術新聞
7.15（第371号）
「群馬県立館林美術館　◇「開館10周年記念　生誕100年　藤牧義夫展　館林に生まれた創作版画の異才」展　◇「第3回　日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念　館林邑楽地区小学生木版画展」展」＜全国のギャラリー紹介＞

8.15(第372号)
「群馬県立館林美術館　開館10周年記念　生誕100年　藤牧義夫展　館林に生まれた創作版画の異才」＜全国のギャラリー紹介＞
・博物館研究
7月号、8月号
「群馬県立館林美術館　開館10周年記念　企画展示　生誕100年　藤牧義夫展」＜展覧会(美術)＞
・版画芸術
No.152
「群馬県立館林美術館　生誕100年　藤牧義夫展」＜展覧会スケジュール＞
・美術手帖
9月号
「生誕100年　藤牧義夫　館林に生まれた創作版画の異才」＜ART NAVI＞
・美術の窓
2月号
「生誕100年　藤牧義夫展」
7月、8月、9月号
「生誕100年　藤牧義夫展」＜展覧会情報＞
7月号
「藤牧義夫の風景　著者に聞く　駒村吉重」＊
・美連協ニュース
8月号
「生誕100年　藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」(松下由里)＊＜展覧会紹介＞、「生誕100年　藤牧義夫展」＜開催中の展覧会＞、「(企画展示)開館10周年記念　生誕100年　藤牧義夫展」＜加盟館展覧会案内＞
・渡良瀬通信
7、8月号
「群馬県立館林美術館　生誕100年藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」＜渡良瀬インフォメーション＞
・ANタイムズ
7.1
「生誕100年・藤牧義夫展　県立館林美術館」＊

◎放送

[テレビ]
・NHK教育テレビ
7.31
「生誕100年　藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」＜日曜美術館・アートシーン＞
[ラジオ]
・FM太郎
7.13
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞(藤牧義夫展について)
7.20
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞(藤牧義夫展　トークセッションについて)
8.19
8:20-8:25＜ぐんまいきいき情報＞(藤牧義夫展について)

◎関連事業

・記念トークセッション
7.31
「絵巻の秘密　藤牧義夫の場合」
講師:水沢勉(神奈川県立近代美術館館長)
　　石田尚志(映像作家／美術家・多摩美術大学准教授)
・みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」
7.21、7.28、8.4、8.11、8.18、8.25
講師:広瀬孝志(木版画家)
・第3回　日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念　館林邑楽地区小学生木版画展
7.16～8.25

展示室2

展示室3

展示室4

3. 開館10周年記念　日本近代洋画にみる“自然と人間”

会期	平成23年9月17日（土）－11月27日（日）
会場	展示室2、3、4
主催	群馬県立館林美術館
助成	芸術文化振興基金
観覧料	一般：800（640）円、大高生：400（320）円 （　）内は20名以上の団体割引料金

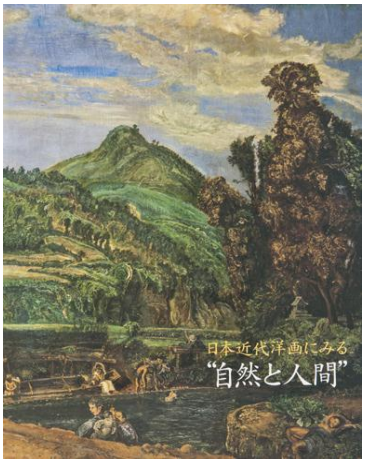
平成13（2001）年10月、群馬県で2館目の県立美術館として、豊かに広がる田園と白鳥の飛来する多々良沼の近くに開館した館林美術館は、開館記念展のタイトルにも掲げた“自然と人間”をテーマとした作品収集や展覧会活動を続けてきた。人間だけが自然界の主ではないことが指摘され、自然との共生が声高に叫ばれる21世紀初頭にオープンした美術館として、このテーマは適切であったと思われる。

開館10周年を迎えるにあたり再度このテーマを掲げたが、今回は日本近代洋画に絞り込んで展覧会を計画した。すなわち、明治から大正・昭和初期までのわが国近代洋画の作品の中から風景画と人物画に焦点をあてた展覧会である。

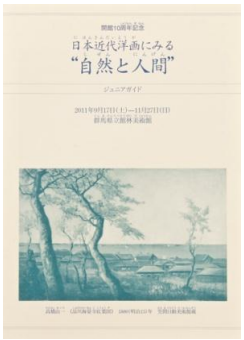
幕末の日本に輸入された油絵の技法は、様々な西洋文化の輸入の中で、ものを見る眼差しにかかわる重要な事柄だった。眼差しの変化は、同時に芸術と社会との関係にも大きな変化を与える。いわゆる洋画のジャンルとして登場した風景画と人物画の流れをたどるとき、そこには西洋の様々な画風に影響されると同時に、“自然と人間”に対する日本人の視線の変化をも見て取ることができるだろう。

本展では、高橋由一をはじめとした明治初期の洋画に始まり、浅井忠や黒田清輝らによる洋画の定着、明治後半のアカデミズムの確立、大正期の草土社の人々による“写実”の追究と様々な個性、そして昭和初期のシュルレアリスムやフォービズムの展開へと続く日本近代洋画史の流れを追いながら、底流する“自然と人間”への関心の在り方を探った。

ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

Ⅰ　草創期の洋画家たち―明治前期

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	高橋由一	本牧海岸	1877(明治10)	油彩・カンヴァス	51.7×63.9	笠間日動美術館
2	亀井竹二郎	石版『懐古東海道五十三駅真景』油彩原画より 大津駅唐崎ノ松	1877(明治10)	油彩・紙	16.2×23.6	郡山市立美術館
3	亀井竹二郎	石版『懐古東海道五十三駅真景』油彩原画より 大磯駅海浜晴景	1877-78(明治10-11)	油彩・紙	17.1×24.6	郡山市立美術館
4	高橋由一	品川海晏寺紅葉図	1880(明治13)	油彩・カンヴァス	45.7×69.9	笠間日動美術館
5	原田直次郎	風景	1886(明治19)	油彩・カンヴァス	76.2×106.7	岡山県立美術館
6	五百城文哉	春日山春景図(桃源図)	1890(明治23)頃	油彩・カンヴァス	39.0×79.0	栃木県立美術館
7	浅井　忠	小丹波村	1893(明治26)	油彩・カンヴァス	27.0×39.0	三重県立美術館
8	渡辺幽香	房州根本海岸	1897(明治30)	油彩・カンヴァス	49.5×95.0	笠間日動美術館
9	山内愚僊	朝妻舟	1897(明治30)	油彩・布(二曲一隻)	140.2×150.0	大阪市立近代美術館建設準備室
10	本多錦吉郎	景色	1898(明治31)	油彩・カンヴァス	64.9×88.3	府中市美術館

Ⅱ　洋画の確立―明治後期

11	黒田清輝	大磯風景		油彩・板	24.1×32.5	府中市美術館
12	久米桂一郎	秋景	1895(明治28)	油彩・カンヴァス	99.2×73.0	久米美術館
13	湯浅一郎	松林	1897(明治30)	油彩・カンヴァス	32.7×45.7	久米美術館
14	和田英作	富士	1899(明治32)	油彩・カンヴァス	39.5×51.6	府中市美術館
15	湯浅一郎	徒然	1904(明治37)	油彩・カンヴァス	133.0×68.5	群馬県立近代美術館
16	黒田清輝	庭の雪	1905(明治38)	油彩・板	34.0×26.0	茨城県近代美術館
17	橋本邦助	秋の花	1907(明治40)	油彩・カンヴァス	121.5×60.0	栃木県立美術館
18	橋本邦助	白い雲	1910(明治43)	油彩・カンヴァス	59.6×48.8	泉屋博古館分館
19	大野隆徳	落葉を拾う児等	1911(明治44)	油彩・カンヴァス	59.0×79.2	泉屋博古館分館
20	小杉放菴	婦人立像	1911(明治44)頃	油彩・カンヴァス	143.5×73.0	栃木県立美術館

Ⅲ　個性の時代―大正期

21	松山省三	芝居茶屋の娘	1913(大正2)	油彩・カンヴァス	80.7×60.2	泉屋博古館分館
22	斎藤与里	朝	1915(大正4)	油彩・カンヴァス	65.8×100.4	埼玉県立近代美術館
23	河野通勢	長野の近郊	1915(大正4)	油彩・カンヴァス	112.2×194.0	長野県信濃美術館
24	横堀角次郎	風景(斎藤山より大崎遠望)	1915(大正4)	油彩・カンヴァス	60.8×80.5	群馬県立近代美術館
25	中村　彝	裸体	1916(大正5)	油彩・カンヴァス	99.8×80.5	茨城県近代美術館
26	満谷国四郎	瀬戸内海風景	1917(大正6)	油彩・カンヴァス	91.0×182.0	岡山県立美術館
27	和田英作	風景(松島五大堂)	1918(大正7)	油彩・カンヴァス	45.5×60.6	財団法人 大川美術館
28	萬　鉄五郎	木の間風景	1918(大正7)	油彩・カンヴァス	73.0×100.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
29	小出楢重	自画像	1918(大正7)	油彩・カンヴァス	45.5×37.8	郡山市立美術館
30	高間惣七	夏草	1918(大正7)	油彩・カンヴァス	122.5×134.0	横須賀美術館
31	鹿子木孟郎	奈良の秋	1919(大正8)	油彩・カンヴァス	58.2×79.8	岡山県立美術館
32	中川一政	監獄裏の落日	1919(大正8)	油彩・カンヴァス	45.6×53.0	群馬県立近代美術館
33	吉田　博	槍ケ岳	1921-26(大正10-15)	油彩・カンヴァス	61.0×80.0	茨城県近代美術館
34	山下新太郎	苔寺	1922(大正11)頃	油彩・カンヴァス	55.5×46.3	郡山市立美術館
35	正宗得三郎	四万温泉	1925(大正14)	油彩・カンヴァス	45.8×55.0	府中市美術館
36	坂田一男	キュビスム的人物像	1925(大正14)	油彩・カンヴァス	90.0×65.1	岡山県立美術館
37	佐伯祐三	門と広告	1925(大正14)	油彩・カンヴァス	61.0×73.1	埼玉県立近代美術館
38	石井柏亭	麻雀	1926(大正15)	油彩・カンヴァス	72.7×90.9	茨城県近代美術館

Ⅳ　独自の表現へ―昭和前期

39	国枝金三	中之島風景	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	91.0×117.0	大阪市立近代美術館建設準備室
40	佐伯祐三	広告(アン・ジュノ)	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	65.2×81.1	大阪市立近代美術館建設準備室
41	前田寛治	赤い帽子の少女	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	117.0×90.9	三重県立美術館
42	刑部　人	友人の肖像	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	100.0×80.3	栃木県立美術館
43	小出楢重	裸女の3	1929(昭和4)	油彩・カンヴァス	53.5×65.4	大阪市立近代美術館建設準備室

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
44	里見勝蔵	女	1929(昭和4)	油彩・カンヴァス	74.0×100.0	茨城県近代美術館
45	清水登之	父の庭	1930(昭和5)	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	栃木県立美術館
46	鍋井克之	奈良の月	1930(昭和5)	油彩・カンヴァス	72.9×91.3	泉屋博古館分館
47	長谷川利行	カフェの入口	1930(昭和5)	油彩・カンヴァス	60.3×50.0	府中市美術館
48	福沢一郎	科学美を盲目にする	1930(昭和5)	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	群馬県立近代美術館
49	藤島武二	大洗の日の出	1931(昭和6)	油彩・カンヴァス	33.0×45.5	茨城県近代美術館
50	安井曾太郎	外房風景;太海	1931(昭和6)	油彩・カンヴァス	34.3×42.5	横須賀美術館
51	田中佐一郎	裸婦三像	1931(昭和6)	油彩・カンヴァス	163.5×131.9	群馬県立近代美術館
52	海老原喜之助	森と群鳥	1932(昭和7)	油彩・カンヴァス	73.5×100.0	三重県立美術館
53	ラグーザ玉	水辺白鷺図	1933-39 (昭和8-14)	油彩・カンヴァス	99.7×59.5	財団法人 大川美術館
54	阿部金剛	風景	1933(昭和8)	油彩・カンヴァス	46.0×38.0	横須賀美術館
55	林　倭衛	積藁	1935(昭和10)	油彩・カンヴァス	65.5×82.2	埼玉県立近代美術館
56	倉田白羊	山居の秋	1936(昭和11)	油彩・カンヴァス	45.5×53.0	埼玉県立近代美術館
57	清水登之	林の中の鳥	1936(昭和11)	油彩・カンヴァス	79.0×64.0	財団法人 大川美術館
58	山口　薫	森	1936(昭和11)	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	群馬県立館林美術館
59	児島善三郎	残雪	1937(昭和12)	油彩・カンヴァス	44.2×59.3	泉屋博古館分館
60	北川民次	大地	1939(昭和14)	油彩・カンヴァス	112.0×162.0	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
61	オノサト・トシノブ	雨後	1939(昭和14)	油彩・板	53.0×45.5	財団法人 大川美術館
62	赤松麟作	霧の穂高	1940(昭和15)	油彩・カンヴァス	60.7×80.5	岡山県立美術館
63	梅原龍三郎	北京長安街	1941(昭和16)	岩彩、油彩・紙	63.6×78.7	泉屋博古館分館
64	仲田好江	追分風景	1941(昭和16)	油彩・カンヴァス	60.8×72.8	群馬県立近代美術館
65	山口　薫	水	1941(昭和16)	油彩・カンヴァス	79.8×99.8	群馬県立近代美術館
66	小杉放菴	金太郎遊行図	1942(昭和17)	油彩・カンヴァス	157.2×141.8	泉屋博古館分館
67	安井曾太郎	読書	1942(昭和17)	油彩・カンヴァス	66.6×55.2	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
68	靉光	グラジオラス	1942(昭和17)頃	油彩・板	33.1×23.7	横須賀美術館
69	須田国太郎	祖谷渓善徳	1943(昭和18)	油彩・カンヴァス	49.3×60.0	群馬県立近代美術館
70	金山平三	嬬恋村	1943-44 (昭和18-19)	油彩・カンヴァス	45.5×65.1	群馬県立館林美術館

◎印刷物・会場作成物

・図録　A4判変形（290×225mm）100頁
内容:
ごあいさつ（群馬県立館林美術館館長　染谷滋）
日本近代洋画考（染谷滋）
「風景画」の成立―西洋絵画の影響の下に（群馬県立館林美術館学芸員　松下由里）
図版
I 草創期の洋画家たち―明治前期
II 洋画の確立―明治後期
III 個性の時代―大正期
IV 独自の表現へ―昭和前期
作家略歴、関連年表、出品リスト
編集:群馬県立館林美術館
翻訳:スタンリー・N・アンダソン
制作:印象社
発行:群馬県立館林美術館
・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド A3四つ折り
・パネル
あいさつ2枚
章解説4枚
解説11枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事（長文記事は末尾に＊）

［新聞等］
・朝日新聞
9.28、10.26、11.9
「日本近代洋画にみる「自然と人間」」〈群馬マリオン　沿線美術館情報〉
11.9
「日本近代洋画にみる「自然と人間」」＊〈群馬マリオン　ギャラリー・ミュージアム〉
・朝日ぐんま
10.21
「日本近代洋画に見る“自然と人間”」＊〈プレゼント〉
10.28
「日本近代洋画にみる「自然と人間」模倣から創造への軌跡」＊〈美術探訪〉
・おおたタイムス
9.3
「日本近代洋画にみる「自然と人間」館林美術館10周年記念」＊
9.17
「いよいよ今日17日から県立館林美術館で　日本近代洋画の「自然と人間」」＊
・上毛新聞
9.17
「開館10年の節目祝う“自然と人間”題材に記念展」＊
9.18
「「日本近代洋画にみる“自然と人間”」招待券を5組10人に」＊〈おたのしみ読者プレゼント〉
11.4
「館林美術館開館10周年記念「日本近代洋画にみる“自然と人間”」展」＊〈ぐんまちゃんの掲示板〉
・上毛新聞シャトル
8.20
「描かれた雲と秋の展覧会　近代洋画の歩み示す」〈GMATだより〉＊
9.9、9.16、9.19、9.23、9.26、9.30、10.3、10.7、10.10、10.17、10.21、10.24、10.28
「開館10周年記念「日本近代洋画にみる“自然と人間”」」〈出かけてみませんか　情報BOX〉
9.9、9.16、9.19、9.23、10.3、10.7、10.10
「子どもギャラリートーク」〈出かけてみませんか　情報BOX〉
9.10
「秋のワークショップのご案内　風景と人物を油彩で」〈GMATだより〉＊
9.16、9.19、9.23、9.26、9.30、10.3、10.7、10.10、10.17、10.21、10.24、10.28
「学芸員による作品解説会」〈出かけてみませんか　情報BOX〉
9.16、9.19、9.23
「連続講演会「高橋由一と明治の洋画」」〈出かけてみませんか　情報BOX〉
9.17
「きょうから開館10周年企画展「日本近代洋画にみる“自然と人間”」明治から昭和への歩み」〈GMATだより〉＊
9.25
「館林美術館で記念式典　地域に根ざし10周年　11月まで記念展“自然と人間”焦点の近代洋画」＊
10.3、10.7、10.10
「連続講演会「風景の発見と風景画の成立」」〈出かけてみませんか　情報BOX〉
10.15
「「日本近代洋画にみる“自然と人間”」展ブックガイド　背景学びより深く鑑賞」〈GMATだより〉＊
10.17、10.21、10.24、10.28
「連続講演会「自画像の中の近代」」〈出かけてみませんか　情報BOX〉
10.22
「「日本近代洋画にみる“自然と人間”」連続講演会（第2回）のご報告　風景に価値認める視点」〈GMATだより〉

10.25、11.1、11.8
「学芸員による作品解説会」〈イベント情報〉
10.25
「連続講演会・原田光「自画像の中の近代」」〈イベント情報〉
10.29
「「日本近代洋画にみる“自然と人間”」展より　河野通勢《長野の近郊》のことなど　西洋画参考に独自の表現」〈GMATだより〉＊
11.1
「連続講演会・染谷滋「日本近代洋画を楽しむ」」〈イベント情報〉
11.7
「県立館林美術館　近代洋画、自然と人間に焦点」＊〈culture〉
11.8
「子どもギャラリートーク」〈イベント情報〉
・東京新聞
9.15、10.6、11.3、11.10、11.17
「日本近代洋画にみる“自然と人間”風景画と人物画に焦点」〈ゆめぽっけ美術・博物館ガイド〉
9.17
「日本近代洋画足跡たどる　きょうから開館10周年記念の企画展」＊
・群馬よみうり　ビバ！アミーゴ（太田・館林版）
9.9
「日本近代洋画にみる“自然と人間”」＊〈お出かけ情報〉
・両毛新聞
9.13
「日本近代洋画にみる“自然と人間”展」＊〈手軽に行けるカルチャードライブ　近県美術館、博物館だより〉

［定期刊行物］
・足利漫我人
9・10月号
「県立館林美術館情報「日本近代洋画にみる“自然と人間”」」＊〈マガジン・ネットワーク〉
・ギャラリー
9月号
「群馬県立館林美術館開館10周年記念　日本近代洋画にみる“自然と人間”」＊〈今月の展覧会Exhibition Spot〉
9月号、10月号、11月号
「日本近代洋画にみる“自然と人間”」〈全国の展覧会スケジュール〉
・ぐんま広報
9月号
「館林美術館開館10周年記念展示「日本近代洋画にみる“自然と人間”」」＊〈INFORMATION〉
・ぐんま情報誌　からっ風
9・10月号、11・12月号
「開館10周年記念「日本近代洋画にみる“自然と人間”」＊〈ArtMuseum2011美術館情報〉
・芸術新潮
10月号
「開館10周年記念　日本近代洋画にみる“自然と人間”」〈invitation exhibition〉
・新美術新聞
9月11日号
「日本近代洋画にみる“自然と人間”群馬県立館林美術館」＊〈北から南museum67〉
・帝國芸術新聞
第374号
「企画展示「開館10周年記念　日本近代洋画にみる“自然と人間”」」〈全国のギャラリー紹介〉
・博物館研究
vol.46 No.11
「日本近代洋画にみる“自然と人間”、学芸員による作品解説会、連続講演会「日本近代洋画を楽しむ」」〈Schedule of exhibitions in November〉
・美術の窓
9月号
「日本近代洋画にみる“自然と人間”」〈展覧会情報〉
11月号
「日本近代洋画にみる“自然と人間”、コレクション展示油彩・現代美術／近現代の彫刻Ⅱ」〈展覧会情報〉
12月号
「日本近代洋画にみる“自然と人間”、コレクション展示油彩・現代美術／近現代の彫刻Ⅱ」〈展覧会情報〉
・美連協ニュース
11月号
「（企画展示）開館10周年記念　日本近代洋画にみる“自然と人間”」〈加盟館展覧会案内〉
・渡良瀬通信
9月号、10月号、11月号
「開館10周年記念　日本近代洋画にみる“自然と人間”」〈渡良瀬インフォメーション〉
12月号
「開館10周年記念　日本近代洋画にみる“自然と人間”」〈渡良瀬インフォメーション〉
・ANタイムズ
9.10
「日本近代洋画にみる《自然と人間》群馬県立館林美術館　会期=9月17日～11月27日」＊
・TAKATAI
9.23
「日本近代洋画にみる“自然と人間”」＊〈アート情報〉

◎放送

[テレビ]
・NHK教育テレビ
10.16
「日本近代洋画にみる“自然と人間”」＜日曜美術館アートシーン＞
・館林ケーブルTV
9.19
「開館10周年記念式典」＜CC9ニュース＞

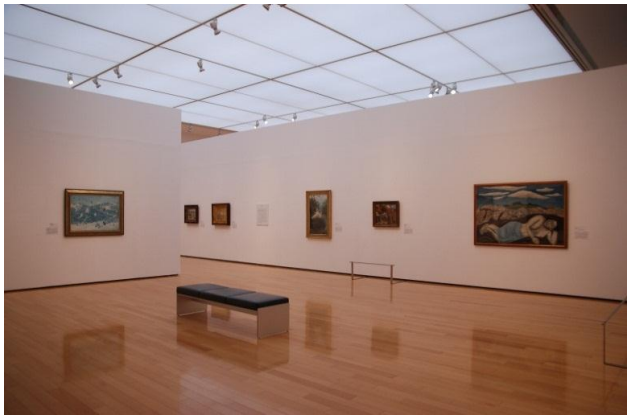
[ラジオ]
・FMぐんま
9.29
17:45-17:50＜ぐんま情報トッピング＞（子どもギャラリートーク）
11.15
17:45-17:50＜ぐんま情報トッピング＞（日本近代洋画にみる“自然と人間”）
・FM太郎
9.29
08:20-08:25＜ぐんまいきいき情報＞（子どもギャラリートーク）
10.12
08:20-08:25＜ぐんまいきいき情報＞（連続講演会の開催）

◎関連事業

・連続講演会
9.25
「高橋由一と明治の洋画」
講師：歌田眞介（東京藝術大学名誉教授）
10.16
「風景の発見と風景画の成立」
講師：山梨俊夫（国立国際美術館長）
10.30
「自画像の中の近代」
講師：原田　光（岩手県立美術館長）
11.13
「日本近代洋画を楽しむ」
講師：染谷　滋(群馬県立館林美術館長)
・ワークショップ
「風景画と人物画」
10.2
「古典的な油絵技法体験」
講師：久野和洋（洋画家）
10.23
「表情のある顔を描いてみよう」
講師：新井コー児（画家）

展示室2

展示室3



展示室4

4. 生誕100年　南桂子展－鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界

会期　　平成23年12月10日（土）－平成24年4月8日（日）
　　前期　12月10日（土）－2月12日（日）
　　後期　2月16日（木）－4月8日（日）
会場　　展示室2、3、4
主催　　群馬県立館林美術館
後援　　NHK前橋放送局
企画協力　ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
企画運営　財団法人NHKサービスセンター
協力　　NHKエデュケーショナル
観覧料　一般500（400）円　大高生250（200）円
　　（　）内は、20名以上の団体割引料金

生誕100年を記念して、銅版画家・南桂子(1911-2004)の画業を多彩な視点から紹介した。当館のほか美術館「えき」KYOTO、高岡市美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館、佐倉市立美術館に巡回した。

現在の富山県高岡市に生まれた南桂子は戦後まもなく上京、壺井栄から童話を学ぶ一方、洋画家・森芳雄に師事して油彩画を描く。森のアトリエで、後に夫となる銅版画家・浜口陽三と出会い、銅版画のおもしろさを知る。

1954年に浜口とフランスに渡った南は本格的に銅版画の制作を始め、以後28年間をパリで、1982年から14年をアメリカで過ごした。作品は、少女、木、鳥をモチーフとした繊細で物語性に富んだ独特の世界観で貫かれ、だれからも親しまれるその作風は、かつてユニセフのグリーティングカードに採用されたばかりでなく、近年では国内の若い世代からも支持を集めている。

当館は、南桂子の銅版画作品235点を所蔵するが、この展覧会は、当館にない初期の油彩画や銅版画の原版、素描を加えて制作の工夫やプロセスにも新たに焦点を当て、各関係者との共同研究によってその画業をこれまでになく大規模に紹介した。

ポスター

図録

出品目録

東京時代(-1950s 前半)

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
1	川のある風景	1951	油彩・カンヴァス	50.0×65.0	個人蔵	○	○
2	魚と少女	1952	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
3	ロータリー風景	1953	油彩・カンヴァス	79.0×64.5	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
4	橋のある風景	不詳	油彩・カンヴァス	49.5×64.5	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
5	給水塔のある風景	不詳	油彩・カンヴァス	45.0×60.0	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
6	油つぼ	不詳	油彩・カンヴァス	37.5×45.3	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
7	青い家	不詳	油彩・カンヴァス	37.9×45.5	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
8	第4回自主連立展絵葉書≪フェアリー≫	1952	印刷物		個人蔵	○	
9	第16回自主連立展絵葉書≪魚と少女≫	1952	印刷物		個人蔵		○
10	第17回自由美術展絵葉書≪目を奪われた女≫	1953	印刷物	13.7×8.6	個人蔵	○	○
11	目を奪われた女	1953頃	ドライポイント・銅板(原版)	15.1×10.8	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
12	第17回自由美術展絵葉書≪幻想≫	1953	印刷物	13.7×8.6	個人蔵	○	○
13	幻想	1953頃	アクアチント、ドライポイント、ルーレット・銅板(原版)	15.0×10.7	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
14-1	作品名不詳(布をまとった女と方向指示)	不詳	ドライポイント、ルーレット、ロッカー・紙	10.4×9.8	杜若文庫	○	○
14-2	作品名不詳(布をまとった女と方向指示)	不詳	ドライポイント、ルーレット、ロッカー・紙	10.4×9.8	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
15	作品名不詳(布をまとった女と方向指示)	不詳	ドライポイント、ルーレット、ロッカー・銅板(原版)	10.4×9.8	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○

フランス時代(-1950s 後半)

16	作品名不詳(狐と魚)	1954頃	銅版画・紙	4.2×10.2	高岡市美術館	○	
17	作品名不詳(少女と城と猫)	1954頃	エッチング、アクアチント・紙	6.2×15.1	国立国際美術館		○
18	作品名不詳(少女と城と猫)	1954頃	エッチング、アクアチント・銅板(原版)	6.2×15.1	武蔵野市立吉祥寺美術館		○
19	作品名不詳(少女と城と猫)	不詳	鉛筆・紙	17.0×22.0	高岡市美術館		○
20-1	作品名不詳(魚をつかむ少女2人)	1954頃	アクアチント、リフトグランドエッチング・紙	6.7×5.6	高岡市美術館	○	
20-2	作品名不詳(魚をつかむ少女2人)	1954頃	アクアチント、リフトグランドエッチング・紙	6.7×5.6	国立国際美術館		○
21	作品名不詳(白鳥と女)	1954頃	銅版画・紙	35.8×29.9	国立国際美術館		○
22	作品名不詳(ふくろうと女)	1954頃	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・紙	28.0×21.8	国立国際美術館	○	
23	作品名不詳(ふくろうと女)	1954頃	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・銅板(原版)	28.0×21.8	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	
24	作品名不詳(ふくろうと女)	不詳	鉛筆・紙	28.3×22.0	高岡市美術館	○	
25	作品名不詳(羊飼)	1954頃	アクアチント、リフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	28.0×28.5	国立国際美術館	○	
26	作品名不詳(羊飼)	1954頃	アクアチント、リフトグランドエッチング、サンドペーパー・銅板(原版)	28.0×28.5	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	
27	作品名不詳(綿毛の少女と鳥)	1954頃	エッチング、アクアチント、ディープエッチング・紙	22.7×16.5	国立国際美術館	○	
28	作品名不詳(ふくろうと2人)	1954頃	ドライポイント、ディープエッチング・紙	20..9×152	国立国際美術館		○
29	作品名不詳(ふくろうと2人)	1954頃	ドライポイント、ディープエッチング・銅板(原版)	20.9×15.2	武蔵野市立吉祥寺美術館		○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
30	作品名不詳(魚と2人)	1954頃	エッチング・紙	15.1×10.1	国立国際美術館		○
31	作品名不詳(2羽の鶏と少女)	1954頃	ソフトグランドエッチング、サンドペーパー、他・紙	33.0×24.6	国立国際美術館	○	
32	作品名不詳(木陰の少女と2羽の鳥)	1954頃	リフトグランドエッチング、他・紙	26.1×20.0	国立国際美術館		○
33	作品名不詳(木陰の少女と2羽の鳥)	1954頃	リフトグランドエッチング、他・銅板(原版)	26.1×20.0	武蔵野市立吉祥寺美術館		○
34	作品名不詳(木陰・腰かける女・鳥)	不詳	鉛筆・紙	34.9×38.2	高岡市美術館		○
35	作品名不詳(三角の家々の町)	1954頃	エッチング、リフトグランドエッチング、ディープエッチング、サンドペーパー・紙	26.8×19.9	高岡市美術館	○	
36	作品名不詳(三角の家々の町)	1954頃	エッチング、リフトグランドエッチング、ディープエッチング、サンドペーパー・銅板(原版)	27.1×20.0	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	
37	作品名不詳(ふくろうと男)	1954頃	銅版画・紙	23.9×18.0	国立国際美術館		○
38	作品名不詳(つばめと船)	1954頃	エッチング、サンドペーパー・紙	15.0×30.0	国立国際美術館	○	
39	作品名不詳(つばめと船)	1954頃	エッチング、サンドペーパー・銅板(原版)	15.0×30.0	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	
40	作品名不詳(魚と少女)	1954頃	エッチング、サンドペーパー・紙	16.5×22.7	国立国際美術館	○	
41	作品名不詳(花と少女)	1954頃	エッチング・紙	12.9×16.5	国立国際美術館	○	
42-1	牧場	1954頃	エッチング、アクアチント・紙	10.0×6.4	国立国際美術館		○
42-2	牧場	1954頃	エッチング、アクアチント・紙	10.0×6.4	国立国際美術館	○	
43	第19回自由美術展絵葉書≪作品A≫	1955	印刷物		個人蔵		○
44	第19回自由美術展絵葉書≪作品B≫	1955	印刷物		個人蔵	○	
45	第7回読売日本アンデパンダン展≪花≫	1955	印刷物		個人蔵	○	
46	作品名不詳(花)	不詳	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・紙	15.0×30.0	国立国際美術館		○
47	作品名不詳(花)	不詳	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・銅板(原版)	15.0×3.00	武蔵野市立吉祥寺美術館		○
48	作品名不詳(鳥と少女)	不詳	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・紙	14.0×24.0	国立国際美術館		○
49	作品名不詳(少女と魚と船)	不詳	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・紙	18.0×30.0	高岡市美術館		○
50	作品名不詳(少女と魚と船)	不詳	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・銅板(原版)	18.0×30.0	武蔵野市立吉祥寺美術館		○
51	2羽の鳥と落葉	1954	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	28.3×38.6	群馬県立館林美術館	○	○
52-1	春の野原	1954	エッチング、サンドペーパー・紙	29.7×32.6	群馬県立館林美術館	○	
52-2	春の野原	1954	エッチング、サンドペーパー・紙	29.7×32.6	国立国際美術館		○
53	少女	1954	エッチング、サンドペーパー・紙	33.0×27.7	群馬県立館林美術館		○
54	作品名不詳(少女)	不詳	水彩・紙	31.0×24.6	国立国際美術館		○
55	作品名不詳(少女・猫・リンゴの木)	不詳	水彩・紙	31.0×24.6	高岡市美術館		○
56	鳥	1954	エッチング、サンドペーパー・紙	33.2×28.1	群馬県立館林美術館	○	
57-1	風景	1954	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・紙	39.1×29.0	群馬県立館林美術館	○	
57-2	風景	1954	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・紙	39.1×29.0	国立国際美術館		○
57-3	風景	1954	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・紙	39.1×29.0	国立国際美術館		○
58	風景	1954	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・銅板(原版)	39.1×29.0	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
59-1	樹木	1954	エッチング、ドライポイント・紙	39.2×29.1	群馬県立館林美術館		○
59-2	樹木	1954	エッチング、ドライポイント・紙	39.2×29.1	国立国際美術館	○	
60	作品名不詳(樹木)	不詳	鉛筆・紙	40.3×30.0	高岡市美術館	○	○
61	月	1954	エッチング、サンドペーパー・紙	32.7×24.2	群馬県立館林美術館	○	
62	月	1954	エッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	32.7×24.2	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	
63	こうのとり	1955	エッチング、サンドペーパー・紙	38.9×28.2	群馬県立館林美術館		○
64-1	木	1955	エッチング、アクアチント、ドライポイント、サンドペーパー・紙	29.2×29.3	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	
64-2	木	1955	エッチング、アクアチント、ドライポイント、サンドペーパー・紙	29.2×29.3	群馬県立館林美術館	○	
65	作品名不詳(木)	不詳	鉛筆・紙	30.3×30.4	高岡市美術館	○	
66	作品名不詳(木)	不詳	鉛筆、水彩・紙	48.5×36.5	高岡市美術館	○	
67	作品名不詳(木)	不詳	水彩・紙	27.1×32.3	国立国際美術館	○	
68	船	1955	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・紙	29.1×29.2	群馬県立館林美術館	○	
69	鳥	1955	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	40.0×29.2	群馬県立館林美術館		○
70	鳥	1955	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	40.0×29.2	武蔵野市立吉祥寺美術館		○
71	花の籠	1955	エッチング、サンドペーパー・紙	39.0×28.2	群馬県立館林美術館		○
72	花の籠	1955	エッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	39.0×28.2	武蔵野市立吉祥寺美術館		○
73-1	木	1956	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・紙	36.6×29.7	高岡市美術館	○	
73-2	木	1956	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・紙	36.6×29.7	群馬県立館林美術館		○
74	作品名不詳(木)	不詳	インク・紙	37.5×30.1	国立国際美術館	○	○
75	作品名不詳(木)	不詳	色鉛筆・紙	23.6×16.1	高岡市美術館	○	○
76	作品名不詳(木)	不詳	色鉛筆・紙	27.0×21.0	高岡市美術館	○	○
77	作品名不詳(木)	不詳	色鉛筆・紙	31.8×24.0	高岡市美術館	○	○
78	2本の樹	1956	エッチング、サンドペーパー・紙	34.0×24.2	群馬県立館林美術館	○	
79	船と魚	1956	エッチング、サンドペーパー・紙	29.1×29.1	国立国際美術館		○
80-1	公園	1956	銅版画・紙	29.2×29.2	群馬県立館林美術館	○	○
80-2	公園	1956	銅版画・紙	29.2×29.2	東京国立近代美術館	○	
81	作品名不詳(公園)	不詳	インク・紙	34.1×30.1	高岡市美術館	○	
82	巣と鳥	1956	エッチング、ロッカー、サンドペーパー・紙	29.2×29.1	群馬県立館林美術館		○
83-1	冬枯	1956	エッチング、サンドペーパー・紙	39.3×29.5	国立国際美術館		○
83-2	冬枯	1956	エッチング、サンドペーパー・紙	39.3×29.5	国立国際美術館		○
84	落葉	1956	エッチング、アクアチント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	33.2×29.2	群馬県立館林美術館	○	○
85	落葉	1956	エッチング、アクアチント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	33.2×29.2	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
86	作品名不詳(落葉)	不詳	水彩・紙	34.1×30.1	国立国際美術館	○	○
87-1	羊飼の少女	1957	エッチング、サンドペーパー・紙	29.6×29.3	群馬県立館林美術館	○	
87-2	羊飼の少女	1957	エッチング、サンドペーパー・紙	29.6×29.3	国立国際美術館		○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
88	作品名不詳(羊飼の少女)	不詳	鉛筆・紙	341×301	高岡市美術館	○	
89	林	1957	エッチング・紙	29.0×18.0	群馬県立館林美術館	○	
90-1	鳥と花	1957	エッチング、サンドペーパー・紙	36.7×28.7	高岡市美術館	○	
90-2	鳥と花	1957	エッチング、サンドペーパー・紙	36.7×28.7	群馬県立館林美術館		○
91	街	1957	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	32.8×29.0	群馬県立館林美術館		○
92	作品名不詳(街)	不詳	インク・紙	34.0×30.0	国立国際美術館		○
93	作品名不詳(積み重なる建物・少女)	不詳	インク、鉛筆・紙	36.0×26.0	高岡市美術館		
94-1	城と月	1957	エッチング、アクアチント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×31.1	国立国際美術館		○
94-2	城と月	1957	エッチング、アクアチント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×31.1	国立国際美術館		○
94-3	城と月	1957	エッチング、アクアチント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×31.1	国立国際美術館		○
95	作品名不詳(城と月)	不詳	インク・紙	30.1×32.0	国立国際美術館		○
96	作品名不詳(城と月)	不詳	インク・紙	31.0×30.2	高岡市美術館		○
97	海の塔	1957	エッチング、サンドペーパー・紙	32.2×29.2	国立国際美術館	○	
98-1	山と鳥	1957	エッチング、サンドペーパー・紙	34.9×24.8	群馬県立館林美術館	○	
98-2	山と鳥	1957	エッチング、サンドペーパー・紙	34.9×24.8	国立国際美術館		○
99	少女と月	1957	エッチング、ドライポイント、スピットバイト、サンドペーパー・紙	29.2×23.4	群馬県立館林美術館	○	
100	少女と月	1957	エッチング、ドライポイント、スピットバイト、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	29.2×23.4	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	
101	平和の木	1957頃	エッチング、サンドペーパー・紙	29.0×29.0	群馬県立館林美術館	○	○
102	カニと少女	1957頃	エッチング、サンドペーパー・紙	29.9×29.7	神奈川県立近代美術館	○	
103	少女とヒマワリ	1958	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・紙	37.4×28.5	群馬県立館林美術館		○
104	少女とヒマワリ	1958	エッチング、アクアチント、サンドペーパー・銅板(原版)	37.4×28.5	武蔵野市立吉祥寺美術館		○
105-1	網とかもめ	1958	エッチング、サンドペーパー・紙	29.4×38.8	国立国際美術館	○	
105-2	網とかもめ	1958	エッチング、サンドペーパー・紙	29.4×38.8	国立国際美術館	○	
106-1	少女	1958	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.8×28.2	群馬県立館林美術館		○
106-2	少女	1958	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.8×28.2	高岡市美術館	○	
107	秋	1958	エッチング、サンドペーパー・紙	36.0×29.2	群馬県立館林美術館	○	
108-1	山	1958	エッチング、ドライポイント、サンドペーパー・紙	29.0×32.0	高岡市美術館		○
108-2	山	1958	エッチング、ドライポイント、サンドペーパー・紙	29.0×32.0	群馬県立館林美術館	○	
109	鳥	1959	エッチング、サンドペーパー・紙	29.1×34.2	群馬県立館林美術館	○	
110	池	1959	エッチング、アクアチント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	40.3×28.1	群馬県立館林美術館		○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
111-1	花のある木	1959	エッチング、サンドペーパー・紙	37.8×27.9	群馬県立館林美術館		○
111-2	花のある木	1959	エッチング、サンドペーパー・紙	37.8×27.9	国立国際美術館	○	
112-1	落葉	1959	エッチング、サンドペーパー・紙	38.8×27.9	群馬県立館林美術館	○	
112-2	落葉	1959	エッチング、サンドペーパー・紙	38.8×27.9	国立国際美術館		○
113-1	羊飼の少女	1959	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	39.0×28.2	群馬県立館林美術館		○
113-2	羊飼の少女	1959	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	39.0×28.2	高岡市美術館	○	
114	作品名不詳(羊飼の少女)	不詳	インク・紙	35.8×25.4	国立国際美術館	○	

フランス時代(1960s)

115-1	街	1960	エッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	36.8×28.0	高岡市美術館	○	
115-2	街	1960	エッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	36.8×28.0	群馬県立館林美術館		○
116	街	1960	エッチング、スピットバイト、サンドペーパー・銅板(原版)	36.8×28.0	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
117	湖	1960	エッチング、サンドペーパー・紙	31.1×29.0	富山県立近代美術館	○	
118	船と鳥	1960	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	38.9×28.2	群馬県立館林美術館	○	○
119-1	細い木	1960	エッチング、ドライポイント、スピットバイト、サンドペーパー・紙	39.2×28.3	国立国際美術館	○	
119-2	細い木	1960	エッチング、ドライポイント、スピットバイト、サンドペーパー・紙	39.2×28.3	国立国際美術館	○	
120	魚と落葉	1960	エッチング、サンドペーパー・紙	38.8×28.2	群馬県立館林美術館	○	○
121-1	海	1961	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×29.3	国立国際美術館		○
121-2	海	1961	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×29.3	国立国際美術館		○
122	作品名不詳(海)	不詳	インク・紙	30.0×30.1	国立国際美術館		○
123	牧場	1961	エッチング、ドライポイント、サンドペーパー・紙	29.2×29.2	群馬県立館林美術館	○	
124	作品名不詳(牧場)	不詳	インク・紙	30.0×30.1	国立国際美術館	○	
125	作品名不詳(牧場)	不詳	インク・紙	30.1×30.1	国立国際美術館	○	
126	夜	1961	エッチング、サンドペーパー・紙	29.2×29.0	群馬県立館林美術館		○
127-1	2つの町	1961	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	39.0×28.2	国立国際美術館		○
127-2	2つの町	1961	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	39.0×28.2	国立国際美術館		○
127-3	2つの町	1961	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	39.0×28.2	群馬県立館林美術館	○	
128	鳥と果実	1961	エッチング、サンドペーパー・紙	39.3×28.3	群馬県立館林美術館		○
129	林の中の鳥	1961	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.3×28.4	群馬県立館林美術館	○	○
130	魚と舟	1962	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.0×28.3	群馬県立館林美術館	○	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
131-1	さくらんぼの木	1962	エッチング、サンドペーパー・紙	39.4×28.3	群馬県立館林美術館	○	
131-2	さくらんぼの木	1962	エッチング、サンドペーパー・紙	39.4×28.3	国立国際美術館	○	
131-3	さくらんぼの木	1962	エッチング、サンドペーパー・紙	39.4×28.3	国立国際美術館	○	
132	少女と風せん	1962	エッチング、サンドペーパー・紙	33.8×28.0	群馬県立館林美術館		○
133	ススキと2羽の鳥	1962	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.7×28.0	群馬県立館林美術館		○
134	草と鳥	1962	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	37.6×27.8	群馬県立館林美術館		○
135	街と6羽の飛ぶ鳥	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	38.0×28.3	群馬県立館林美術館	○	
136-1	子供と花束と犬	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	36.1×29.3	群馬県立館林美術館		○
136-2	子供と花束と犬	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	36.1×29.3	高岡市美術館	○	
137-1	海辺(少女)	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×29.4	群馬県立館林美術館	○	
137-2	海辺(少女)	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×29.4	国立国際美術館	○	
138-1	猫を抱く少女	1963	エッチング、サンドペーパー・紙	35.0×23.8	国立国際美術館		○
138-2	猫を抱く少女	1963	エッチング、サンドペーパー・紙	35.0×23.8	国立国際美術館		○
139	蝶と水	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.0×29.2	群馬県立館林美術館		○
140	作品名不詳(蝶と水)	不詳	インク・紙	35.2×30.2	国立国際美術館		○
141	作品名不詳(蝶と水)	不詳	インク・紙	37.2×30.2	国立国際美術館		○
142	ふくろう	1963	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.8×28.3	群馬県立館林美術館	○	○
143-1	花と蝶	1963	エッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	34.6×28.8	群馬県立館林美術館	○	
143-2	花と蝶	1963	エッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	34.6×28.8	国立国際美術館		○
144	村落の牝牛	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.0×29.2	群馬県立館林美術館	○	
145	作品名不詳(村落の牝牛)	不詳	インク・紙	37.2×30.1	国立国際美術館	○	
146	春	1964	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	33.8×29.0	群馬県立館林美術館	○	
147	女の子と鳥	1964	エッチング、サンドペーパー・紙	28.0×29.7	群馬県立館林美術館	○	○
148	雨の日	1964	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	35.2×27.4	群馬県立館林美術館	○	○
149	赤い魚	1964	エッチング、サンドペーパー・紙	27.9×36.4	群馬県立館林美術館	○	○
150	教会	1964	エッチング、ソフトグランドエッチング、スピットバイト、サンドペーパー・紙	36.0×28.2	群馬県立館林美術館		○
151	作品名不詳(教会)	不詳	インク・紙	37.0×29.1	国立国際美術館		○
152	サン・ドニ＝ル・フェルマン	1965	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.9×28.5	群馬県立館林美術館	○	○
153	作品名不詳(少女と鳥)	1959	銅版画・紙	5.7×3.6	慶應義塾大学アート・センター		○
154	花束をもつ少女	1960	エッチング、サンドペーパー・紙	9.4×7.3	国立国際美術館		○
155	版画集　南桂子の小さな世界よりⅡ	1960 (版画集は1975)	銅版画・紙	5.7×3.7	慶應義塾大学アート・センター	○	
156	鳥	1963	銅版画・紙	3.8×5.8	慶應義塾大学アート・センター		○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
157-1	少女と羊	1965頃	銅版画・紙	4.6×4.5	慶應義塾大学アート・センター		○
157-2	少女と羊	1965頃	銅版画・紙	4.6×4.5	個人蔵	○	
158	魚	1966頃	銅版画・紙	5.5×5.6	慶應義塾大学アート・センター		○
159	少女	1975頃	銅版画・紙	4.5×4.5	慶應義塾大学アート・センター	○	
160	版画集 南桂子の小さな世界よりⅠ	1975	銅版画・紙	5.7×5.6	国立国際美術館		○
161	版画集 南桂子の小さな世界よりⅢ	1975	銅版画・紙	3.9×5.8	個人蔵	○	
162	版画集 南桂子の小さな世界よりⅢ	1975	銅版画・紙	3.9×5.8	個人蔵	○	
163	版画集 南桂子の小さな世界よりⅢ	1975	銅版画・紙	3.9×5.8	個人蔵	○	
164	版画集 南桂子の小さな世界よりⅣ	1975	銅版画・紙	5.7×3.7	国立国際美術館		○
165	版画集 南桂子の小さな世界よりⅣ	1975	銅版画・紙	5.7×3.7	個人蔵		○
166	版画集 南桂子の小さな世界よりⅤ	1975	銅版画・紙	4.9×4.9	国立国際美術館		○
167	少女	1990	エッチング、サンドペーパー・紙	7.0×5.6	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	
168	木	1990	エッチング、サンドペーパー・紙	7.0×5.7	国立国際美術館 蔵	○	
169	小鳥	1990	エッチング・紙	7.0×5.7	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション		○
170	森の中の城	1991	銅版画・紙	10.8×10.8	富山県立近代美術館	○	
171	少女と鳥	1991	銅版画・紙	10.4×8.4	国立国際美術館		○
172-1	時計台	1991	銅版画・紙	7.1×5.2	国立国際美術館	○	
172-2	時計台	1991	銅版画・紙	7.1×5.2	国立国際美術館	○	
173	ふくろう	1992	エッチング、サンドペーパー・紙	10.8×10.9	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション		○
174	花	1992	エッチング、サンドペーパー・紙	11.0×11.0	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション		○
175	葉の上の鳥	1992	エッチング、サンドペーパー・紙	10.8×10.8	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	
176	鳥	不詳	銅版画・紙	5.4×7.4	国立国際美術館	○	
177	キツツキ	不詳	銅版画・紙	4.5×4.5	国立国際美術館		○
178	花と少女	不詳	銅版画・紙	4.6×4.7	国立国際美術館	○	
179	少女と鳥	不詳	銅版画・紙	9.6×7.7	個人蔵		○
180	瀧口修造宛葉書(グラシエール通り)	1954頃	印刷物		慶應義塾大学アート・センター	○	○
181	瀧口修造宛葉書(クーポール)	1957頃	印刷物		慶應義塾大学アート・センター	○	○
182	瀧口修造宛葉書(エルミタージュ印刷所)	1957頃	印刷物		慶應義塾大学アート・センター	○	○
183	ユニセフのグリーティングカード(1958)	1958	印刷物		ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
184	オリーブ山の夏	1965	著者:ヴェラ・ワーゲンシャイン、発行:ヘンリッヒ・シュワップ出版		個人蔵	○	○
185	幼年 その他	1969	著者:福永武彦、発行:講談社		ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
186	うつむく青年(詩集)	1971初版	著者:谷川俊太郎、発行:山梨シルクセンター出版部(現在のサンリオ出版)		ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
187	空に小鳥がいなくなった日(詩集)	1974初版	著者:谷川俊太郎、発行:サンリオ出版		ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
188	ワイルド童話全集 幸福な王子	1976	著者:オスカー・ワイルド、発行:新潮社		ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
189	IMPERIAL(帝国ホテルの情報誌)	1994.1月～	発行:帝国ホテル		ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	○	○
190	装苑	1970	発行:文化出版局		高岡市美術館	○	○
191-1	「浜口陽三・南桂子展」カタログ	1957	発行:東京画廊		個人蔵	○	○
191-2	「浜口陽三・南桂子展」カタログ	1957	発行:東京画廊		高岡市美術館	○	○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
192	「南ケイ子版画展」リーフレット	1960	発行:日動画廊		個人蔵	○	○
193	「フリードランデル・浜口陽三・南桂子版画展」案内状	1961	発行:神奈川県立近代美術館		個人蔵	○	○
194	「南桂子近作油絵展」案内状	1965	発行:福岡フォルム画廊		個人蔵	○	○
195	「南桂子近作油絵展」案内状	1965	発行:南天子画廊		個人蔵	○	○
196	「銅版画　南桂子の世界　空・鳥・水. . . 」(画集)	1973	発行:美術出版社、特別装丁・限定版		個人蔵	○	○
197-1	現代版画目録	1975	発行:ベルグラン画廊		高岡市美術館	○	○
197-2	現代版画目録	1982	発行:ベルグラン画廊		高岡市美術館	○	○
198	愛用のアクセサリー				個人蔵	○	○
199	愛用の図鑑				個人蔵	○	○
200	リンゴの木	1965	エッチング、サンドペーパー・紙	37.0×28.2	高岡市美術館	○	
201	テーブルと2人の少女	1965	エッチング、サンドペーパー・紙	28.2×36.0	群馬県立館林美術館	○	
202	ロバで散歩	1965	エッチング、サンドペーパー・紙	28.3×34.0	群馬県立館林美術館	○	
203	少女と羊	1965	エッチング、サンドペーパー・紙	28.1×28.4	群馬県立館林美術館		○
204	少女と木	1965	エッチング、サンドペーパー・紙	36.8×28.2	群馬県立館林美術館	○	○
205	キツツキ	1965	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.1×28.2	群馬県立館林美術館	○	○
206	作品名不詳(キツツキ)	不詳	インク・紙	35.1×29.0	国立国際美術館	○	○
207	花と鳥	1965	油彩・カンヴァス	34.0×23.5	高岡市美術館	○	○
208	塔と少女	1966	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	33.6×28.2	群馬県立館林美術館	○	
209	2人の少女と青い風船	1966	エッチング、サンドペーパー・紙	28.1×30.2	群馬県立館林美術館		○
210	鳥と魚	1966	エッチング、サンドペーパー・紙	35.6×28.0	群馬県立館林美術館	○	○
211	鳥と魚	1966	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	30.0×29.2	群馬県立館林美術館	○	
212	2羽の鳥	1966	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.2×31.3	群馬県立館林美術館		○
213	みどり色の鳥	1967	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	27.8×33.3	高岡市美術館	○	
214	塔とあひる	1967	エッチング、サンドペーパー・紙	36.0×28.3	群馬県立館林美術館		○
215	2本の木と少女	1967	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.7×28.2	群馬県立館林美術館	○	
216-1	2人の少女	1967	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.9×28.0	高岡市美術館		○
216-2	2人の少女	1967	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.9×28.0	群馬県立館林美術館	○	
217	少女と小鳥の木	1967	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.5×28.2	群馬県立館林美術館		○
218	作品名不詳(少女と小鳥の木)	不詳	インク・紙	38.1×29.1	国立国際美術館		○
219	作品名不詳(少女と小鳥の木)	不詳	インク・紙	48.6×36.3	国立国際美術館		○
220	2匹の魚	1967	エッチング、サンドペーパー・紙	33.3×28.8	群馬県立館林美術館		○
221	実のある木と鳥	1968	エッチング、サンドペーパー・紙	32.2×29.0	国立国際美術館		○
222-1	教会	1968	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.0×31.7	群馬県立館林美術館	○	
222-2	教会	1968	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	29.0×31.7	京都国立近代美術館		○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
223	作品名不詳(教会)	不詳	インク・紙	30.1×33.1	国立国際美術館	○	○
224	山と鳥	1968	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.0×28.0	群馬県立館林美術館	○	
225	少女とたこ	1968	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	37.7×28.1	群馬県立館林美術館	○	○
226	作品名不詳(少女とたこ)	不詳	インク・紙	39.0×29.1	国立国際美術館	○	
227	少女と落葉	1968	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	33.8×28.0	群馬県立館林美術館	○	
228	作品名不詳(少女と落葉)	不詳	インク・紙	35.1×29.2	国立国際美術館	○	
229	少女と木	1968	油彩・カンヴァス	35.0×27.0	高岡市美術館	○	○
230	海辺の少女	1969	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	35.7×28.8	群馬県立館林美術館		○
231	作品名不詳(海辺の少女)	不詳	インク・紙	36.0×29.1	国立国際美術館		○
232	森の中の城	1969	エッチング、サンドペーパー・紙	34.4×28.8	群馬県立館林美術館	○	○
233-1	2人の少女と猫	1969	エッチング、サンドペーパー・紙	32.4×28.8	高岡市美術館	○	
233-2	2人の少女と猫	1969	エッチング、サンドペーパー・紙	32.4×28.8	群馬県立館林美術館		○
234	木の中の青い鳥	1969	エッチング、サンドペーパー・紙	37.4×28.9	群馬県立館林美術館	○	○
235	作品名不詳(木の中の青い鳥)	不詳	インク・紙	38.0×29.0	国立国際美術館	○	
236	花と蝶	1969	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	32.5×28.3	高岡市美術館	○	○
237	作品名不詳(花と蝶)	不詳	インク・紙	32.9×29.0	国立国際美術館	○	○
238	時計台	1969	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	35.4×29.0	群馬県立館林美術館		○

さまざまな葉の表現

239	2本の樹木	1963	エッチング,サンドペーパー・紙	36.7×28.2	群馬県立館林美術館	○	○
240	2本の樹木	1963	エッチング,サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	36.7×28.2	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
241	葉の茂みの中の鳥	1965	エッチング,ソフトグランドエッチング,ディープエッチング,サンドペーパー・紙	28.0×35.8	群馬県立館林美術館	○	○
242	葉の茂みの中の鳥	1965	エッチング,ソフトグランドエッチング,ディープエッチング,サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	28.0×35.8	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
243	木と少女	1965	エッチング,アクアチント,ソフトグランドエッチング,サンドペーパー・紙	37.0×28.3	群馬県立館林美術館	○	○
244	木と少女	1965	エッチング、アクアチント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	37.0×28.3	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
245-1	2匹の魚	1970	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	28.9×35.3	京都国立近代美術館		○
245-2	2匹の魚	1970	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	28.9×35.3	群馬県立館林美術館	○	
246	2匹の魚	1970	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	28.9×35.3	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○
247	枝の上の鳥	1973	エッチング、サンドペーパー・紙	35.0×28.8	群馬県立館林美術館	○	○
248	枝の上の鳥	1973	エッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	35.0×28.8	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
249	葉と赤い魚	1973	エッチング、サンドペーパー・紙	35.4×28.8	群馬県立館林美術館	○	○
250	葉と赤い魚	1973	エッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	35.4×28.8	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	○

フランス時代(1970s)

251-1	赤い花と魚	1970	銅版画・紙	35.2×28.8	群馬県立館林美術館	○	
251-2	赤い花と魚	1970	銅版画・紙	35.2×28.8	国立国際美術館		○
252-1	2人の少女とあひる	1970	エッチング、サンドペーパー・紙	28.0×31.9	群馬県立館林美術館	○	
252-2	2人の少女とあひる	1970	エッチング、サンドペーパー・紙	28.0×31.9	京都国立近代美術館		○
253	作品名不詳(2人の少女とあひる)	不詳	インク・紙	29.0×33.0	国立国際美術館	○	○
254-1	異国の鳥	1970	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.0×28.4	高岡市美術館		○
254-2	異国の鳥	1970	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.0×28.4	群馬県立館林美術館	○	
255	庭園にて	1970	エッチング、サンドペーパー・紙	38.0×28.3	高岡市美術館	○	○
256	街への門	1970	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.9×28.4	群馬県立館林美術館	○	○
257	春	1971	エッチング、サンドペーパー・紙	28.4×36.5	高岡市美術館	○	○
258	少女と青い鳥	1971	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	35.4×28.8	高岡市美術館	○	○
259	美しい魚	1971	エッチング、ドライポイント、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	28.9×32.4	群馬県立館林美術館	○	
260	ブラジルの鳥	1972	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	28.8×35.7	群馬県立館林美術館	○	
261	青い木	1972	エッチング、サンドペーパー・紙	35.7×28.8	群馬県立館林美術館	○	
262-1	樹木	1971	エッチング、サンドペーパー・紙	29.5×34.5	高岡市美術館	○	
262-2	樹木	1971	エッチング、サンドペーパー・紙	29.5×34.5	京都国立近代美術館		○
263	少女と塔	1972	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	35.3×28.8	群馬県立館林美術館		○
264	みみづく	1973	エッチング、サンドペーパー・紙	34.5×29.0	国立国際美術館		○
265	青い城	1973	エッチング、サンドペーパー・紙	36.1×28.7	群馬県立館林美術館	○	
266-1	2人の少女と風せん	1974	エッチング、サンドペーパー・紙	35.5×28.9	群馬県立館林美術館		○
266-2	2人の少女と風せん	1974	エッチング、サンドペーパー・紙	35.5×28.9	国立国際美術館	○	
267	2人の少女と風せん	1974	エッチング、サンドペーパー・銅板にメッキ(原版)	35.5×28.9	武蔵野市立吉祥寺美術館	○	
268	花と鳥	1974	エッチング、サンドペーパー・紙	37.3×288	群馬県立館林美術館		○
269	リンゴの木	1974	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	34.5×28.8	群馬県立館林美術館		○
270	しだの中の鳥	1975	エッチング、サンドペーパー・紙	35.5×28.8	国立国際美術館	○	
271-1	マロニエと少女	1975	エッチング、サンドペーパー・紙	34.5×28.8	群馬県立館林美術館	○	
271-2	マロニエと少女	1975	エッチング、サンドペーパー・紙	34.5×28.8	国立国際美術館		○
272	作品名不詳(マロニエと少女)	不詳	インク・紙	35.0×29.1	国立国際美術館	○	○
273	作品名不詳(樹木・2人の少女・2羽の小鳥)	不詳	インク・紙	31.0×29.0	高岡市美術館	○	○

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
274	2匹の魚	1976	エッチング、サンドペーパー・紙	28.8×34.3	国立国際美術館		○
275	紫色のシャトー	1977	エッチング、サンドペーパー・紙	36.2×28.7	群馬県立館林美術館	○	
276	城と睡蓮	1977	エッチング、サンドペーパー・紙	32.5×28.6	群馬県立館林美術館		○
277	鳥と貝	1978	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	32.4×28.8	群馬県立館林美術館	○	
278	作品名不詳(鳥と貝)	不詳	インク・紙	32.9×29.0	国立国際美術館	○	
279	作品名不詳(鳥と貝)	不詳	インク・紙	31.0×30.1	国立国際美術館	○	
280	風船売りの少女	1978	エッチング、サンドペーパー・紙	34.0×28.8	群馬県立館林美術館		○
281	秋	1978	エッチング、サンドペーパー・紙	34.4×28.6	群馬県立館林美術館	○	○
282	シャトーと赤い実	1979	エッチング、サンドペーパー・紙	32.2×28.5	群馬県立館林美術館		○
283	少女と青い鳥	1979	エッチング、サンドペーパー・紙	35.9×28.8	群馬県立館林美術館		○
284-1	2人の少女と蝶	1979	エッチング、サンドペーパー・紙	32.0×28.3	群馬県立館林美術館		○
284-2	2人の少女と蝶	1979	エッチング、サンドペーパー・紙	32.0×28.3	国立国際美術館	○	

アメリカ時代(1980s－1990s)

285-1	みみづく	1980	エッチング、サンドペーパー・紙	32.0×28.2	群馬県立館林美術館		○
285-2	みみづく	1980	エッチング、サンドペーパー・紙	32.0×28.2	国立国際美術館	○	
286	かもめ	1980	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.4×28.8	国立国際美術館	○	
287	湖とシャトー(ススキ)	1980	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.0×28.1	群馬県立館林美術館	○	
288	花束をもつ少女	1980	エッチング、ドライポイント、サンドペーパー・紙	36.0×28.2	群馬県立館林美術館		○
289-1	少女とシャボン玉	1981	銅版画・紙	35.2×28.4	群馬県立館林美術館	○	
289-2	少女とシャボン玉	1981	銅版画・紙	35.2×28.4	国立国際美術館		○
290	2本の木	1981	エッチング、ドライポイント、サンドペーパー・紙	35.2×28.4	群馬県立館林美術館		○
291	木の中の2羽の鳥	1984	銅版画・紙	32.1×28.5	群馬県立館林美術館	○	
292	魚と花	1985	銅版画・紙	32.0×28.3	群馬県立館林美術館	○	
293	木と少女と鳥	1985	銅版画・紙	30.3×28.5	群馬県立館林美術館		○
294-1	林と少女	1985	銅版画・紙	32.5×28.3	群馬県立館林美術館	○	
294-2	林と少女	1985	銅版画・紙	32.5×28.3	国立国際美術館		○
295-1	森と湖のまつり	1984頃	銅版画・紙	32.5×28.3	国立国際美術館		○
295-2	森と湖のまつり	1984頃	銅版画・紙	32.5×28.3	たばこと塩の博物館	○	
296	作品名不詳(森と湖のまつり)	不詳	インク・紙	33.1×29.1	国立国際美術館	○	○
297	作品名不詳(森と湖のまつり)	不詳	鉛筆・紙	30.5×23.0	高岡市美術館	○	○
298	時計台	1985	銅版画・紙	30.0×28.1	群馬県立館林美術館	○	○
299	落葉と少女	1988	銅版画・紙	42.4×35.0	群馬県立館林美術館	○	○
300-1	リンゴの木	1988	銅版画・紙	35.0×42.3	群馬県立館林美術館	○	
300-2	リンゴの木	1988	銅版画・紙	35.0×42.3	国立国際美術館	○	
301	作品名不詳(リンゴの木)	不詳	インク・紙	35.6×43.2	国立国際美術館	○	
302	作品名不詳(リンゴの木)	不詳	インク・紙	35.6×43.2	国立国際美術館	○	
303	花	1988	銅版画・紙	42.4×35.0	群馬県立館林美術館		○
304	夏の終り(馬)	1988	銅版画・紙	42.5×34.8	群馬県立館林美術館		○
305	鶴	1988	銅版画・紙	42.2×35.1	群馬県立館林美術館		○
306	2本の木と鳥	1988	銅版画・紙	34.3×28.3	群馬県立館林美術館		○
307	風車	1989	銅版画・紙	32.0×28.5	群馬県立館林美術館	○	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
308	作品名不詳(風車)	不詳	インク・紙	33.0×29.0	国立国際美術館	○	
309	作品名不詳(木・牛・風車)	不詳	インク・紙	18.0×14.0	高岡市美術館	○	
310	作品名不詳(風車・牛)	不詳	鉛筆・紙	36.0×29.0	高岡市美術館	○	
311	花	1989	銅版画・紙	32.2×28.6	国立国際美術館	○	○
312	作品名不詳(花)	不詳	インク・紙	33.1×29.2	国立国際美術館	○	
313	作品名不詳(花)	不詳	インク・紙	30.5×23.0	国立国際美術館	○	
314	山の村	1989	銅版画・紙	29.9×28.2	高岡市美術館		○
315	2本の木ととぶ鳥	1989	銅版画・紙	31.9×28.3	国立国際美術館		○
316	作品名不詳(2本の木ととぶ鳥)	不詳	インク・紙	33.1×29.1	国立国際美術館		○
317	作品名不詳(2本の木ととぶ鳥)	不詳	インク・紙	33.0×29.2	国立国際美術館		○
318	早春	1990	銅版画・紙	29.8×29.0	群馬県立館林美術館		○
319	2人の少女	1990	銅版画・紙	32.0×28.4	国立国際美術館		○
320	作品名不詳(2人の少女)	不詳	インク・紙	33.0×29.0	国立国際美術館		○
321	作品名不詳(少女・鳥・木)	不詳	鉛筆・紙	33.1×29.0	高岡市美術館		○
322-1	初冬の木	1990	銅版画・紙	32.0×28.4	高岡市美術館	○	
322-2	初冬の木	1990	銅版画・紙	32.0×28.4	群馬県立館林美術館		○
323	作品名不詳(初冬の木)	不詳	インク・紙	33.1×29.1	国立国際美術館	○	○
324	作品名不詳(初冬の木)	不詳	インク・紙	37.0×29.1	国立国際美術館	○	○
325-1	少女と鳥	1993	銅版画・紙	30.2×28.5	国立国際美術館	○	
325-2	少女と鳥	1993	銅版画・紙	30.2×28.5	国立国際美術館	○	
326	作品名不詳(2つの街)	不詳	モノタイプ、グァッシュ、油・紙	30.0×35.8	高岡市美術館	○	
327	作品名不詳(鳥)	不詳	モノタイプ、グァッシュ・紙	46.5×32.2	高岡市美術館	○	
328	作品名不詳(風車)	不詳	モノタイプ、グァッシュ・紙	28.5×37.6	高岡市美術館		○
329	作品名不詳(湖畔)	不詳	モノタイプ、グァッシュ・紙	41.1×32.6	高岡市美術館		○
330	作品名不詳(湖に浮かぶ鳥)	不詳	モノタイプ・紙	32.2×25.0	高岡市美術館	○	
331	作品名不詳(帆船)	不詳	モノタイプ、グァッシュ・紙	25.0×32.4	高岡市美術館	○	○
332	作品名不詳(少女と猫と鳥)	不詳	モノタイプ、インク・紙	32.0×25.0	国立国際美術館		○
333	作品名不詳(パリの屋根)	不詳	モノタイプ、グァッシュ・紙	32.5×25.2	国立国際美術館		○
334	作品名不詳(夜のふくろうとキツネ)	不詳	グァッシュ・紙	22.5×30.5	高岡市美術館	○	
335	作品名不詳(手を伸ばす女と悪魔)	不詳	グァッシュ・紙	23.0×30.5	高岡市美術館		○
336	作品名不詳(女とカラス)	不詳	グァッシュ・紙	30.5×23.0	高岡市美術館	○	
337	作品名不詳(女とくじら)	不詳	グァッシュ・紙	30.5×23.0	高岡市美術館		○
338	作品名不詳(女と鳥と風景)	不詳	グァッシュ・紙	30.5×46.0	国立国際美術館	○	
339	鳥を抱く少女	1982	リトグラフ・紙	37.5×40.5	国立国際美術館	○	
340-1	城	1982	リトグラフ・紙	35.5×39.5	国立国際美術館		○
340-2	城	1982	リトグラフ・紙	35.5×39.5	国立国際美術館		○
341	少女と魚	1982	リトグラフ・紙	38.0×41.0	国立国際美術館		○
342	作品名不詳(花と鳥)	不詳	インク・紙	30.5×22.5	高岡市美術館	○	

◎印刷物・会場作成物

・図録　A4変形(27.0×22.0)305頁
内容:
ごあいさつ
挨拶に代えてー銅版画家・南桂子と今後の課題(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション　神林菜穂子)
他者としての少女ー南桂子の世界(京都市立芸術大学　学長　建畠晢)
南桂子の歩みー生誕100年展の紹介を兼ねて(高岡市美術館　瀬尾千秋)
南桂子の版表現(群馬県立館林美術館　神尾玲子)
戦後1940-50年代の画壇と女性画家(武蔵野市立吉祥寺美術館　浅野智子)
図版
東京時代　1950s前半
フランス時代　1950s後半
フランス時代　1960s
フランス時代　1970s
アメリカ時代　1980s-90s
主な版画技法について
年譜、文献目録(黒川公二編)
主なパブリック・コレクション
版画目録(黒川公二編)
企画・構成:主任　瀬尾千秋(高岡市美術館)
浅野智子(武蔵野市立吉祥寺美術館)
天木恵子(美術館「えき」KYOTO)
神尾玲子(群馬県立館林美術館)
工藤智子(財団法人NHKサービスセンター)
黒川公二(佐倉市立美術館)
企画・運営:財団法人NHKサービスセンター
翻訳:スタンリー・N・アンダソン
制作・印刷:大伸社
発行:財団法人NHKサービスセンター
・作品解説(リーフレット)　A4変形(27.0×22.0)8頁
執筆者:瀬尾千秋(高岡市美術館)
浅野智子(武蔵野市立吉祥寺美術館)
神尾玲子(群馬県立館林美術館)
黒川公二(佐倉市立美術館)
印刷:猪瀬印刷株式会社
・会場配布用作品リスト
・会場用映像
制作:NHKエデュケーショナル
・ポスター　B2
・チラシ　A4
・パネル
挨拶1枚
章解説5枚
年譜1枚
南桂子写真1枚
童話など4枚
さまざまな葉の表現ー原版調査の現場より　1枚

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]
・朝日新聞
12.14、1.11、2.1、2.8、2.29、3.7、4.4
「生誕100年　南桂子展」〈群馬マリオン　沿線美術館情報〉
・朝日ぐんま
3.16
「生誕100年　南桂子展　線が紡ぐ詩情豊かな物語」＊〈美術探訪〉
・おおたタイムス
1.21
「生誕100年　南桂子展　館林美術館」＊
・ぐんま経済新聞
12.22
「銅版画家　南桂子展　来年4月まで、県立館林美術館」＊
・EX SANKEI EXPRESS
12.27
「生誕100年　南桂子展」＊〈ART〉
・下野新聞
12.24
「南桂子生誕100年　作風の変遷紹介」＊〈両毛プラスワン〉
1.15
「『自然と人間』がテーマ　ポンポンら近現代900点超」＊〈きたかんアート散歩〉
・上毛新聞
1.7
「南桂子さん回顧展　繊細で物語性ある銅版画」＊
2.3、3.1
「館林美術館開館10周年記念「生誕100年南桂子展ー鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」」＊〈ぐんまちゃんの掲示板〉
12.9、1.20、2.10、3.2
「生誕100年南桂子展ー鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」〈気になる情報ぱれっと　県内美術館博物館〉
・上毛新聞シャトル
12.2
「生誕100年南桂子展　鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」＊〈お出かけ情報〉
12.6
「講演会「南桂子～銅版画の魅力」」〈イベント情報〉
12.6、12.27、2.21、2.28、3.6、3.13、3.20
「学芸員による作品解説会」〈イベント情報〉

12.6、1.17、3.6、3.20
「子どもギャラリートーク」〈イベント情報〉
・群馬よみうりビバ！アミーゴ（太田・館林版）
12.2
「生誕100年南桂子展　鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」＊
12.17
「県立美術館で南桂子展　銅版で描く少女、木、鳥　繊細な線が語る物語」＊
3.10
「南桂子展で銅版画体験　繊細な技に挑戦　思い思いの図柄で作品」＊
・東京新聞
12.8、1.12
「生誕100年　南桂子展(前期)その画業の全貌　総計約250点」〈ゆめぽっけ美術・博物館ガイド〉
12.12
「生誕100年南桂子展」＊〈手軽に行けるカルチャードライブ県外美術館、博物館だより〉
12.26
「館林美術館　南桂子さん生誕100年展　銅版画でメルヘンの世界へ」＊
1.26
「生誕100年　南桂子展　その画業の全貌　総計約250点」〈ゆめぽっけ美術・博物館ガイド〉
2.23、3.22、3.29
「生誕100年　南桂子展(後期)その画業の全貌　総計約250点」〈ゆめぽっけ美術・博物館ガイド〉
・両毛新聞
12.12
「生誕100年南桂子展　群馬県立館林美術館」〈県外美術館、博物館だより〉

[定期刊行物]
・足利漫我人
1・2月号
「県立館林美術館情報「生誕100年　南桂子展」」＊〈マガジン・ネットワーク〉
・アートコレクター
3月号
「生誕100年南桂子展　鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界12月10日(土)～4月8日(日)」＊〈展覧会ガイド〉
・観光ぐんま
2011 Winter＆2012 Spring
「開館10周年記念「生誕100年南桂子展・鳥が呼ぶ、少女に出会う銅の世界」」〈イベントガイド〉
・ギャラリー
9月号
「生誕100年　南桂子展　世界中で愛された優しい情景が広がる」＊
〈Special Exhibition〉
1月号、2月号、3月号
「生誕100年　南桂子展」〈全国の展覧会スケジュール〉
・たてばやし朝日ニュース
11月号
「生誕百年　銅版画家・南桂子展」＊〈読者のひろば〉
・ぐんま情報誌　からっ風
11・12月号
「生誕100年　南桂子展」＊〈ArtMuseun2011美術館情報〉
1・2月号、3・4月号
「生誕100年　南桂子展ー鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」＊〈Art Museum2012美術館情報〉
・ぐんま広報
1月号
「館林美術館開館10周年記念「生誕100年　南桂子展-鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」」＊〈県有施設イベント〉
・芸術新潮
12月号、1月号
「開館10周年記念　生誕100年　南桂子展　鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」〈invitation exhibition〉
・新美術新聞
12月1日号
「〈開館10周年記念企画展〉生誕100年南桂子展」※紙面にポスターを掲載
1月21日号
「生誕100年　南桂子展　鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」＊
・帝國芸術新聞
第377号、第378号
「4/8(日)まで　企画展　生誕100年　南桂子展ー鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」〈全国のギャラリー紹介〉
・版画芸術
No.152
「注目の作家　南桂子」＊
No.154
「群馬県立館林美術館　生誕100年　南桂子展」〈展覧会スケジュール〉
・博物館研究
vol.46 No.12
「生誕100年南桂子展-鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」〈Schedule of exhibitions in December〉
vol.47 No.1
「生誕100年南桂子展-鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」〈Schedule of exhibitions in January〉
Vol.47 No.2
「生誕100年 南桂子展-鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界、子どもギャラリートーク、学芸員による作品解説会」〈Schedule of exhibitions in February〉

Vol.47 No.3
「企画展示「生誕100年　南桂子展ー鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」、「銅版画技法体験ワークショップ「南桂子の線のひみつ」」〈Schedule of exhibitions in March〉
vol.47 No.4
「企画展示「生誕100年　南桂子展ー鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」」〈Schedule of exhibitions in April〉
・美連協ニュース
11月号
「(企画展示)開館10周年記念　生誕100年　南桂子展」〈加盟館展覧会案内〉
2月号
「生誕100年　南桂子展」〈加盟館展覧会案内〉
・ポンポコぽん
12月号
「生誕100年　南桂子展」〈年末年始のおすすめスポット〉
・渡良瀬通信
12月号、1月号、2月号、3月号、
「生誕100年南桂子展」〈渡良瀬インフォメーション〉
4月号
「生誕100年南桂子展」〈渡良瀬インフォメーション〉
・美術の窓
12月号、1月号
「開館10周年記念　企画展示　生誕100年　南桂子展」〈展覧会情報〉
2月号、3月号、4月号
「企画展示　開館10周年記念　生誕100年　南桂子展ー鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」〈展覧会情報〉
・ミセス
1月号
「生誕100年　南桂子展-鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」＊〈Art〉
・ANタイムズ
11.20
「生誕100年　南桂子展！！群馬県立館林美術館　会期＝12月10日～4月8日」＊
・NHK ウィークリーステラ
1626号
「生誕100年　南桂子展～鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」＊〈イベント情報〉
1628号、1629号、1630号
「鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界　生誕100年南桂子展」※ポスターを一面掲載
・raifu
12月号
「生誕100年　南桂子展-鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」＊〈おすすめのイベント〉

◎放送

[テレビ]
・NHK総合
2.27
「生誕100年　南桂子展」＜いっと6けん＞
・群馬テレビ
2.26
「生誕100年　南桂子展」＜群テレサンデーニュースジャスト＞
・館林ケーブルテレビ
1.2
「生誕100年　南桂子展」＜う・ら・ら＞
1.20
「生誕100年　南桂子展」＜CC9ニュース＞

[ラジオ]
・FMぐんま
1.3
17:45-17:50＜ぐんま情報トッピング＞(生誕100年　南桂子展)
・FM太郎
1.11
08:20-08:25＜ぐんまいきいき情報＞(木曜レクチャー)
2.22
08:20-08:25＜ぐんまいきいき情報＞(銅版画技法体験ワークショップ)

◎関連事業

・講演会
12.11
「南桂子ー銅版画の魅力」
講師:瀬尾千秋(高岡市美術館学芸員)
・ワークショップ
3.4
「南桂子の線の秘密」
講師:白井四子男(白井版画工房摺師)

展示室2

展示室3

展示室4

展示室4

C コレクション展示記録

第1期　4月23日(土)－6月26日(日)
展示室1- 4
「コレクションの10年」にて展示

第2期　7月16日(土)－8月28日(日)
展示室1
[近現代の彫刻I]
展示室4
[油彩 その他]

第3期　9月17日(土)－11月27日(日)
展示室1
[近現代の彫刻II]
展示室4
[油彩・現代美術]

第4期　12月10日(土)－4月8日(日)
展示室1
[近現代の彫刻 III]
展示室4
[油彩その他]

◎印刷物・会場作成物

[近現代の彫刻I]
・会場配布用作品リスト
[油彩その他]
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
[近現代の彫刻II]
・会場配布用作品リスト
[油彩・現代美術]
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
[近現代の彫刻III]
・会場配布用作品リスト
[油彩その他]
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]
・上毛新聞
4.21
「館林美術館「子どもギャラリートーク」」＜ぐんまちゃんの掲示板＞
・上毛新聞シャトル
2.7、2.14
「学芸員による作品解説会」＜講座・講演＞
12.20、1.10、1.24、2.7、3.27
「子どもギャラリートーク」＜講座・講演＞

[定期刊行物]
・ぐんま広報
6月号
「館林美術館「子どもギャラリートーク」」＜イベント情報＞
・月刊　水墨画
9月号
「墨のある風景　群馬県立館林美術館館長　染谷滋　小室翠雲《長興山荘図》」＊

近現代の彫刻Ⅰ
平成23年7月16日(土)～8月28日(日)　展示室1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 － 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908 － 1932	銅版	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 － 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 － 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930 － 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
10	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
11	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
12	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
13	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
14	チャーナ・オルロフ	魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
15	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
16	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
17	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
18	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
19	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
20	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
21	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
22	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
23	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
24	アーブラハム・ダーフィット・クリスティアン	清らかな人XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館

油彩その他
平成23年7月16日（土）～8月28日（日）　展示室 4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ×幅×奥行）cm	所蔵
1	香月泰男	尾花	1954	油彩・カンヴァス	72.8 × 50.0	群馬県立館林美術館
2	猪熊弦一郎	猫と魚	1953 － 1954	油彩・カンヴァス	60.5 × 50.0	群馬県立館林美術館
3	猪熊弦一郎	馬と鳥	1955	グワッシュ・紙	59.5 × 42.5	群馬県立館林美術館
4	山口薫	水田を拓く	1956	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5	群馬県立館林美術館
5	脇田和	花苑	2001	油彩・カンヴァス	97.0 × 130.0	群馬県立館林美術館
6	鶴岡政男	地表	1971	油彩・カンヴァス	130.6 × 193.7	群馬県立館林美術館
7	鶴岡政男	眠る人	1976	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館
8	鶴岡政男	春の野	1976	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館
9	鶴岡政男	幼虫	1968	パステル・紙	26.0 × 36.5	群馬県立館林美術館
10	鶴岡政男	太陽	1968	パステル・紙	26.7 × 37.7	群馬県立館林美術館
11	宇佐美圭司	飛ぶ島No.1 Flying Island(Laputa)	1985	油彩・カンヴァス	218.2 × 291.0	群馬県立館林美術館
12	久野和洋	地の風景・道のかたち	2002 － 2003	油彩・カンヴァス	145.5 × 145.5	群馬県立館林美術館
13	久野和洋	地の風景・雨後	2006 － 2007	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.0	群馬県立館林美術館
14	日高理恵子	空との距離Ⅲ	2004	岩絵具・麻紙	200.0 × 200.0	群馬県立館林美術館
					150.0 × 150.0	群馬県立館林美術館
					170.0 × 170.0	群馬県立館林美術館
15	山口啓介	花の心臓／被子植物の空気柱	2003	顔料、樹脂・カンヴァス	270.0 × 181.0	群馬県立館林美術館
16	伊庭靖子	Untitled	1998	油彩・カンヴァス	183.0 × 393.0	群馬県立館林美術館
17	近藤正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	195.0 × 142.0	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻Ⅱ
平成23年9月17(土)～11月27日(日)　展示室１

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 － 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 － 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 － 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930 － 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
10	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
11	チャーナ・オルロフ	魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
12	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
15	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
16	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
17	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
18	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
19	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
20	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
21	アーブラハム・ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
22	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
23	イサム・ノグチ	リス	1984 － 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
24	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
25	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館

油彩・現代美術
平成23年9月17日(土)～11月27日(日)　展示室 4

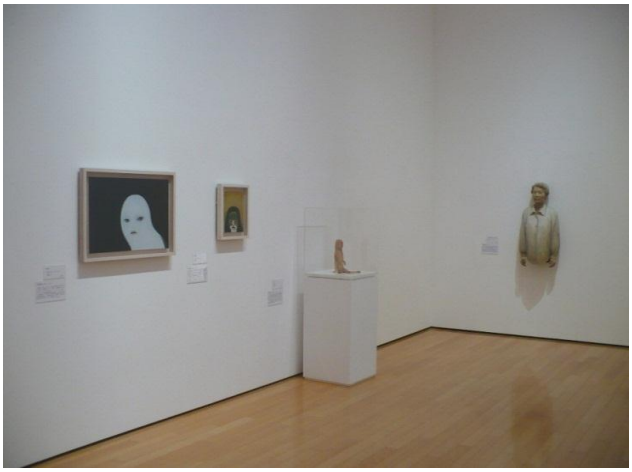
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	小杉放菴	秋果童子	1826	油彩・カンヴァス	71.4 × 51.5	群馬県立館林美術館
2	小絲源太郎	けしの花	1933	油彩・カンヴァス	114.4 × 77.2	群馬県立館林美術館
3	ベン・ニコルソン	コンポジション1947	1947	油彩、鉛筆、コンテ鉛筆・板	45.7 × 45.7	群馬県立館林美術館
4	モイーズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩・カンヴァス	62.0 × 74.0	群馬県立館林美術館
5	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955	油彩・カンヴァス	53.0 × 65.2	群馬県立館林美術館
6	森芳雄	母子像	1979	油彩・カンヴァス	130.0 × 97.5	群馬県立館林美術館
7	ジャン＝ミッシェル・ムーリス	トスカニア1	1990	アクリル、パステル・カンヴァス	200.0 × 200.0	群馬県立館林美術館
8	ジャン＝ミッシェル・ムーリス	トスカニア4	1990	アクリル、パステル・カンヴァス	200.0 × 62.0	群馬県立館林美術館
9	チェスラフ・ズベール	ターコイズ・フォレスト	1994	ブロンズ・ガラス	46.0 × 51.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
10	ホセ・マリア・シシリア	赤い花々 I	1998	油彩・蜜蝋・板	184.5 × 157.0	群馬県立館林美術館
11	伊庭靖子	Untitled	2001	油彩・カンヴァス	180.0 × 180.0	群馬県立館林美術館
12	久野和洋	地の風景・道のかたち	2002 － 2003	油彩・カンヴァス	145.5 × 145.5	群馬県立館林美術館
13	久野和洋	地の風景・雨後	2006 － 2007	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.0	群馬県立館林美術館
14	山口啓介	花の心臓／蕊柱	2003	顔料、樹脂・カンヴァス	270.0 × 181.0	群馬県立館林美術館寄託作品
15	金田実生	夜が少しづつ降りる	2005	油彩・紙	154.0 × 165.0	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻Ⅲ
平成23年12月10(土)～平成24年4月8日(日)　展示室 1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 － 1930頃	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 － 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908 － 1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 － 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930 － 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
11	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
12	チャーナ・オルロフ	魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
15	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
16	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
17	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
18	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
19	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
20	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
21	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
22	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
23	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
24	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
25	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
26	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
27	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館

油彩その他
平成23年12月10日(土)～平成24年4月8日(日)　展示室 4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
	小杉放菴	秋果童子	1926	油彩・カンヴァス	71.4 × 51.5	群馬県立館林美術館
	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952	油彩・カンヴァス	90.7 × 72.5	群馬県立館林美術館
	勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 × 54.0	群馬県立館林美術館寄託作品
	鶴岡政男	涙する人(二点組)	1968	油彩・カンヴァス	左162.0 右162.0 × 左130.5 右130.3	群馬県立館林美術館
	森　芳雄	母子像	1979	油彩・カンヴァス	130.0 × 97.5	群馬県立館林美術館
	宇佐美圭司	飛ぶ島No.1 Flying Island (Laputa)	1985	油彩・カンヴァス	218.2 × 291.0	群馬県立館林美術館
	三輪途道	TOYOKO -2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102 × 50 × 28	群馬県立館林美術館寄託作品
	大竹利絵子	へび	2006	木	31 × 21.5 × 17	群馬県立館林美術館寄託作品
	川島秀明	stare	2008	アクリル・カンヴァス	50 × 72.7	群馬県立館林美術館寄託作品
	加藤　泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3 × 24	群馬県立館林美術館寄託作品



D　彫刻家のアトリエ（別館）展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料（一部複製）を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―家族・友人・セルフポートレート」
4月23日（土）― 6月26日（日）
展示資料：写真等（複製）25点

第2期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―動物園の動物たち」
7月16日（土）― 8月28日（日）
展示資料：写真（複製）4点、絵はがき（複製）28点

第3期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―アトリエと道具類」
9月17日（土）－11月27日（日）
展示資料：道具類（実物）12点、写真（複製）7点

第4期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―牛をめぐって」
12月10日（土）－4月8 日（日）
展示資料：写真（複製）14点、絵はがき（複製）9点、手紙（複製）2点、印刷物（複製）2点

E 観覧者数一覧表

企画展示(特別展示を含む)

	有料観覧者						無料観覧者						
	個人			団体			有料合計	小中生	学校団体	身体障害者等	その他	無料合計	観覧者合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計							
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎ー師、川上邦世とともに」 4/1－4/3　3日	141	5	146	0	0	0	146	18	0	6	131	155	301
「開館10周年記念 コレクションの10年―自然と人間の調和」 4/23－6/26　55日	2,346	77	2,423	42	162	204	2,627	150	225	101	1,939	2,415	5,042
「生誕100年 藤牧義夫展―館林に生まれた創作版画の異才」 7/16－8/28　39日	3,016	170	3,186	131	40	171	3,357	2,077	16	150	5,444	7,687	11,044
「開館10周年記念 日本近代洋画にみる“自然と人間”」 9/17-11/27　62日	2,987	98	3,085	259	22	281	3,366	223	411	224	4,187	5,045	8,411
「生誕100年 南桂子展－鳥が呼ぶ、少女に出会う銅版画の世界」 12/10-3/31　90日 (展示は平成24年4月8日まで継続)	3,535	136	3,671	226	0	226	3,897	316	407	217	2,962	3,902	7,799
企画展示 計 249日	12,025	486	12,511	658	224	882	13,393	2,784	1,059	698	14,663	19,204	32,597

平成23年度の総観覧者数は、32,597人である。

教育普及

A 講演会・トークセッション

1. 連続講演会

開催日	演題	講師	会場	参加者数
9.25	高橋由一と明治の洋画	歌田眞介(東京藝術大学名誉教授)	講堂	35
10.16	風景の発見と風景画の成立	山梨俊夫(国立国際美術館長)	講堂	25
10.30	自画像の中の近代	原田光(岩手県立美術館長)	講堂	15
11.13	日本近代洋画を楽しむ	染谷滋(群馬県立館林美術館長)	講堂	21
12.11	南桂子ー銅版画の魅力	瀬尾千秋(高岡市美術館学芸員)	講堂	17

2. トークセッション

開催日	演題	講師	会場	参加者数
7.31	生誕100年 藤牧義夫展記念トークセッション 「絵巻の秘密　藤牧義夫の場合」	水沢勉 (神奈川県立近代美術館長)× 石田尚志(映像作家/美術家・多摩美術大学准教授)	研修室	49

B 作品解説会・ギャラリートーク

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
4.26	コレクションの10年★	神尾玲子、早矢仕智陽	展示室	4
4.28	コレクションの10年	神尾玲子	展示室	6
5.7	コレクションの10年	神尾玲子	展示室	7
5.15	コレクションの10年	神尾玲子	展示室	14
6.1	コレクションの10年	神尾玲子	展示室	3
6.17	コレクションの10年	神尾玲子	展示室	11
7.22	藤牧義夫展	松下由里	展示室	13
7.3	藤牧義夫展	松下由里	展示室	16
8.2	藤牧義夫展★	松下由里、早矢仕智陽	展示室	6
8.7	藤牧義夫展	松下由里	展示室	29
8.17	藤牧義夫展	松下由里	展示室	18
8.25	藤牧義夫展	松下由里	展示室	44
9.23	自然と人間	染谷滋	展示室	10
10.1	自然と人間	染谷滋	展示室	17
10.9	自然と人間	田中龍也	展示室	19
10.14	自然と人間★	染谷滋、早矢仕智陽	展示室	7
10.26	自然と人間	田中龍也	展示室	21
11.10	南桂子展	染谷滋	展示室	8
12.16	南桂子展	神尾玲子	展示室	11
1.7	南桂子展	神尾玲子	展示室	22
1.13	南桂子展★	神尾玲子	展示室	6
2.19	南桂子展	神尾玲子	展示室	15
3.7	南桂子展	染谷滋	展示室	21
3.22	南桂子展	神尾玲子	展示室	8

★印は教職員のための作品解説会

2. 子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
4.30	染谷滋	展示室	4
8.60	早矢仕智陽	展示室	2
8.20	神尾玲子	展示室	2
8.27	松下由里	展示室	1
10.8	早矢仕智陽	展示室	6
11.19	田中龍也	展示室	1
12.10	神尾玲子	展示室	1
12.17	早矢仕智陽	展示室	2
12.24	神尾玲子	展示室	1
1.7	早矢仕智陽	展示室	4
1.21	早矢仕智陽	展示室	1
2.18	早矢仕智陽	展示室	3
2.25	早矢仕智陽	展示室	1
3.30	神尾玲子	展示室	1
3.31	齋藤久美子	展示室	1

※参加者のあった回のみ記した。

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
10.2	風景を描くー古典的な油絵技法体験ー	久野和洋	ワークショップ室	20
10.23	人物を描くー表情のある顔を描いてみようー	新井コー児	ワークショップ室	17
3.4	銅版画技法体験ワークショップ「南桂子の線のひみつ」	白井四子男	ワークショップ室	19

風景を描くー古典的な油絵技法体験ー
人物を描くー表情のある顔を描いてみようー

企画展示「自然と人間」では、日本近代洋画の変遷を自然と人間の描写を通して見ていくものであった。展覧会開催に伴い、油絵技法体験のワークショップを行った。1回目は「風景画」をテーマとし、洋画家で所蔵作家の久野和洋氏を講師に迎え、古典的な油絵技法についての講義の後、出品されている風景作品から1点を選んでカンバスに転写し、油絵の具で彩色する制作体験を行った。2回目は「人物画」をテーマとし、県内在住の画家、新井コー児氏を講師に迎え、自画像を描く制作を行った。参加者はそれぞれ鏡を見ながら普段あまりしないような顔の表情を作り、木炭で下描きした後、油絵の具で彩色した。

風景を描くー古典的な油絵技法体験ー

人物を描くー表情のある顔を描いてみようー

銅版画技法体験ワークショップ「南桂子の線のひみつ」

南桂子の作品の魅力は、少女や木、鳥などのモチーフを埋め尽くす緻密な線や、水彩画のように透明感のある洗練された色彩にあるといえる。生誕100年を記念した展覧会を準備するにあたり、武蔵野市立吉祥寺美術館が所蔵する原版の調査を行ったところ、南桂子がエッチングやアクアチント、スピットバイトなど、さまざまな銅版画技法を使って目指す表現を探求していたことが明らかになった。その原版調査にあたり、銅版画の専門家として招いたメンバーの一人が摺師の白井四子男(しらい　よしお)氏である。このワークショップでは、白井氏の指導のもとに、南桂子が使っていた数々の銅版画技法の特徴を知るとともに、参加者にも技法のヴァリエーションを体験しながら銅版画を制作していただいた。

銅版画技法体験ワークショップ「南桂子の線のひみつ」

D　創作体験コーナー　みんなのアトリエ

夏の企画展示会期中の毎週木曜日に、「創作体験コーナー　みんなのアトリエ」を全6回(7月16日－8月25日)開催した。同会期中には、コレクション展示で藤牧義夫の木版画を展示し、講堂では地域小学生の木版画作品を展示している。このことから、版画作品鑑賞への理解を深めることを目的に、木版画の摺り体験を内容にしている。今回は、小学生木版画展に参加をしている児童の地元である邑楽郡に在住し、制作活動を行っている木版画家、広瀬孝志氏を講師に迎えた。参加者には、広瀬孝志氏の作品を通して、板目木版のもつ柔らかな仕上がりと、多版によって重なる色の深みを実見してもらい、さらに簡単な摺りの体験によって、木版画の多様性とその表現のよさについて実感できるようにした。249名が参加した。

みんなのアトリエ

みんなのアトリエ

E たてび木曜レクチャー

1. たてび木曜レクチャー「西洋美術の巨人たち」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.12	パブロ・ピカソ	染谷　滋	講堂	5
5.19	パウル・クレー	松下　由里	講堂	12
5.26	マルク・シャガール	神尾　玲子	講堂	3
6.2	アンディ・ウォーホル	田中　龍也	講堂	11
6.9	金山　平三	染谷　滋	講堂	8
6.16	小絲　源太郎	染谷　滋	講堂	10
6.23	山口　薫	田中　龍也	講堂	5
1.12	フランソワ・ポンポン	神尾　玲子	講堂	16
1.19	ヘンリー・ムーア	松下　由里	講堂	11
1.26	カール・ブロスフェルト	松下　由里	研修室	10
2.2	鶴岡　政男	田中　龍也	講堂	6
2.9	南　桂子	神尾　玲子	講堂	12

たてび木曜レクチャー「ヘンリー・ムーア」

たてび木曜レクチャー「フランソワ・ポンポン」

F 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目標としているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などを行った。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明を行った。

1. 学校との連携事業

(1)連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.10	美術館見学	加須市立加須小学校1年生	早矢仕智陽	美術館	103
6.1	美術館見学	足利市立愛宕台中学校1年生	早矢仕智陽	美術館	49
6.14	学校訪問鑑賞授業	太田市立休泊小学校6年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	太田市立休泊小学校	132
6.14	職場体験	白鷗大学足利中学校	神尾玲子	美術館	2
6.15	職場体験	白鷗大学足利中学校	早矢仕智陽	美術館	2
6.15	職場体験	館林市立多々良中学校	早矢仕智陽	美術館	2
6.16	職場体験	白鷗大学足利中学校	早矢仕智陽	美術館	2
6.16	職場体験	館林市立多々良中学校	早矢仕智陽	美術館	2
6.17	職場体験	館林市立多々良中学校	早矢仕智陽	美術館	2
6.21	学校訪問鑑賞授業	太田市立休泊小学校6年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	太田市立休泊小学校	132
8.11	職場見学	館林市立第二中学校1年生	早矢仕智陽	美術館	1
10.5	学校訪問鑑賞授業	館林市立第八小学校2年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第八小学校	114
10.5	社会科見学	館林市立多々良中学校1年生	早矢仕智陽	美術館	10
10.5	職場体験	館林市立第四中学校2年生	早矢仕智陽	美術館	1
10.6	職場体験	館林市立第四中学校2年生	早矢仕智陽	美術館	1
10.7	職場体験	館林市立第四中学校2年生	早矢仕智陽	美術館	1
10.13	美術館見学	館林市立第八学校2年生	早矢仕智陽、神尾玲子、澁澤友香莉	美術館	59
10.19	美術館見学	館林市立第八学校2年生	早矢仕智陽、神尾玲子、澁澤友香莉	美術館	57
10.20	職場体験	邑楽町立邑楽中学校	早矢仕智陽	美術館	3
10.21	職場体験	邑楽町立邑楽中学校	早矢仕智陽	美術館	3
10.25	美術館見学	みどり市	早矢仕智陽	美術館	39
10.26	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校6年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第二小学校	77
11.2	総合的な学習の時間	館林市立第八小学校5年生	早矢仕智陽	美術館	22
11.2	美術館見学	柏市立土小学校5年生	早矢仕智陽	美術館	63
11.4	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校6年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第二小学校	74
11.16	美術館見学	前橋市立二之宮小学校5年生	早矢仕智陽、神尾玲子、澁澤友香莉	美術館	36
11.17	職場体験	館林市立第二中学校2年生	早矢仕智陽	美術館	1
11.18	職場体験	館林市立第二中学校2年生	早矢仕智陽	美術館	1
11.22	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生(竹組)	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第二小学校	32
11.29	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生(松組)	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第二小学校	32
12.6	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生(松組)	早矢仕智陽	館林市立第二小学校	29
12.7	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生(竹組)	早矢仕智陽	館林市立第二小学校	26
1.31	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校美術コース	神尾玲子、早矢仕智陽	美術館	22
2.3	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校5年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第二小学校	78
2.7	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第二小学校	76

2.8	学校訪問鑑賞授業	古河市立古河第一小学校3年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	古河市立古河第一小学校	58
2.9	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校5年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第二小学校	78
2.16	学校訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校5年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第一小学校	97
2.16	美術館見学	館林市立多々良中学校1年生(1,2組)	神尾玲子、齋藤久美子	美術館	56
2.17	学校訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校5年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	館林市立第一小学校	73
2.17	美術館見学	館林市立多々良中学校1年生(5,6組)	神尾玲子、齋藤久美子	美術館	58
2.21	美術館見学	館林市立多々良中学校1年生(3,4組)	神尾玲子、齋藤久美子、早矢仕智陽	美術館	58
2.23	美術館見学	館林市立第四小学校3年生	早矢仕智陽、澁澤友香莉	美術館	19
2.23	美術館見学	古河市立古河第一小学校3年生	神尾玲子、澁澤友香莉	美術館	58
3.8	学校訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	早矢仕智陽	館林市立第二小学校	73

学校訪問鑑賞授業

学校訪問鑑賞授業

(2)団体解説のみを実施

開催日	学校名	担当	会場	参加者数
4.28	館林市立西幼稚園年少・年中・年長(5クラス)	早矢仕智陽	講堂・展示室	215
4.29	群馬県立前橋女子高等学校	早矢仕智陽	研修室・展示室	33
5.14	桐生大学短期大学部アートデザイン学科	齋藤久美子	研修室・展示室	26
5.27	白鷗大学足利中学校PTA	早矢仕智陽	研修室・展示室	33
6.15	栃木県立足利工業高等学校・デザイン科	早矢仕智陽	講堂・展示室	42
8.18	邑楽町立邑楽南中学校(美術部)	伊羅子典代	研修室・展示室・別館	10
8.25	高崎市立佐野中学校(美術部)	早矢仕智陽	研修室・展示室・別館	9
9.28	桐生大学短期大学部アートデザイン学科	早矢仕智陽	講堂・展示室	63
10.8	高崎市立佐野中学校(美術部)	早矢仕智陽	講堂・展示室	7
10.30	群馬県立館林女子高等学校PTA	紅屋浩子	研修室・展示室	10
11.6	伊勢崎市立豊受小学校	伊羅子典代	講堂・展示室	46
12.18	群馬県立尾瀬高等学校理科部	早矢仕智陽	研修室・展示室	28
2.1	太田市教育研究所　適応指導教室	早矢仕智陽	研修室・展示室	17

(3)主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.13	主任会	館林市小学校	早矢仕智陽	研修室・展示室	13
5.31	主任会	館林市中学校	早矢仕智陽	館林市立第二中学校	7
6.30	主任会	邑楽郡内小学校	早矢仕智陽	大泉町立南小学校	18
7.26	実技研修会	邑楽郡内小学校	早矢仕智陽	研修室・展示室	46
7.27	実技講習会	館林市内小学校	早矢仕智陽	研修室・展示室	18
7.28	小学校初任者研修	小学校教員	早矢仕智陽	研修室・展示室	29
8.3	小・中学校初任者研修	小・中学校教員	早矢仕智陽	研修室・展示室	14
8.19	図画工作科・美術科研修講座	小・中・高・中等・特の教員	早矢仕智陽	群馬県総合教育センター	20
9.28	主任会	館林市中学校	早矢仕智陽	館林市立第三中学校	7
10.7	主任会	館林市小学校	早矢仕智陽	研修室・展示室	13
10.21	主任会	館林市中学校	早矢仕智陽	館林市立第一中学校	7
10.26	教頭会	館林市・小・中・特別支援学校	伊羅子典代	研修室・展示室	15
11.15	主任会	邑楽郡内小学校	早矢仕智陽	研修室・展示室	16
1.13	主任会	館林市小学校	早矢仕智陽	WS室・展示室	13
1.26	教頭会	東部管内小・中・特別支援学校	染谷滋、神尾玲子	講堂・展示室	109
2.17	主任会	邑楽郡内小学校	早矢仕智陽	大泉町立南小学校	18

2. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	2	2	2	1	5	4	6	11	3	0	3	0	39
人数	248	59	62	28	161	141	182	268	77	0	57	0	1283

G　地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第3回　日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計3,327人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.16-7.21	館林市立第九小学校、館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校	413
第2期	7.23-7.28	板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校、明和町立東小学校、明和町立西小学校、千代田町立東小学校、千代田町立西小学校	483
第3期	7.30-8.4	大泉町立南小学校、大泉町立北小学校、大泉町立西小学校	381
第4期	8.6-8.11	大泉町立東小学校、邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	543
第5期	8.13-8.18	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校	912
第6期	8.20-8.25	館林市立第五小学校、館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校	595

ポスター

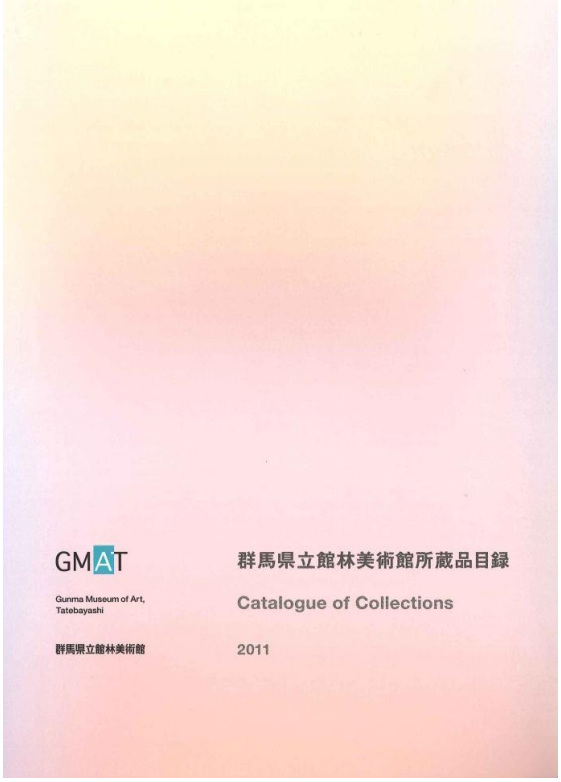
展示会場

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)
小学生木版画展
[新聞等]
・上毛新聞
7.4
「館林美術館「日本を代表する木版画『藤牧義夫』記念 館林邑楽地区小学生木版画展」」<ぐんまちゃんの掲示板>
・帝国芸術新聞
7.15
「群馬県立館林美術館」<全国のギャラリー紹介>
・上毛シャトル
7.23
「第3回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念 館林邑楽地区小学生木版画展+みんなのアトリエのお知らせ」<GMATだより>
9.3
「第3回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念 館林邑楽地区小学生木版画展+みんなのアトリエのご報告」<GMATだより>
・上毛新聞
7.23
「色を重ねて木版画の魅力」
7.26
「1800人 木版画ずらり」
・足利漫我人
7月&8月号
「県立館林美術館情報」<マガジン・ネットワーク>
・渡良瀬通信
8月号
「群馬県立館林美術館」<渡良瀬インフォメーション>〉

教育普及事業・その他
[新聞等]
・朝日ぐんま
9.9
「いざ文化施設へ」
・上毛新聞
4.17
「県内の文化、レジャー施設 入場無料や招待券」
4.21
「館林美術館「子どもギャラリートーク」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉
5.10
「館林美術館たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たち」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉
6.2
「館林美術館たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たち」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉
8.10
「群馬DC記念 ようこそ!夏のミュージアムへ〜スタンプラリー実施のお知らせ〜」〈ぐんまちゃんの掲示板〉
8.13
「県立の文化施設3館巡り景品を」
8.14
「「きれいに刷れた」館林美術館で木版体験」
8.21
「文化施設 バスでPR 県立5館」
10.24
「県立美術館などで暴力団の利用排除」
1.11
「館林美術館たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たちーコレクションより」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉
・館林文化
第35号
「県立館林美術館と地域文化」
・上毛シャトル
5.21
「たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たちーコレクションより」開講
第1回「パブロ・ピカソ」報告」*〈GMATだより〉
6.4
「たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たちーコレクションより「第2回パウル・クレー」「第3回 マルク・シャガール」ご報告」*〈GMATだより〉
6.11
「たてび木曜レクチャー 近現代美術の巨匠たちー コレクションより 第4回「アンディ・ウォーホル」ご報告」*〈GMATだより〉
6.18
「たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たちー コレクションより」第5回「金山平三」ご報告」*〈GMATだより〉
7.2
「たてび木曜レクチャー「近現代美術の巨匠たちー コレクションより 第6回「小絲源太郎」、第7回「山口晃」ご報告」*〈GMATだより〉
7.9
「「子どもギャラリートーク」ほか教育普及事業」*〈GMATだより〉
7.30
「館林美術館コレクション展示」*〈GMATだより〉
8.13
「美術館日帰り探訪ー楽しめる夏の展覧会ご案内」*〈GMATだより〉」
9.24
「別館「彫刻家のアトリエ」資料展示のご案内」*〈GMATだより〉」
10.8
「「日本近代洋画にみる"自然と人間"」と足利市立美術館「画家たちの二十歳の原点」」*〈GMATだより〉」
2.28
「多々良中1年生 本物の芸術体感」
・東武沿線見聞録GUNMA MARCO
7.27発行
「水と緑があふれる郷でアートと触れ合う」*
・TOBU MARCO
11.12月号
「この秋行きたい!東武沿線 自然とアートを楽しむ場所8選」

◎群馬県立館林美術館平成24年度事業案内
B4判変形4つ折り
平成24年3月発行

◎群馬県立館林美術館所蔵品目録2011
A4判変形　29.7×22.2×1.6cm
平成24年3月31日発行



I ボランティア

夏季の事業、「みんなのアトリエ　多版木版画摺り体験」の開催時に、以下のとおりボランティアを募集した。

期日	名称	人数
7.16-8.25	制作補助ボランティア	21

J 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議
(1) 総会(6月18日)
(2) 理事会(6月18日)
(3) 運営委員会(4月27日、5月17日、7月27日、9月28日)
事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業
(1) ミュージアム・ショップの運営
展覧会図録、絵はがき、美術関係書籍その他の展示販売をとおして来館者へのサービスに努めた。

(2) レセプションの開催
美術館との共催で開催(7月16日、9月16日)。

3. 会員対象事業
(1) 美術館情報の提供
展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時郵送し、会員の美術鑑賞への参加と、会員による周辺の人々への広報、普及活動の促進を図った。

(2) コンサートの開催
・開館10周年記念コンサート　9月16日　演奏者:石島敬子(ヴァイオリン)、廿樂彰子(ピアノ)、関根優子(チェロ)　参加者:127名
・ニューイヤーコンサート　1月13日　演奏者:春恵(チュネ)(二胡)、田中さとこ(電子ピアノ)　参加者:90名

(3) ミュージアム・ツアーの開催
美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。10月19日　参加者:47名　訪問先:ポーラ美術館

A 美術作品

1. 作品収蔵状況　平成24年3月31日現在

作家区分	県内作家			国内作家			外国作家			総計
収蔵方法	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	4	1	5	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	2	20	6	0	6	33
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	22	0	22	289	252	541	45	0	45	608
写真	0	0	0	60	7	67	12	0	12	79
彫刻	5	0	5	4	2	6	125	0	125	136
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	0	4	15
計	53	10	63	378	264	642	200	0	200	913

2. 平成23年度　収蔵作品

平成23年度は、新たに収蔵した作品はなかった。

3. 平成23年度　寄託作品

作者名	作品名　(＊　新規寄託) (** 年度途中に寄託解除)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162 × 123
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162 × 123
伊庭靖子	Untitled	2001	油彩・カンヴァス	180 × 180
伊庭靖子	Untitled	2003	油彩・カンヴァス	120 × 160
藤牧義夫　関連資料　全21点				
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.7 × 18.8
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.3 × 16.3
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2 × 14.2
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.1 × 21.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.3 × 23.3
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	16.6 × 22.0
清宮質文	暗い夕日(暗い夕日1)	1972	木版・紙	21.0 × 19.2
清宮質文	冬(暗い夕日2)	1972	木版・紙	23.0 × 21.8
清宮質文	トンネルの出口(暗い夕日3)	1972	木版・紙	23.4 × 20.1
清宮質文	虜囚の窓(暗い夕日4)	1972	木版・紙	24.3 × 20.0
清宮質文	夕方の静物(暗い夕日5)	1972	木版・紙	23.0 × 21.9
清宮質文	窓のカンテラ(暗い夕日6)	1972	木版・紙	24.2 × 15.0
清宮質文	入日(暗い夕日7)	1972	木版・紙	16.2 × 25.8
清宮質文	町外れ(暗い夕日8)	1972	木版・紙	16.6 × 22.0
清宮質文	夕日の静物(暗い夕日9)	1972	木版・紙	13.7 × 22.2
清宮質文	壜の中の魚(暗い夕日10)	1972	木版・紙	20.0 × 22.6
清宮質文	深夜の蝋燭	1974	木版・紙	18.0 × 15.2
清宮質文	星占い　～去りゆく凶星～	1975	木版・紙	15.2 × 18.0
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.2 × 14.1
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	10.0 × 16.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5 × 14.0
清宮質文	われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.2 × 13.0
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.5 × 6.8
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	20.8 × 16.2
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	19.3 × 11.2
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	21.6 × 16.2
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.8 × 16.0
清宮質文	なんじの革嚢にわが涙を	1985	木版・紙	17.5 × 16.9
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8 × 7.0
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	16.8 × 27.2
清宮質文	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.2 × 16.2
清宮質文	未完(絶筆)	1991	ガラス絵	13.0 × 16.6
清宮質文	歳月		水彩・紙	
清宮質文	失題	1970	木版画	18.9 × 25.9
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.6 × 22.1
清宮質文	眠り ＊	1966	木版・紙	19.8 27.8
清宮質文	夏の終わり ＊	1967	木版・紙	10.2 22.2
清宮質文	月と運河 (試摺り) ＊	1988	木版・紙	16.5 16.4
清宮質文	無題 (未完)＊	1991	木版・紙	23.0 30.6

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ × 幅 × 奥行cm）
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・浜田知明	駒井哲郎のオマージュ	1982	エッチング他	43.6 × 34.6
西村盛夫	甘露の雨　マナ9	2002	木	37.0 × 220.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0 × 33.0
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0 × 184.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5 × 62.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0
和南城孝志	Archetypus 円のイメージ	1981	大理石	12.0 × 35.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1983	ブロンズ	20.0 × 50.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1979	ブロンズ	10.0 × 30.0
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0 × 181.0
松井冬子	トトメス4世	2007	鉛筆・紙	36.2 × 44.1
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	鉛筆・紙	43.7 × 36.7
カンノサカン	ER0101170	2007	ウレタン、アクリル・カンヴァス	30.0 × 30
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0 × 21.5 × 17.0
川島秀明	stare	2008	アクリル・カンヴァス	50.0 × 72.7
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・ケント紙	103.5 × 72.5
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙	101.6 × 50.4
会田誠	トラウマンボーイ02	2007	色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー・紙、パネル	36.5 × 51.5
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽（ほおずき）小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8 × 125.5
Chim Pom	イケてる人達みたい02	2008	Cプリント、DVD	31.0 × 31.0
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3 × 24.0
町田久美	ひとり	2003	墨・雲肌麻紙	130.0 × 97.0
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5 × 90.0
岸浪百草居	画巻(魚など)	未詳	紙本著色・巻子	24.0 × 625.9
津田青楓	山高水長画巻	1937（昭和12）年	紙本著色・巻子	30.2 × 538.2
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0 × 48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0 × 32.0 × 40.0
三輪途道	温度－H.MIWA－	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0 × 57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0 × 25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0 × 50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0 × 16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田―おじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0 × 59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田―おばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0 × 50.0 × 56.0
三輪途道	おじいの宝Ⅱ（金歯の位置違い）	2003	檜、漆、金箔	3.0 × 7.5 × 5.0
三輪途道	おじいの抜け殻	2003	檜、漆、膠、顔料	14.0 × 44.0 × 38.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0 × 68.0 × 14.0
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料（5点組）	4.0 × 6.0 × 14.0 5.0 × 8.0 × 20.0 6.0 × 9.0 × 28.0 13.0 × 10.0 × 18.0 13.0 × 10.0 × 18.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0 × 42.0 × 42.0
三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0 × 58.0 × 71.0
三輪途道	父子像Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0 × 99.0 × 8.0
川上邦世	鹿 *, **	不詳	木彫	64.4 × 56.6 × 19.0
中平四郎	讀賣 *	1924	木彫	60.0 × 34 × 25.0
山口啓介	花の心臓／炭素原子モデル *	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0 × 181.0 × 4.5

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名 (*印は寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
岸浪百草居	魚類写生帖(鯉 鮒)	栃木県立美術館	近代南画の雄 石川寒巌	栃木県立美術館 10.29-12.25
	魚類写生帖(堂比)			
	魚類写生帖(平目、アンコウ等)			
	芭蕉			
	蔬菜果実写生帖			
藤牧義夫	1930(昭和5)年用年賀状 (木馬)	神奈川県立近代美術館 鎌倉	生誕100年 藤牧義夫展	神奈川県立近代美術館 鎌倉 1.21-3.15
	(太陽と自画像)(久野歌津夫宛書簡断片)			
	朝〔『新版画』第1号貼込〕			
	しねま			
	城沼の冬			
	島のぢいさん〔『新版画』第9号貼込〕			
	鐵 - 版画編輯試作より 無題 (4) (5) (7) (8) (9) 〔『新版画』第9号刷込〕			
	「味覚」案内〔銀座スッポン料理屋案内はがき〕			
	図案(都市風景)			
	達磨 *			
	1934(昭和9)年用年賀状(宝船) 〔久野歌津夫宛〕			
	井の頭風景 *			
	尾曳ノ見晴し *			
	面白き植物もあるかな (サボテン) *			
	国会議事堂〔『新版画』第14号表紙〕			
	まくら橋〔『新版画』第14号貼込〕			
	鶴の間の池 *			
	『新版画』第17号表紙			
	裏街〔『新版画』第17号貼込〕			
	川面〔『新版画』第17号貼込〕			
	五月〔『新版画』第17号貼込〕			
	彼岸〔『新版画』第17号貼込〕 『新版画』第1号 『新版画第9号』 1周年記念号 『新版画』第14号 『新版画』第17号 藤牧義夫特集号			
松井冬子	写生(同世代のエジプト人) *	横浜美術館	松井冬子展―世界中の子と友達になれる―	横浜美術館 12.17-3.18
	写生(トトメス4世) *			
永井一正	わたしたちの壁画'88	高崎市美術館	朝倉文夫と動物たち	高崎市美術館 11.20-1.29
	JAGDAポスター展"JAPAN"(カエル) トマト銀行 トマト銀行 KAZUMASA NAGAI EXHIBITION(シカ) KAZUMASA NAGAI EXHIBITION(ゾウ) YOKOGAWA JAGDA 平和と環境のポスター(ワニ・クジラ) JAGDA 平和と環境のポスター(オオカミ・シカ) JAGDA 平和と環境のポスター(キリン) JAGDA I'M HERE (クマ) JAGDA I'M HERE (水牛) JAGDA I'M HERE (ライオン) JAGDA I'M HERE (シカ) SAVE (サル) SAVE (ライオン) 公募 第3回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1991 91 富山の美術 JAGDA 平和と環境のポスター展"I'm here" 92 公募―日本海美術展 LIFE TO SHARE (手/ヒョウ) LIFE TO SHARE (手/イノシシ) ZOORASIA SAVE (サイ) SAVE (キリン) SAVE (シマウマ) CO EXIST (LIFE) LIFE (フクロウ) LIFE (ポットー) トライアート2004 ムゲンダイ発見			

4-2. 館蔵作品移動状況

作者名	作品名	移動先	展覧会名	会場・会期
マルク・シャガール	『死せる魂』より I チチコフの到着 III 小さな町 IV 知事邸の夜会 VIII マニーロフ IX 扉口でのマニーロフとチチコフ XV コロボーチカ婦人 XVII 放し飼いの庭 XVIII 朝のお茶 XXI 旅籠屋での食事 XXII ノズドリョーフ XXIV トランプ XXVII 路上での衝突 XXXI ソバケーヴィッチの家 XXXII ソバケーヴィッチ XXXIII ソバケーヴィッチ夫人 XXXVII チチコフとソバケーヴィッチは取引をする XXXIX プリューシュキンの古い庭園 XLI プリューシキンの部屋 XLIV プリューシキンは酒をすすめる XLVI プリューシキンと口論をするマーヴラ XLXIII ゴーゴリとシャガール XLIXbis 耕作 XLIXter とんとまぬけな男の死 L 大工ステパン・プロープカ LI 靴屋マクシム・テリャートコフ LIII 行けども行けども果てしなしのグリゴーリィ LVII 裁判所 LVIIIbis 賄賂 LIXbis パーヴェル・イワノーヴィッチ・チチコフは旅籠に帰った LXI チチコフの朝の支度 LXII 舞踏会にあらわれたチチコフ LXIII 知事邸での舞踏会 LXIV ノズドリョーフの暴露 LXVI 何事につけても感じのよろしい、まことによろしいご婦人たち LXIX 裸で逃げ出す LXX やせ細った役人たち LXXVI 門番はチチコフを通さない LXXIX チチコフの誕生 LXXXII 教会にて LXXXV 夕暮れのトロイカ マルク・シャガール『死せる魂』本	群馬県立近代美術館	マルク・シャガール版画展 この愛しき世界 宇都宮美術館所蔵作品を中心に	群馬県立近代美術館 9.17-11.3 ※I～XLVI：前期展示（9.17～10.10） XLXIII ～LXXXV：後期展示 （10.12～11.3）

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング
戸谷成雄	景体のバロック より no.3, 6, 8	木（間伐材）、灰、アクリル	彫刻	破損部の接着、彩色、欠損部の充填

B 図書資料その他

平成23年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	207	88	20	0	0	0	315
寄贈	151	1113	365	172	78	6	1,885
計	358	1201	385	172	78	6	2,200

関係者および職員名簿

（平成 24 年２月１日現在）
群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
雪山行二	和歌山県立近代美術館館長
水沢勉	神奈川県立近代美術館館長
横山勝彦	長野県立信濃美術館・東山魁夷館副館長
古田亮	東京藝術大学大学美術館准教授

職員名簿
（平成 23 年４月１日～平成 24 年３月 31 日）

館長	染谷滋
次長	上島孝二

〈教育普及係〉

教育普及係長	高木俊彰
主幹(事)	早矢仕智陽
主幹(事)	小林かおる
主幹(事)	高田晴夫
教育普及員	紅屋浩子
	齋藤久美子
	澁澤友香莉
	最上雅世
	荒川幸代

〈学芸係〉

学芸係長(学芸員)	松下由里
副主幹(学芸員)	神尾玲子
主任(学芸員)	伊藤佳之
主任(学芸員)	田中龍也
資料整理員	伊羅子典代